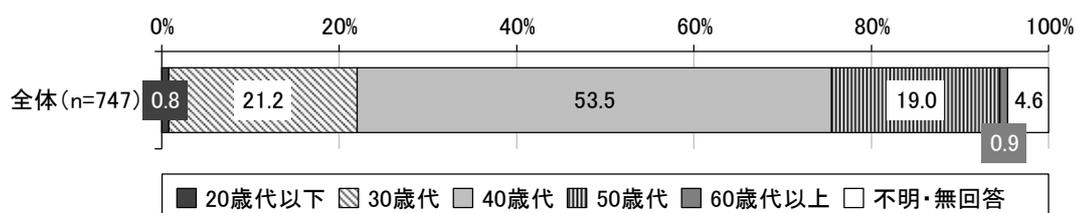


## 第3章 児童育成手当受給者向け調査の結果

### 1 あなたやあなたの世帯のことについて

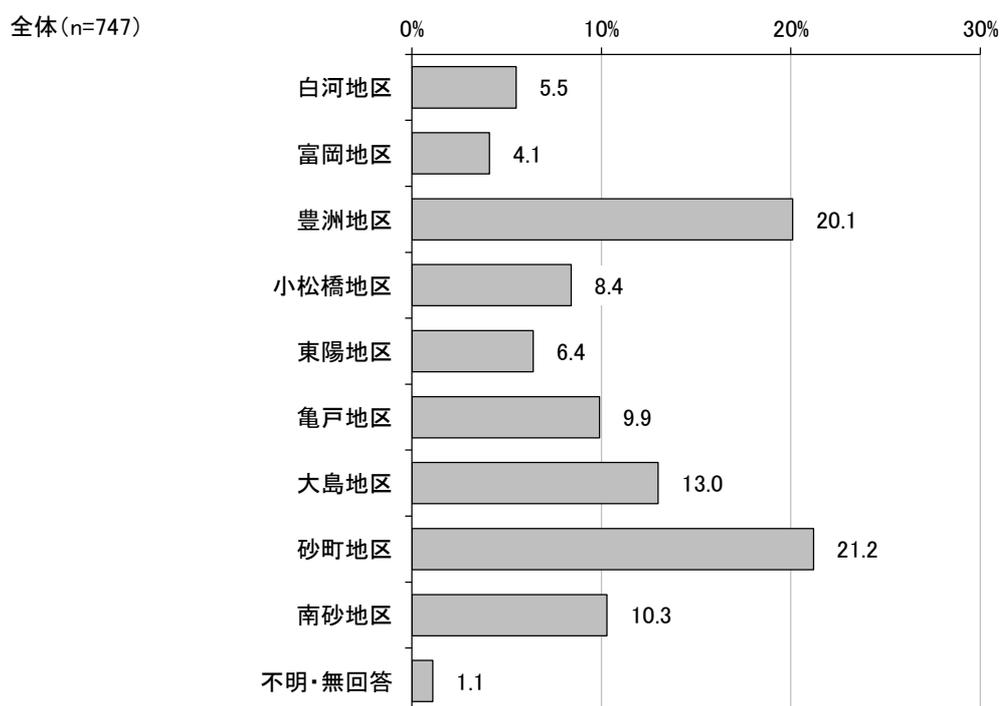
問1 あなたの年齢を教えてください。(数字を記入)(令和5年9月1日時点)

年齢についてみると、「40歳代」が53.5%と最も多く、次いで「30歳代」が21.2%となっています。



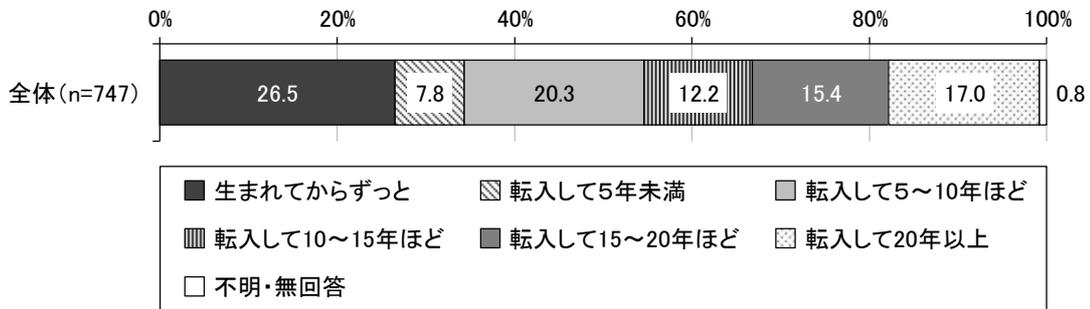
問2 あなたのお住まいの地区を教えてください。(1つに○)

居住地区についてみると、「砂町地区」が21.2%と最も多く、次いで「豊洲地区」が20.1%となっています。



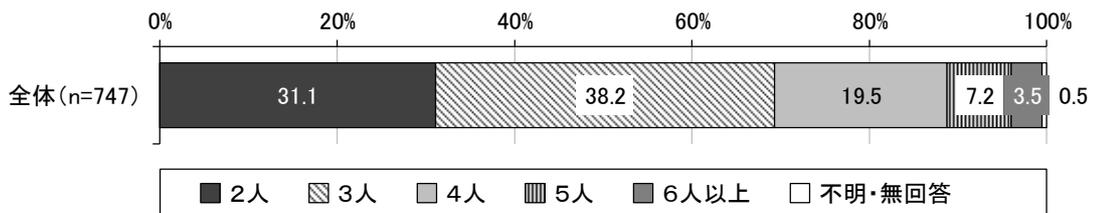
問3 あなたは、江東区にいつから(どのくらい)住んでいますか。(1つに○)

江東区にいつから(どのくらい)住んでいるかについてみると、「生まれてからずっと」が26.5%と最も多く、次いで「転入して5～10年ほど」が20.3%となっています。



問4 現在同居しているご家族の人数を教えてください(あなたも含む)。(数字を記入)

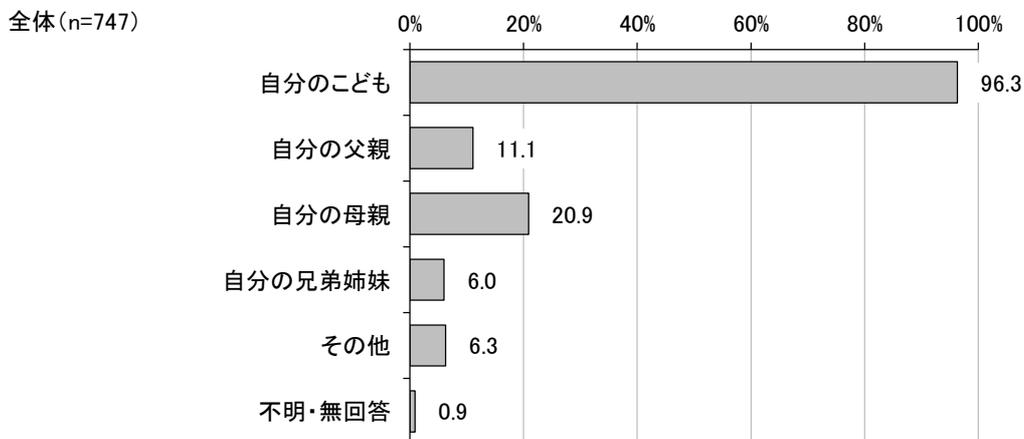
同居している家族の人数についてみると、「3人」が38.2%と最も多く、次いで「2人」が31.1%となっています。



問5 同居しているご家族(あなたからみた続柄)はどなたですか。

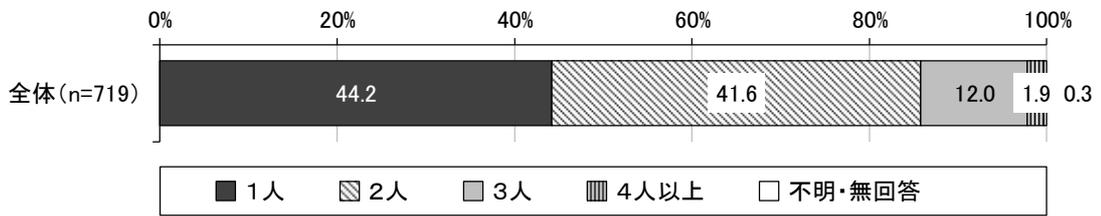
(あてはまる番号すべてに○、人数はカッコの中に数字を記入)

同居している家族についてみると、「自分の子ども」が96.3%と最も多く、次いで「自分の母親」が20.9%となっています。



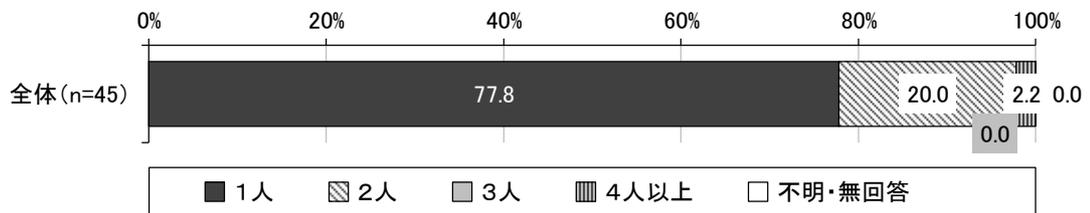
【自分のこどもの人数】

同居しているこどもの人数についてみると、「1人」が 44.2%と最も多く、次いで「2人」が 41.6%となっています。



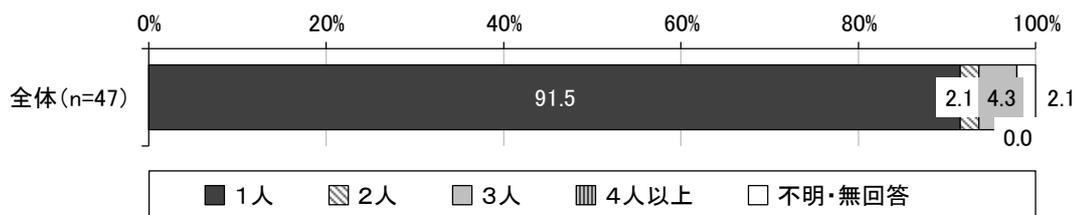
【自分の兄弟姉妹の人数】

同居している兄弟姉妹の人数についてみると、「1人」が 77.8%と最も多く、次いで「2人」が 20.0%となっています。



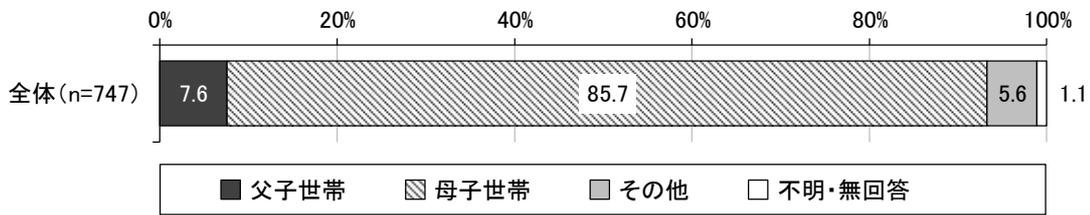
【その他の人数】

同居しているその他の人数についてみると、「1人」が 91.5%と最も多く、次いで「3人」が 4.3%となっています。



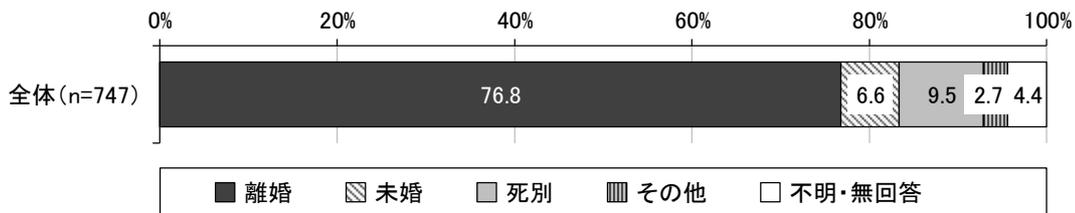
問6 あなたの世帯の種類について教えてください。(1つに○)

世帯の種類についてみると、「母子世帯」が85.7%と最も多く、次いで「父子世帯」が7.6%となっています。



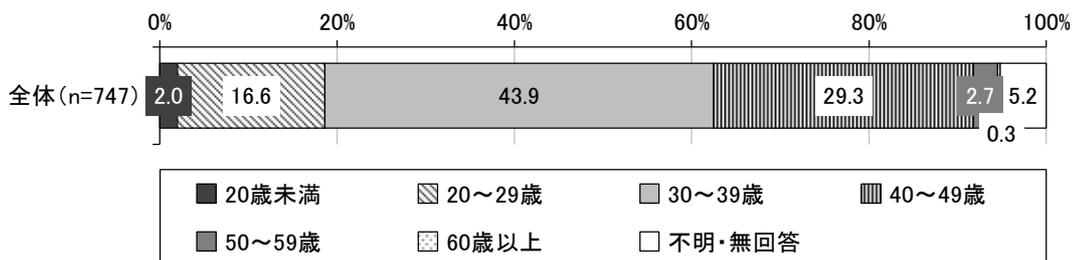
問7 ひとり親家庭になった理由は何ですか。(1つに○)

ひとり親家庭になった理由についてみると、「離婚」が76.8%と最も多く、次いで「死別」が9.5%となっています。



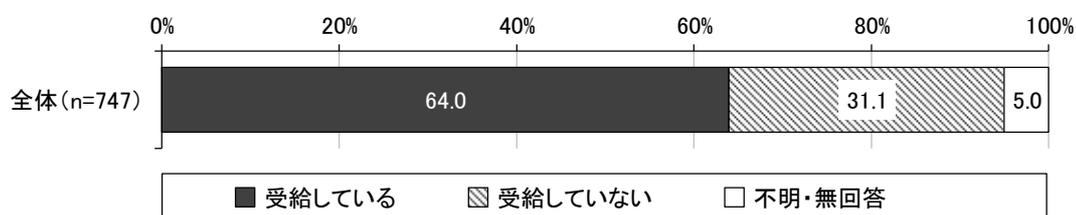
問8 ひとり親家庭になったときのあなたの年齢を教えてください。(1つに○)

ひとり親家庭になったときの年齢についてみると、「30～39歳」が43.9%と最も多く、次いで「40～49歳」が29.3%となっています。



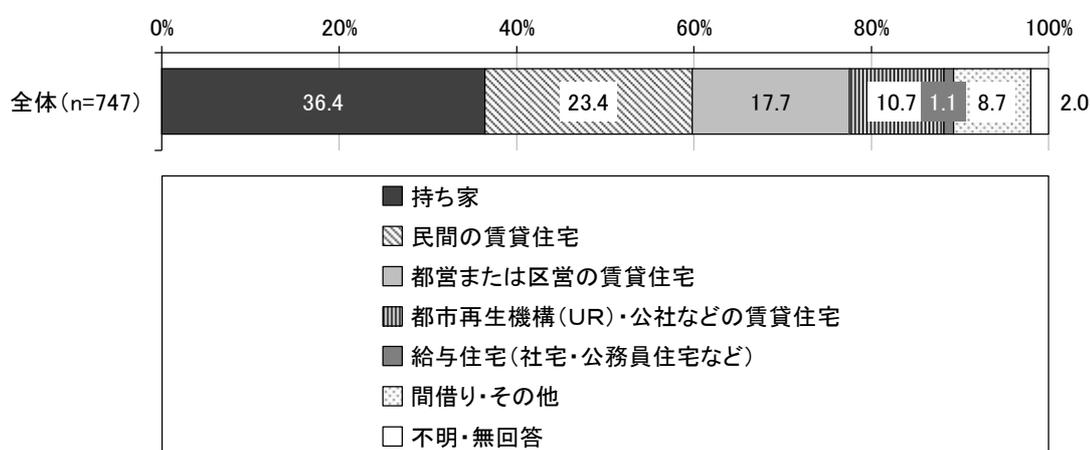
問9 あなたは、ひとり親家庭等医療費助成(マル親)を受給していますか。(1つに○)

ひとり親家庭等医療費助成(マル親)を受給しているかについてみると、「受給している」が64.0%、「受給していない」が31.1%となっています。



問10 現在お住まいの住居の形態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。(1つに○)

住居の形態についてみると、「持ち家」が36.4%と最も多く、次いで「民間の賃貸住宅」が23.4%となっています。

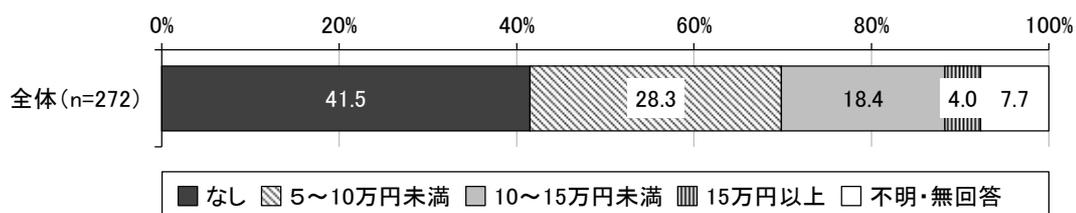


問10-1 1か月あたりの住居費負担はいくらですか。持ち家の場合は住宅ローン返済額、賃貸の場合は家賃または間代および共益費または管理費(共用部分の電気料・清掃費など)を教えてください。(該当箇所に数字を記入)  
※住居費の負担がない場合は「0」とご記入ください。

問10で「持ち家」を選んだ方

A 持ち家【1か月あたりの住宅ローン返済額】

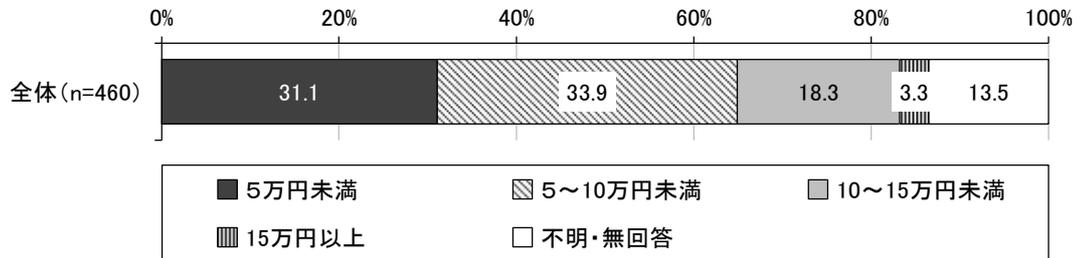
1か月あたりの住宅ローン返済額についてみると、「なし」が41.5%と最も多く、次いで「5~10万円未満」が28.3%となっています。



問 10 で「持ち家」以外を選んだ方

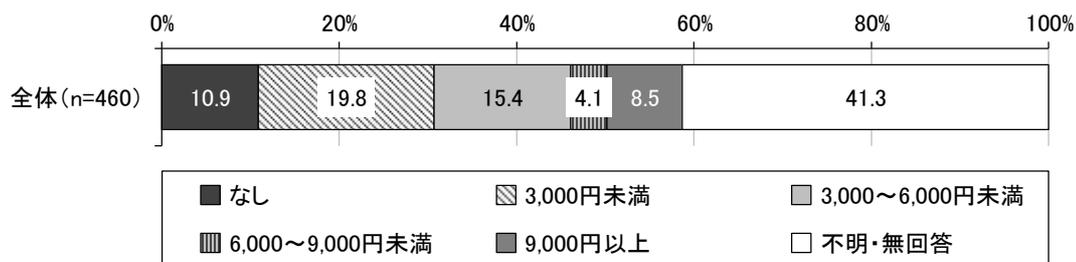
B 賃貸住宅【家賃・間代】

家賃・間代についてみると、「5～10 万円未満」が 33.9%と最も多く、次いで「5万円未満」が 31.1%となっています。



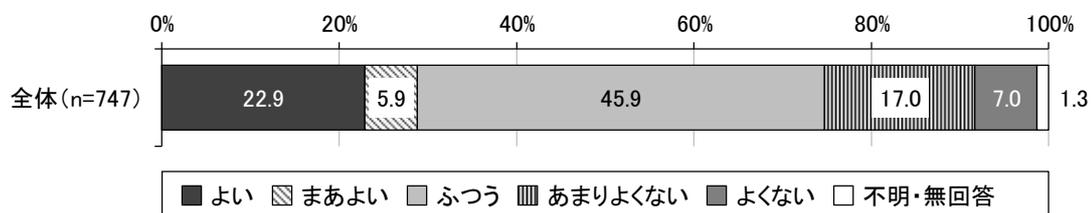
B 賃貸住宅【共益費・管理費】

共益費・管理費についてみると、「3,000 円未満」が 19.8%と最も多く、次いで「3,000～6,000 円未満」が 15.4%となっています。



問 11 あなたの健康状態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。（1つに○）

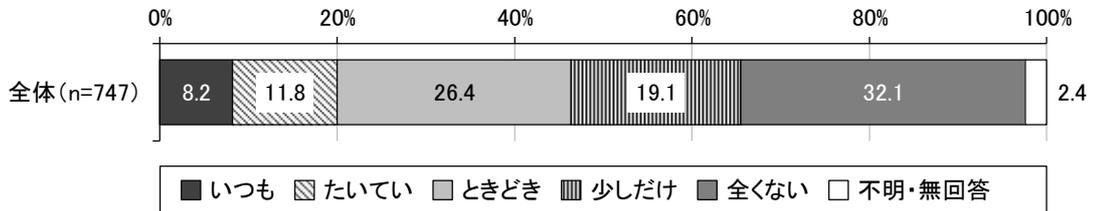
健康状態についてみると、「ふつう」が 45.9%と最も多く、次いで「よい」が 22.9%となっています。



問 12 次のA～Fの質問について、あなたは、ここ1か月の間にどのくらいの頻度で感じましたか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

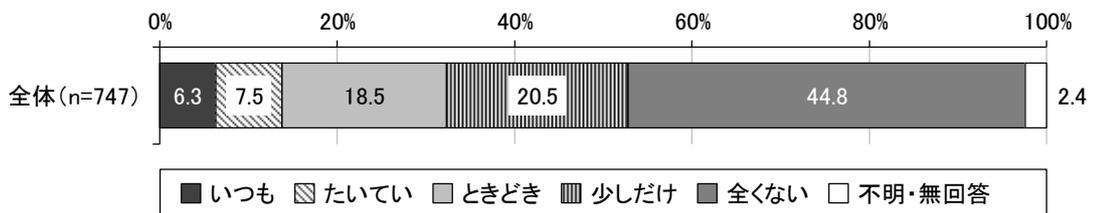
A 神経過敏に感じた

「全くない」が32.1%と最も多く、次いで「ときどき」が26.4%となっています。



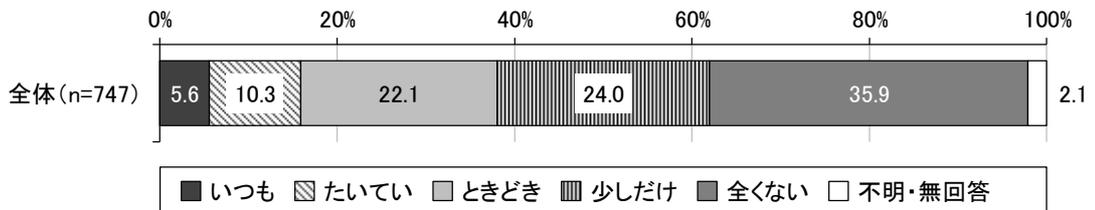
B 絶望的だと感じた

「全くない」が44.8%と最も多く、次いで「少しだけ」が20.5%となっています。



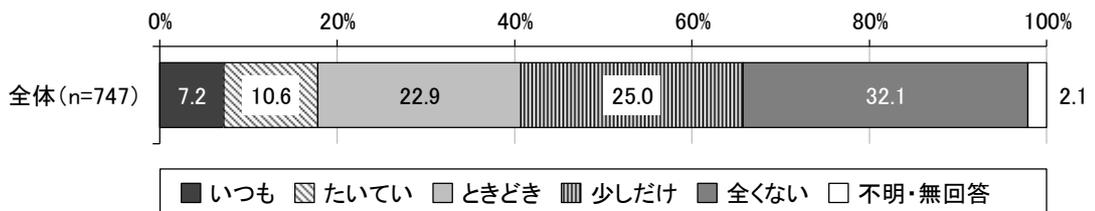
C そわそわ、落ち着かなく感じた

「全くない」が35.9%と最も多く、次いで「少しだけ」が24.0%となっています。



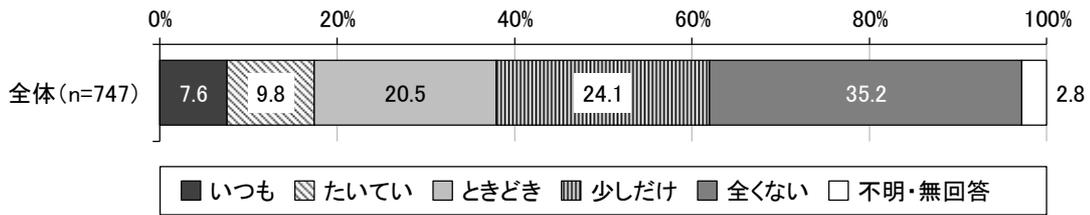
D 気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

「全くない」が32.1%と最も多く、次いで「少しだけ」が25.0%となっています。



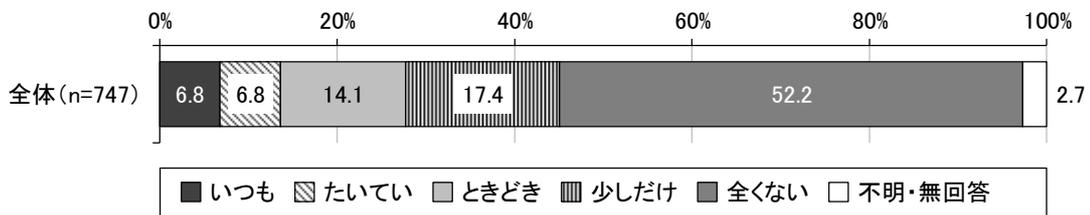
E 何をするのも骨折りだと感じた

「全くない」が35.2%と最も多く、次いで「少しだけ」が24.1%となっています。

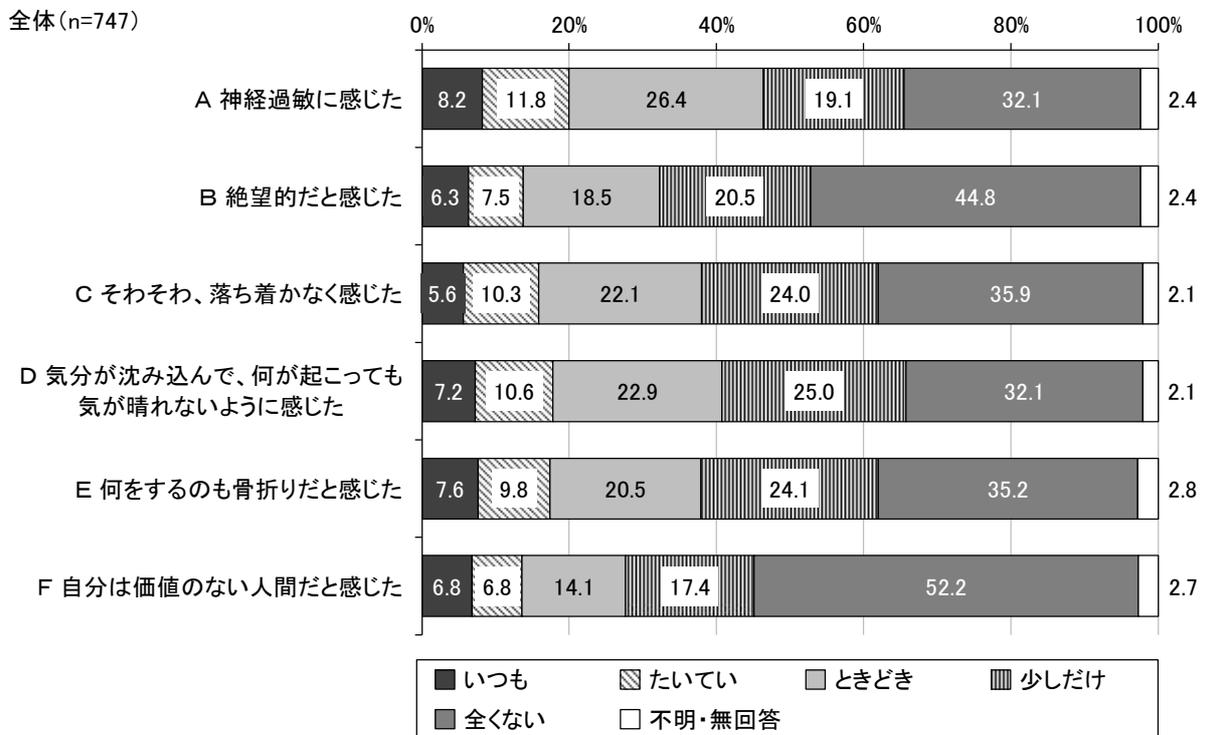


F 自分は価値のない人間だと感じた

「全くない」が52.2%と最も多く、次いで「少しだけ」が17.4%となっています。



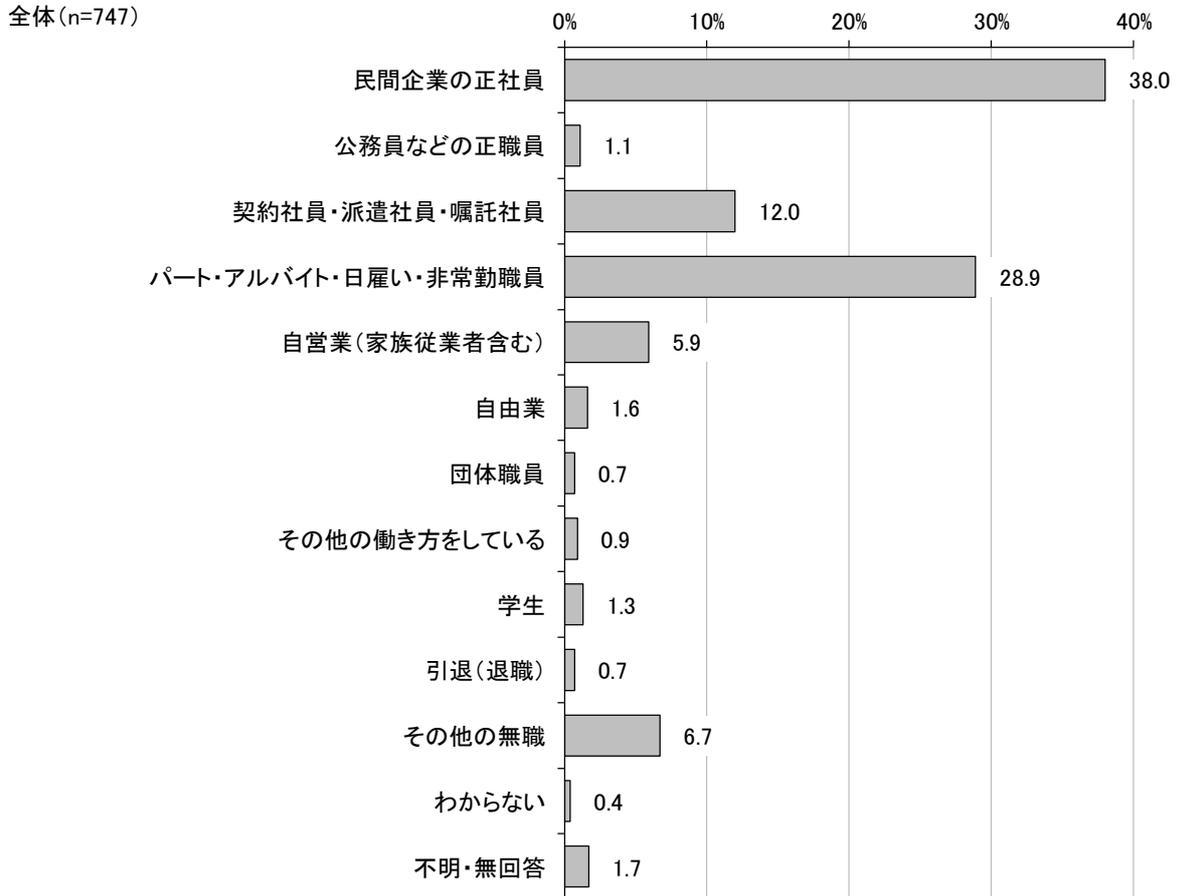
問 12A～F 【再掲】



## 2 就業の状況について

問 13 現在のあなたのご職業は、次のどれに最も近いですか。(1つに○)

職業についてみると、「民間企業の正社員」が 38.0%と最も多く、次いで「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」が 28.9%となっています。



問 13で「学生」「引退（退職）」「その他の無職」「わからない」以外を選んだ方

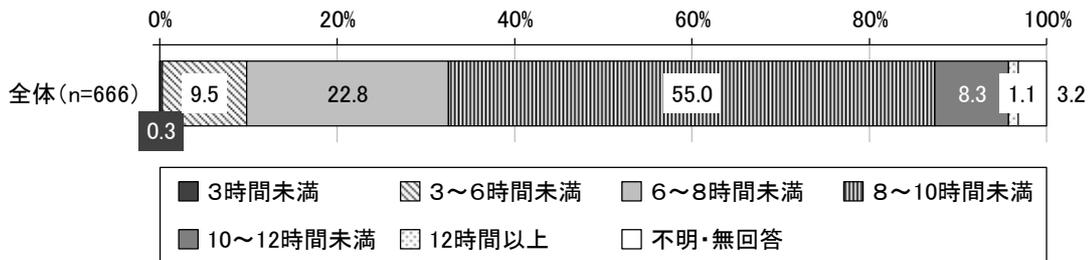
問 13- 1 現在の就労日数、就労時間等の状況について教えてください。

（数字を記入、（3）～（6）はそれぞれ、あてはまる番号1つに○）

※複数のお仕事をもっている場合は合算してください。

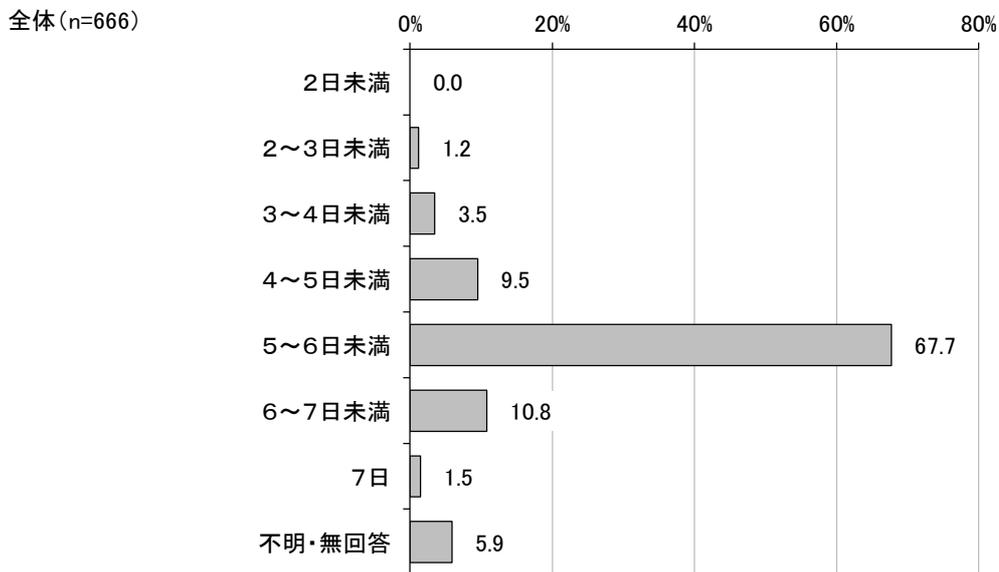
（1）1日の就労時間

1日の就労時間についてみると、「8～10 時間未満」が 55.0%と最も多く、次いで「6～8時間未満」が 22.8%となっています。



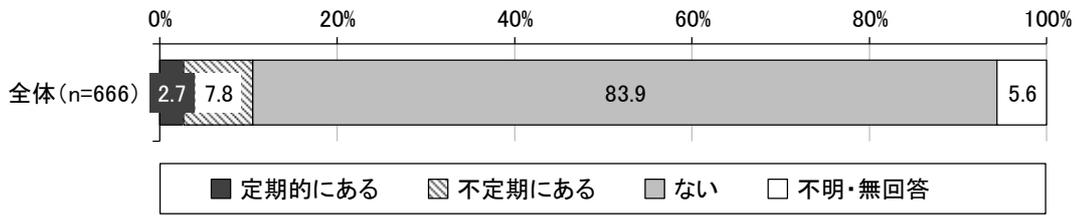
（2）1週間の就労日数

1週間の就労日数についてみると、「5～6日未満」が 67.7%と最も多く、次いで「6～7日未満」が 10.8%となっています。



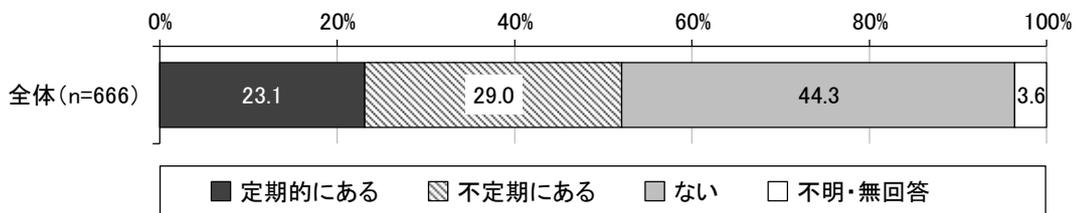
(3) 深夜勤務 (22 時～5 時)

深夜勤務(22 時～5時)についてみると、「ない」が 83.9%と最も多く、次いで「不定期にある」が 7.8%となっています。



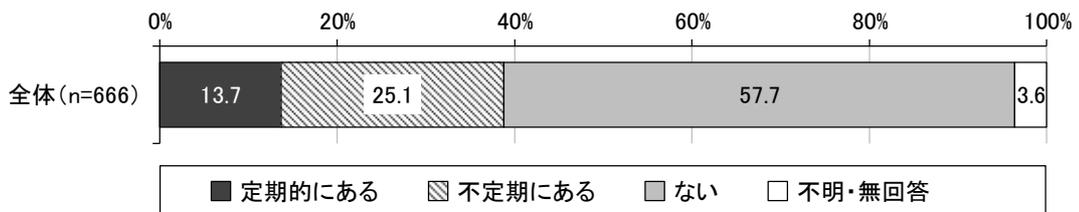
(4) 土曜出勤

土曜出勤についてみると、「ない」が 44.3%と最も多く、次いで「不定期にある」が 29.0%となっています。



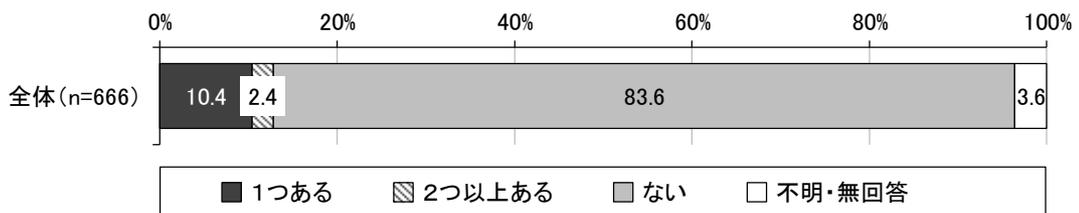
(5) 日曜・祝日出勤

日曜・祝日出勤についてみると、「ない」が 57.7%と最も多く、次いで「不定期にある」が 25.1%となっています。



(6) 副業 (主な仕事以外での労働)

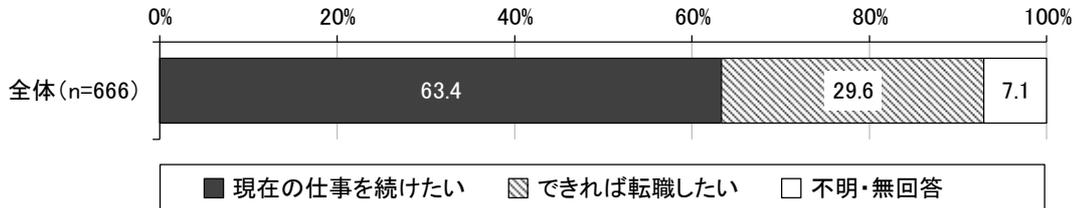
副業(主な仕事以外での労働)についてみると、「ない」が 83.6%と最も多く、次いで「1つある」が 10.4%となっています。



問 13 で「学生」「引退（退職）」「その他の無職」「わからない」以外を選んだ方

問 13-2 あなたは、今のお仕事を今後も続けたいと考えていますか。（1つに○）

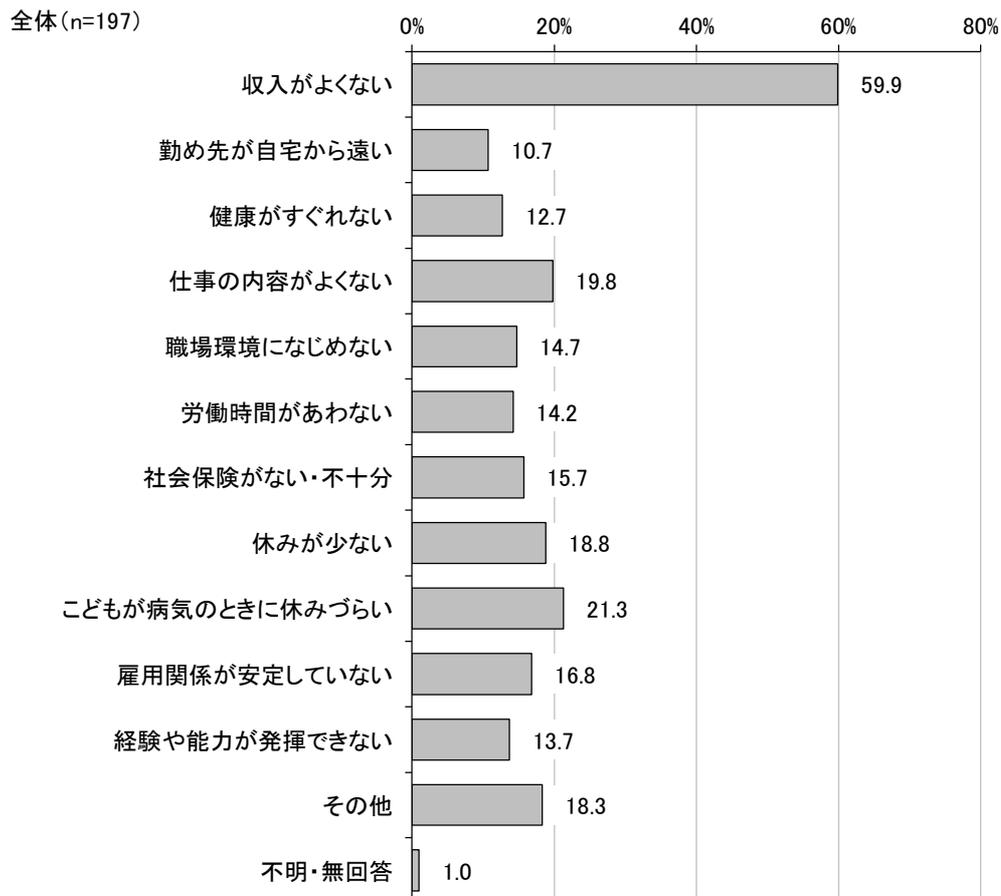
今の仕事を今後も続けたいと考えているかについてみると、「現在の仕事を続けたい」が 63.4%、「できれば転職したい」が 29.6%となっています。



問 13-2 で「できれば転職したい」を選んだ方

問 13-3 どのような理由から転職をお考えですか。（あてはまる番号すべてに○）

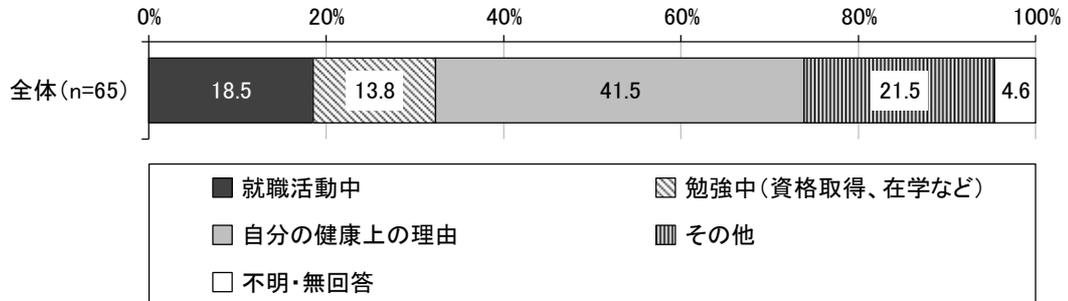
転職を考えている理由についてみると、「収入がよくない」が 59.9%と最も多く、次いで「子どもが病気のときに休みづらい」が 21.3%となっています。



問 13 で「学生」「引退（退職）」「その他の無職」を選んだ方

問 13- 4 現在仕事をしていないのは、主にどのような理由からですか。（1 つに○）

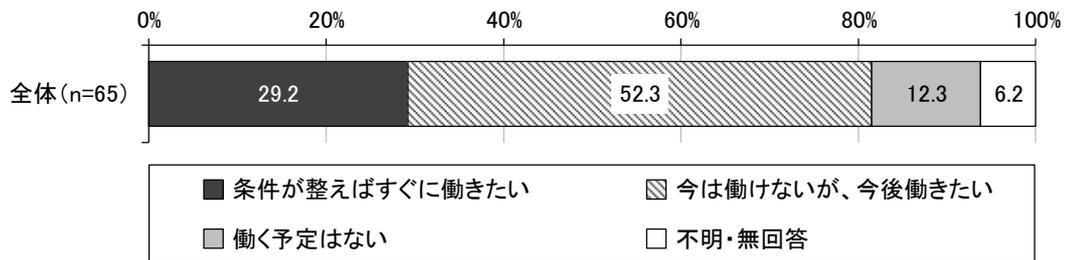
現在仕事をしていない主な理由についてみると、「自分の健康上の理由」が 41.5%と最も多く、次いで「就職活動中」が 18.5%となっています。



問 13 で「学生」「引退（退職）」「その他の無職」を選んだ方

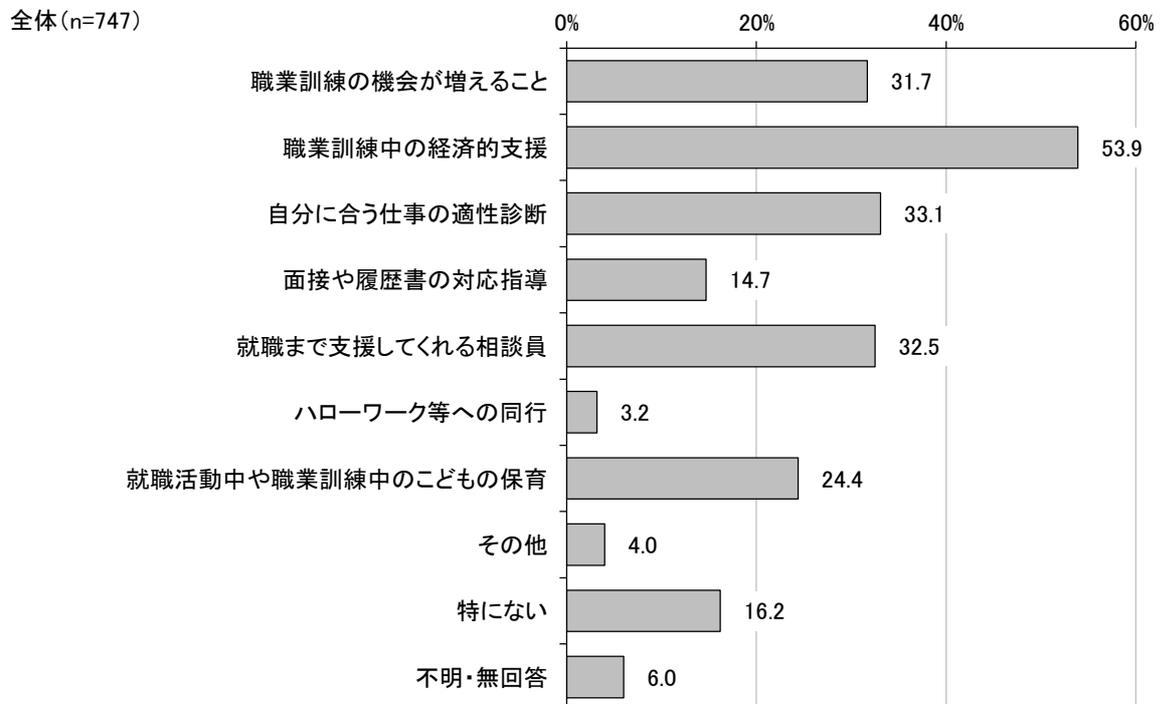
問 13- 5 今後の就労意向は次のどれに最も近いですか。（1 つに○）

今後の就労意向についてみると、「今は働けないが、今後働きたい」が 52.3%と最も多く、次いで「条件を整えばすぐに働きたい」が 29.2%となっています。



問 14 すべての方におうかがいします。就職のためにどのような支援があればよいと思いますか。(あてはまる番号すべてに○)

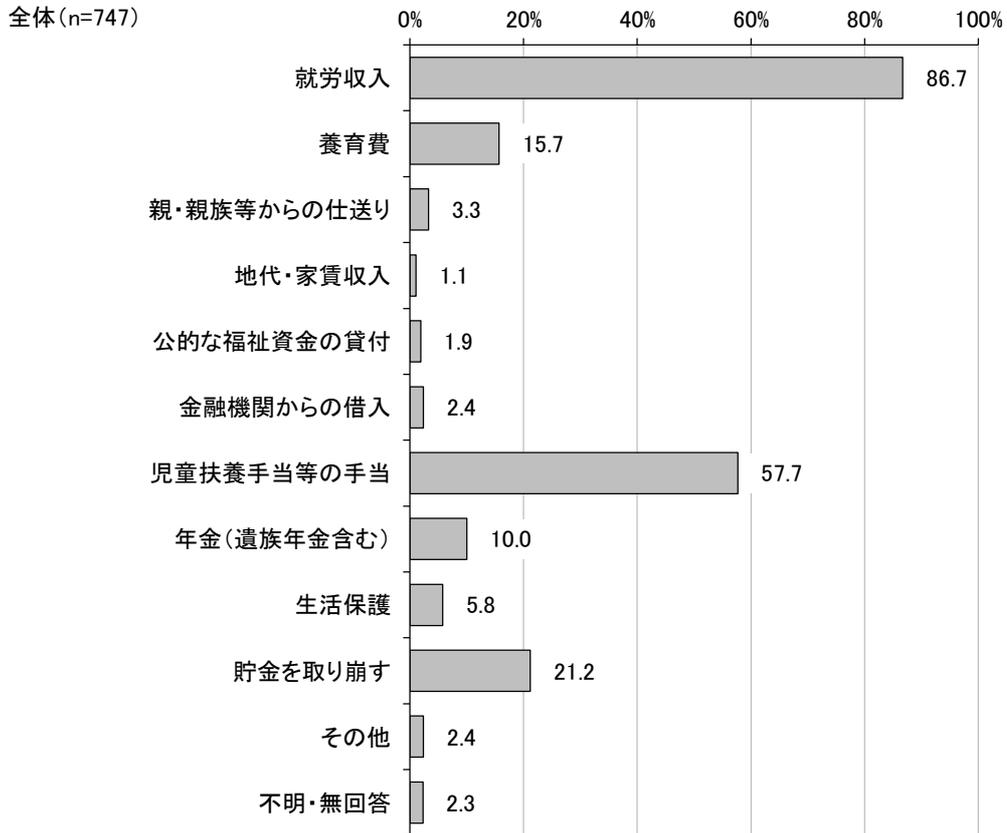
就職のためにあればよいと思う支援についてみると、「職業訓練中の経済的支援」が53.9%と最も多く、次いで「自分に合う仕事の適性診断」が33.1%となっています。



### 3 ご家庭の家計について

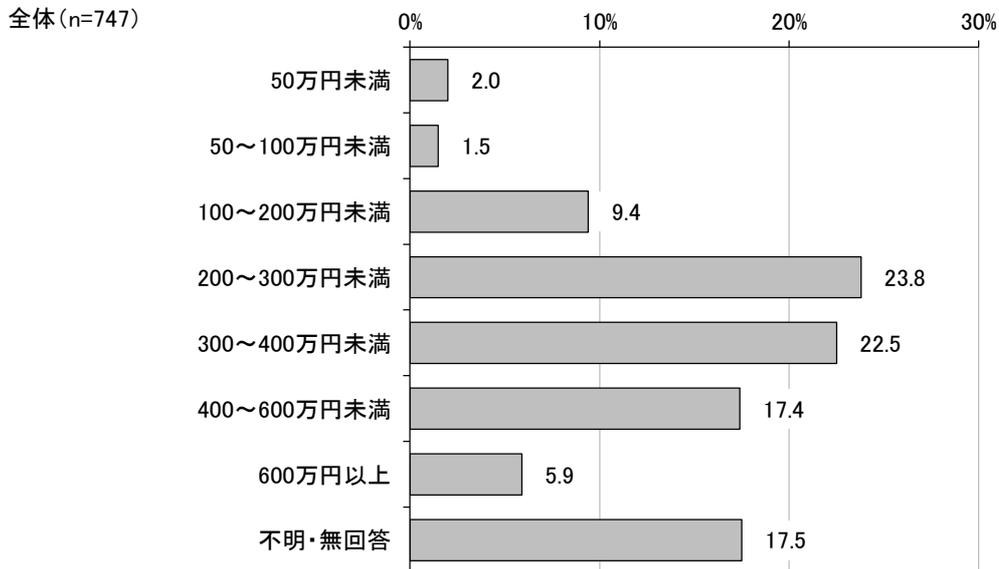
問 15 あなたのご家庭の主な収入源となっているものをお答えください。  
(あてはまる番号すべてに○)

主な収入源についてみると、「就労収入」が 86.7%と最も多く、次いで「児童扶養手当等の手当」が 57.7%となっています。



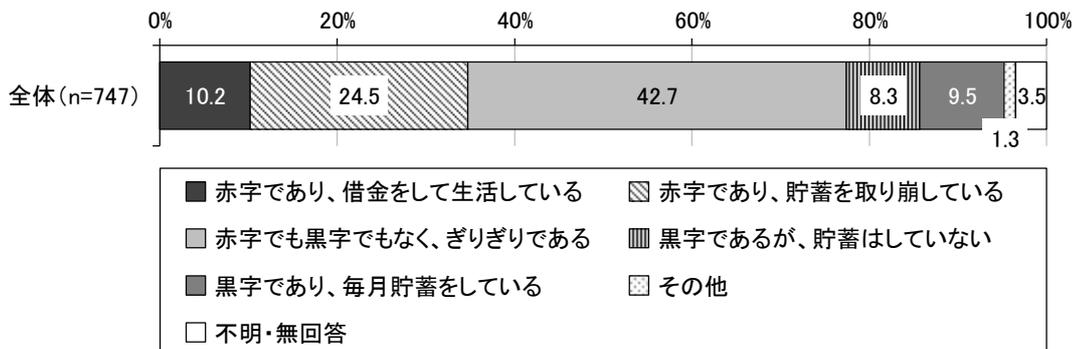
問 16 あなたの世帯の、1年間のおおよその手取りの総収入（養育費や手当等のすべての収入を含みます）はいくらですか。（数字を記入）

1年間のおおよその手取りの総収入についてみると、「200～300万円未満」が23.8%と最も多く、次いで「300～400万円未満」が22.5%となっています。



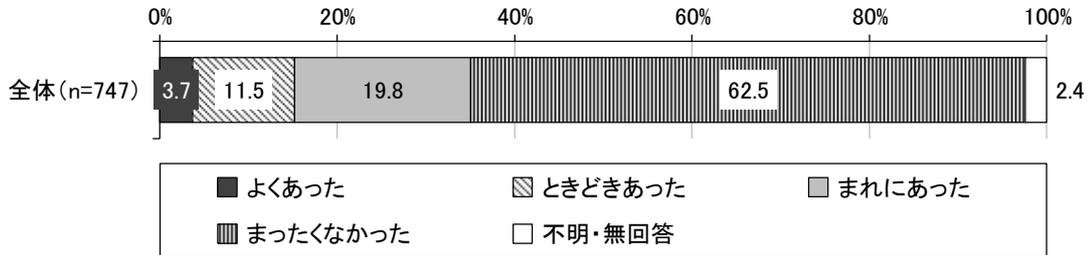
問 17 ご家庭の家計について、最も近いものをお答えください。（1つに○）

家計についてみると、「赤字でも黒字でもなく、ぎりぎりである」が42.7%と最も多く、次いで「赤字であり、貯蓄を取り崩している」が24.5%となっています。



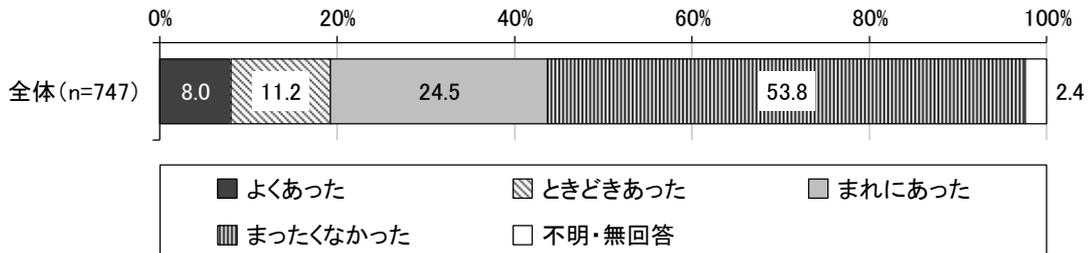
問 18 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。(1つに○)

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする食料を買えないことがあったかについてみると、「まったくなかった」が62.5%と最も多く、次いで「まれにあった」が19.8%となっています。



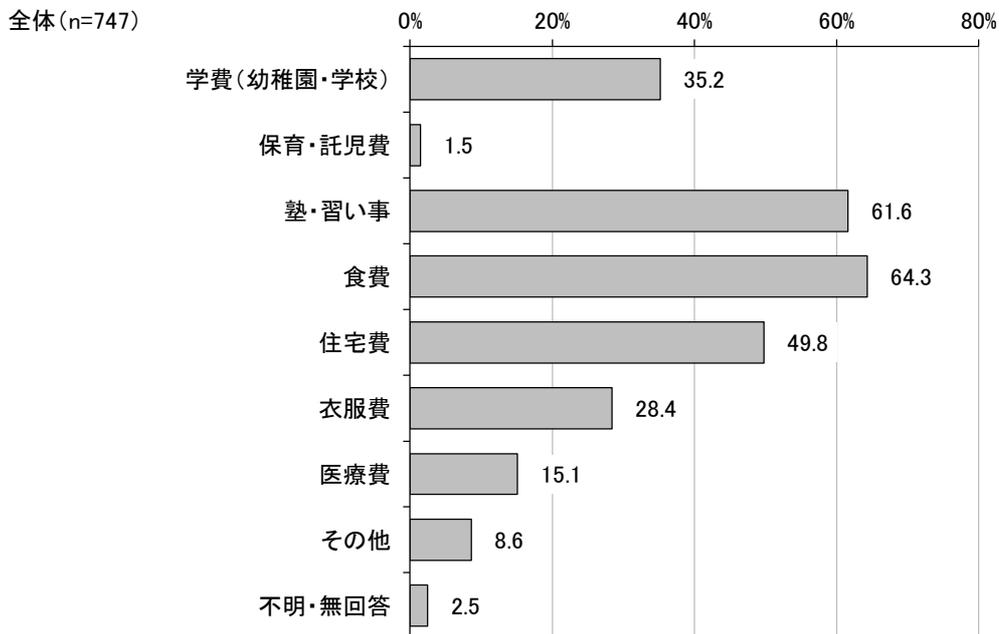
問 19 あなたのご家庭では、過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。(1つに○)

過去1年の間に、お金が足りなくて、家族が必要とする衣類を買えないことがあったかについてみると、「まったくなかった」が53.8%と最も多く、次いで「まれにあった」が24.5%となっています。



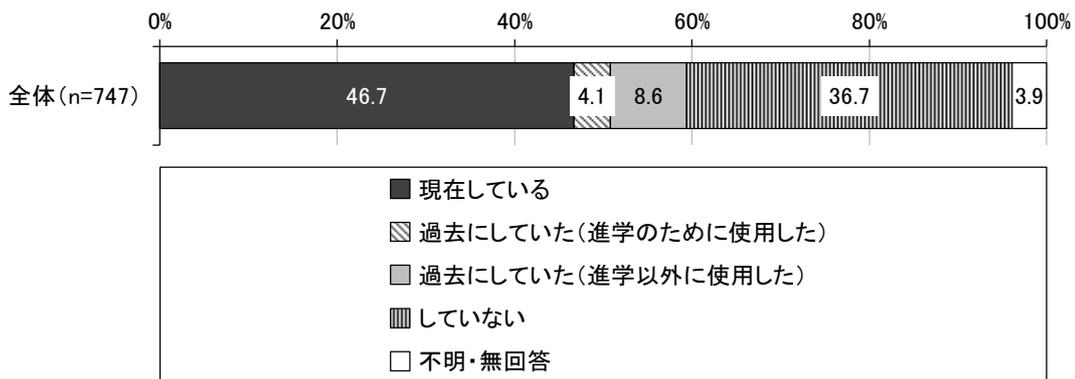
問 20 生活費の中で負担に感じる支出はどの費用ですか。(あてはまる番号すべてに○)

生活費の中で負担に感じる支出についてみると、「食費」が64.3%と最も多く、次いで「塾・習い事」が61.6%となっています。



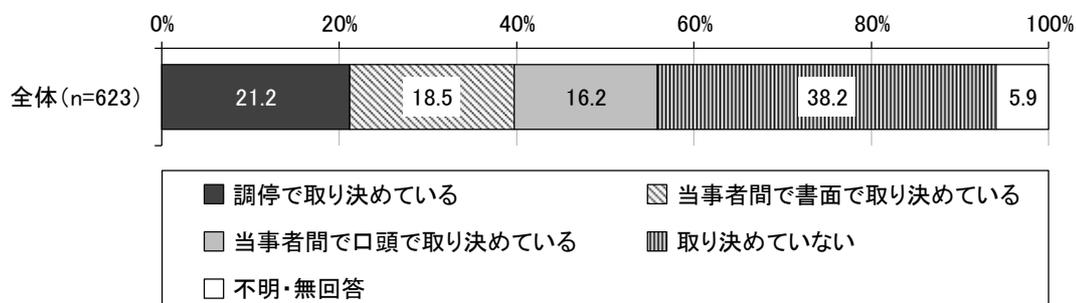
問 21 あなたのご家庭では、こどもの進学のために積立 (預貯金) や学資保険などに加入していますか。(1つに○)

こどもの進学のために積立 (預貯金) や学資保険などに加入しているかについてみると、「現在している」が46.7%と最も多く、次いで「していない」が36.7%となっています。



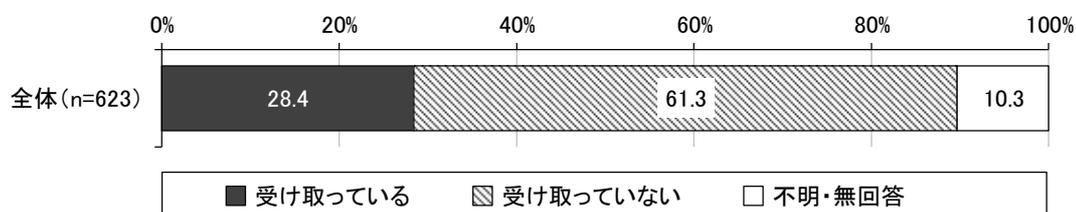
問 22 離婚または未婚の方におうかがいします。あなたは、養育費についての取り決めを行っていますか。(1つに○)

養育費についての取り決めを行っているかについてみると、「取り決めていない」が 38.2%と最も多く、次いで「調停で取り決めている」が 21.2%となっています。



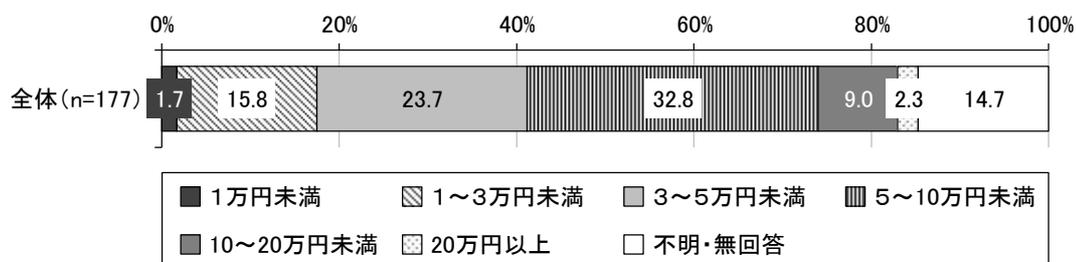
問 23 離婚または未婚の方におうかがいします。あなたは、養育費を受け取っていますか。受け取られている方は、受け取っている養育費の金額のご記入をお願いします。(1つに○)

養育費を受け取っているかについてみると、「受け取っている」が 28.4%、「受け取っていない」が 61.3%となっています。



### 養育費金額 (月額換算)

養育費(月額換算)についてみると、「5～10万円未満」が 32.8%と最も多く、次いで「3～5万円未満」が 23.7%となっています。

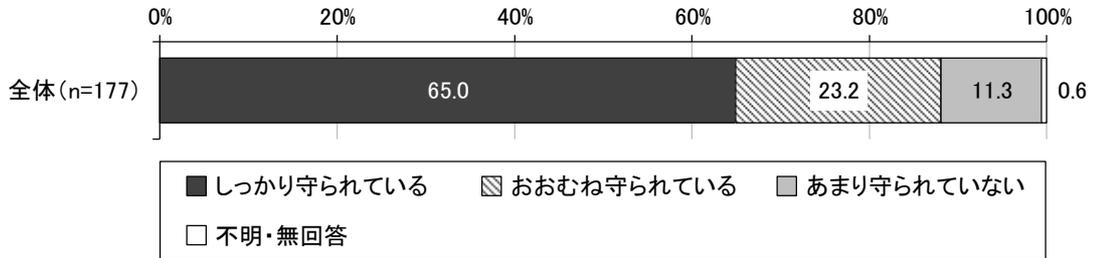


第3部 子育て世帯生活実態調査結果

問 23 で「受け取っている」を選んだ方

問 23- 1 問 22 での取り決めは守られていますか。(1つに○)

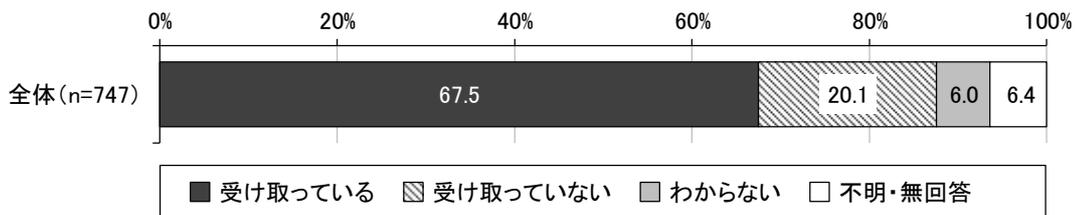
取り決めは守られているかについてみると、「しっかり守られている」が 65.0%と最も多く、次いで「おおむね守られている」が 23.2%となっています。



問 24 あなたのご家庭では、就学援助費を受け取っていますか。(1つに○)

※就学援助制度は、経済的な理由により就学が困難な子どもたちの保護者に対して、援助を行い、子どもたちが等しく義務教育を受けることができるようにするための制度です。

就学援助費を受け取っているかについてみると、「受け取っている」が 67.5%と最も多く、次いで「受け取っていない」が 20.1%となっています。



問 24 で「受け取っている」を選んだ方

問 24-1 就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは何の経費ですか。

就学援助で支給されている額と実際にかかった額とで、その差が大きいものは、「入学準備費」が170件と最も多く、次いで「学用品費」が134件となっています。

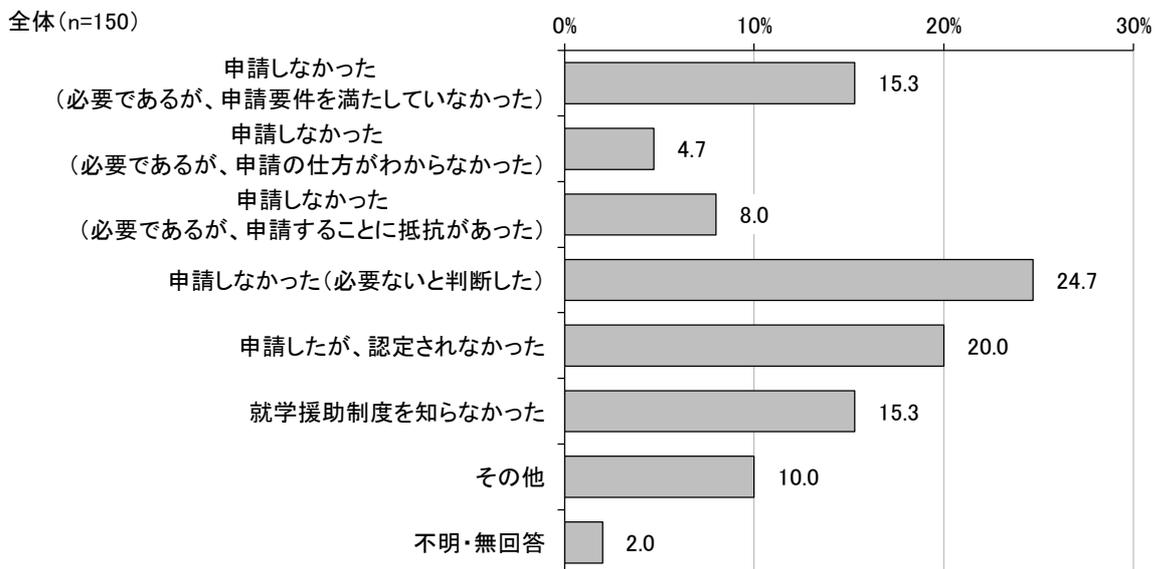
カテゴリー	件数
入学準備費	170
学用品費	134
運動用品費	107
遠足・移動教室費	30
わからない	13
その他	51

※カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

問 24 で「受け取っていない」を選んだ方

問 24-2 受け取っていない理由は、何ですか。次のうち最も近いものに○をつけてください。(1つに○)

受け取っていない理由についてみると、「申請しなかった(必要ないと判断した)」が24.7%と最も多く、次いで「申請したが、認定されなかった」が20.0%となっています。

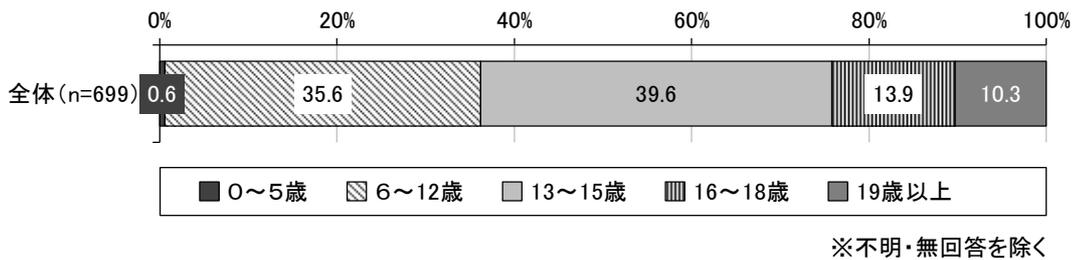


## 4 お子さんのことについて

問 25 同居しているすべてのお子さんの、年齢・通学などの状況を教えてください。また、通学している場合は、公立・私立の種類についても教えてください。特別支援学校に通学している場合は、小学校・中学校・高等学校のそれぞれ該当する番号に○をつけてください。(それぞれあてはまる番号1つに○、年齢は数字を記入)

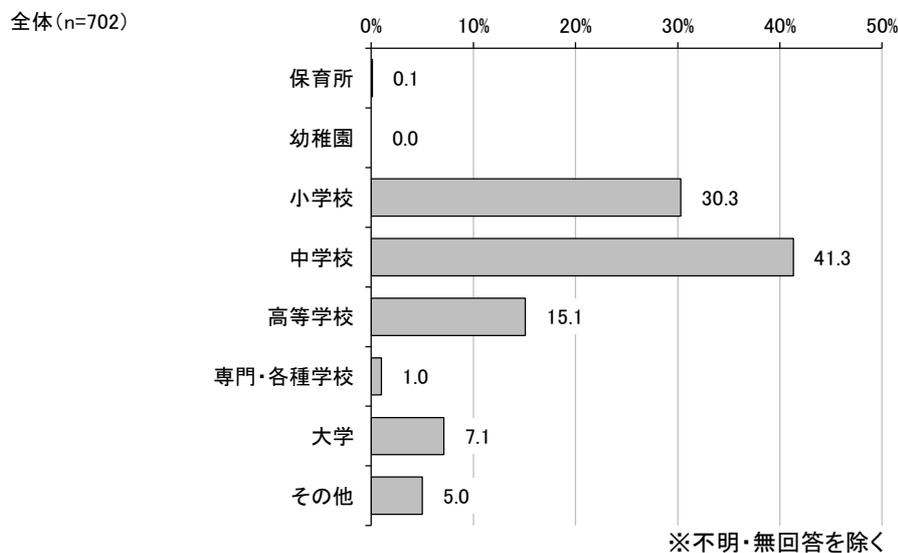
### 【第1子】年齢

第1子の年齢についてみると、「13～15歳」が39.6%と最も多く、次いで「6～12歳」が35.6%となっています。



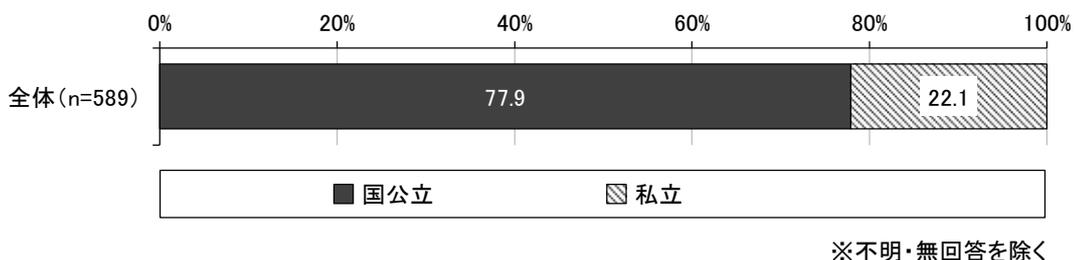
### 【第1子】通学などの状況

第1子の通学などの状況についてみると、「中学校」が41.3%と最も多く、次いで「小学校」が30.3%となっています。



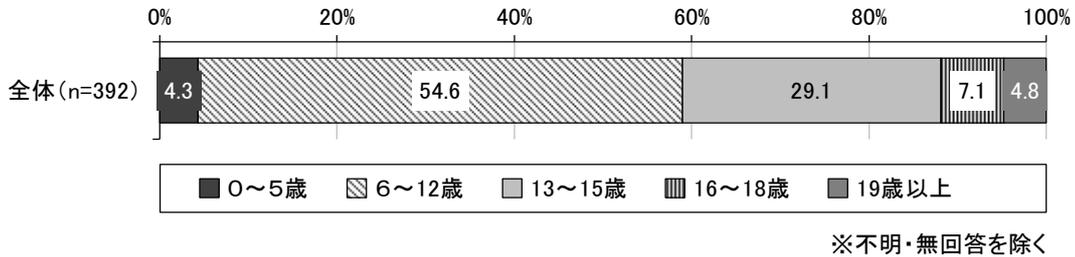
### 【第1子】公立・私立の種類

第1子の公立・私立の種類についてみると、「国公立」が77.9%、「私立」が22.1%となっています。



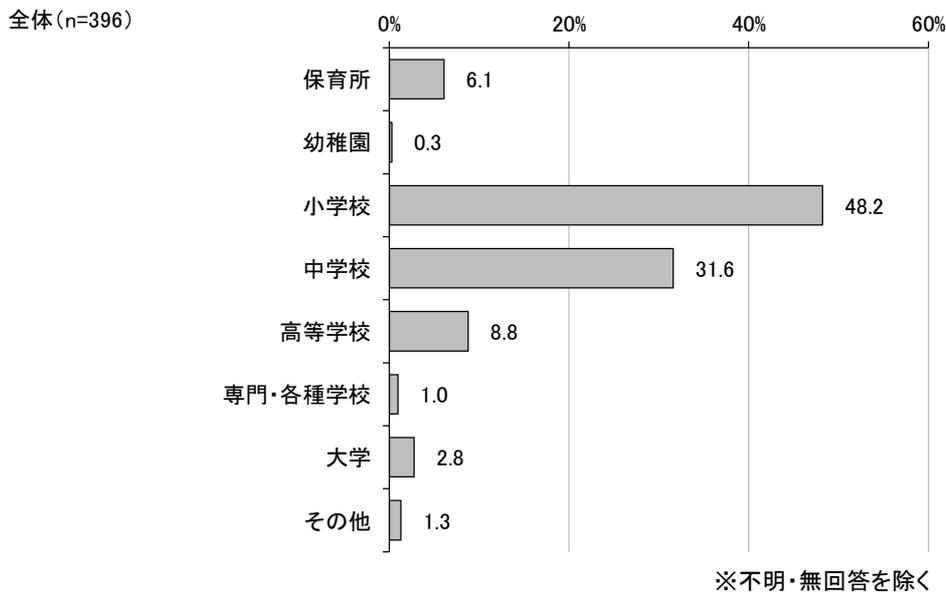
【第2子】年齢

第2子の年齢についてみると、「6～12歳」が54.6%と最も多く、次いで「13～15歳」が29.1%となっています。



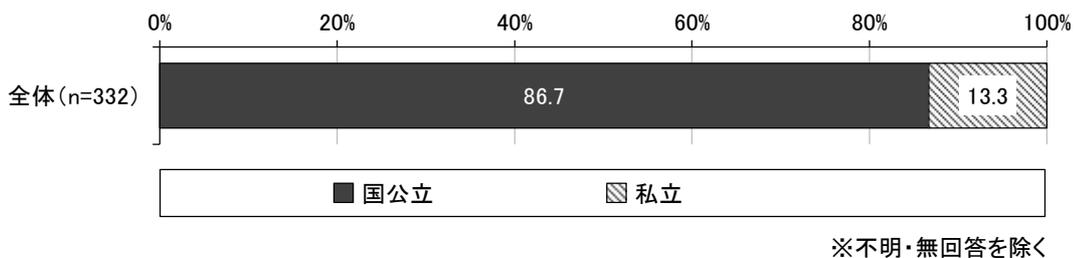
【第2子】通学などの状況

第2子の通学などの状況についてみると、「小学校」が48.2%と最も多く、次いで「中学校」が31.6%となっています。



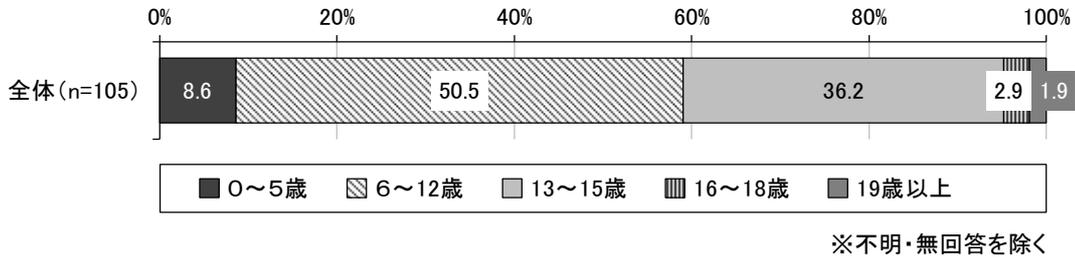
【第2子】公私立の種類

第2子の公私立の種類についてみると、「国公立」が86.7%、「私立」が13.3%となっています。



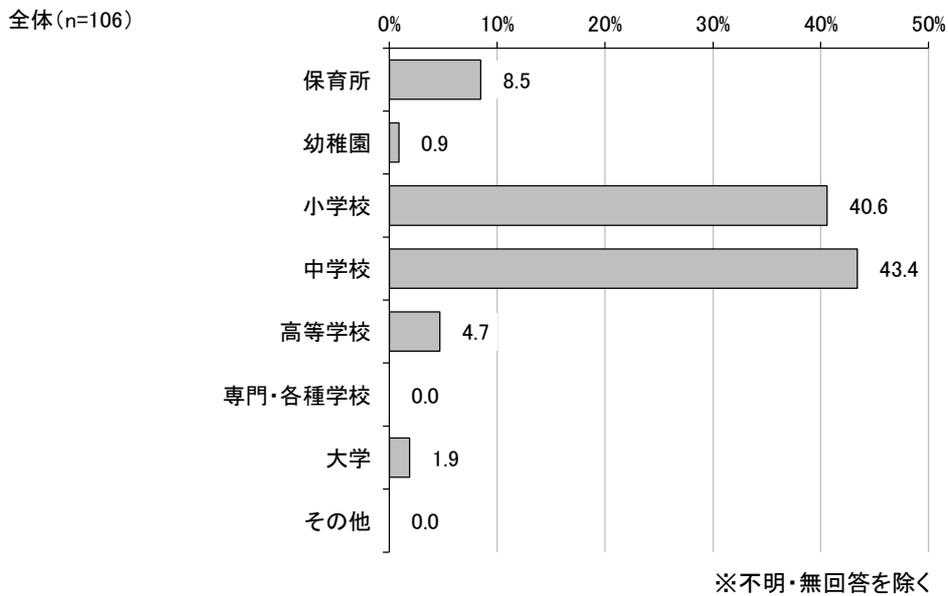
【第3子】年齢

第3子の年齢についてみると、「6～12歳」が50.5%と最も多く、次いで「13～15歳」が36.2%となっています。



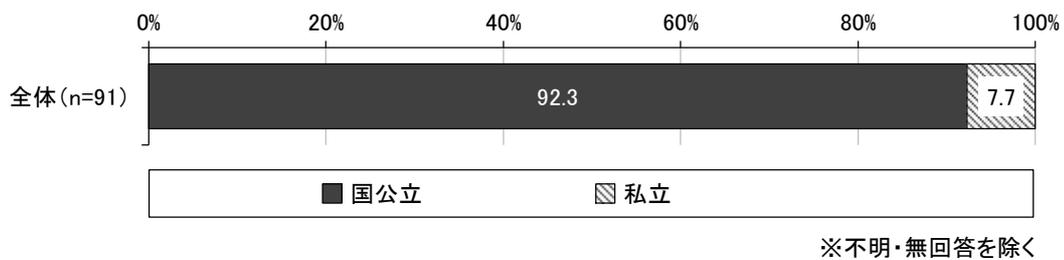
【第3子】通学などの状況

第3子の通学などの状況についてみると、「中学校」が43.4%と最も多く、次いで「小学校」が40.6%となっています。



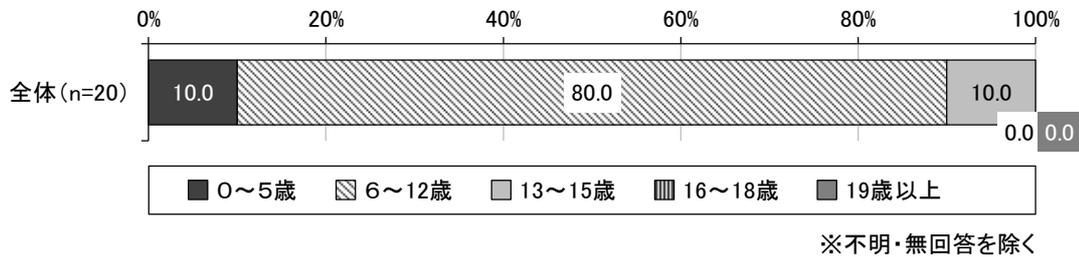
【第3子】公私立の種類

第3子の公私立の種類についてみると、「国公立」が92.3%、「私立」が7.7%となっています。



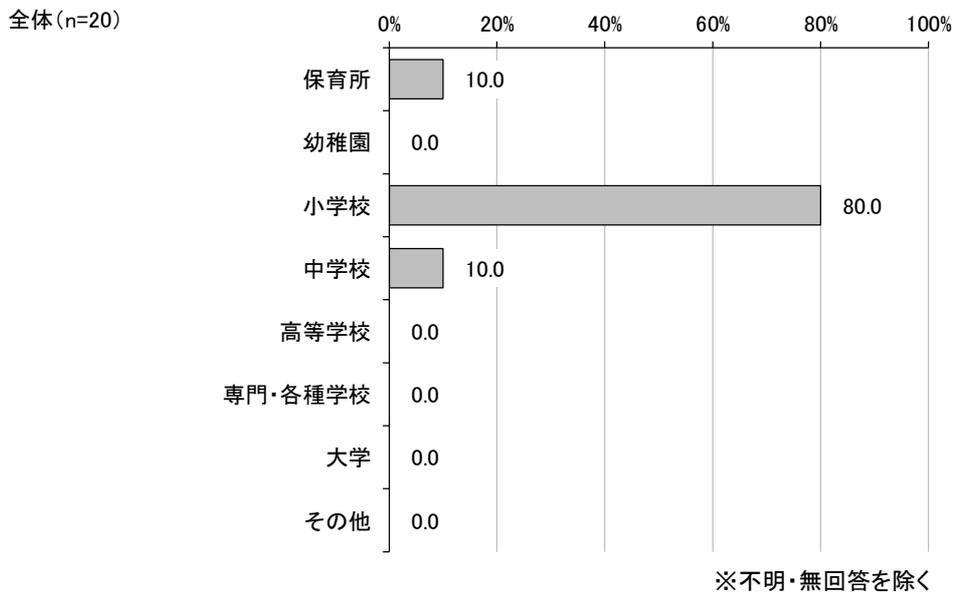
【第4子】年齢

第4子の年齢についてみると、「6～12歳」が80.0%と最も多く、次いで「0～5歳」「13～15歳」が10.0%となっています。



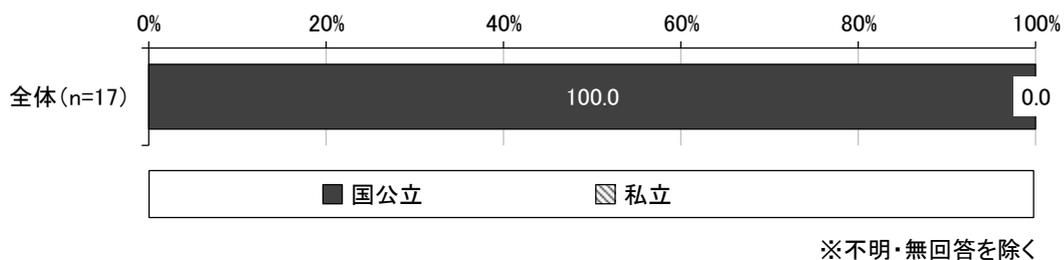
【第4子】通学などの状況

第4子の通学などの状況についてみると、「小学校」が80.0%と最も多く、次いで「保育所」「中学校」が10.0%となっています。



【第4子】公私立の種類

第4子の公私立の種類についてみると、「国公立」が100.0%となっています。



第5子については、回答数が少なかったため、結果のみ示します。

【第5子】年齢

全体(n=5)	件数	%
0～5歳	1	20.0
6～12歳	4	80.0
13～15歳	0	0.0
16～18歳	0	0.0
19歳以上	0	0.0

※不明・無回答を除く

【第5子】通学などの状況

全体(n=5)	件数	%
保育所	1	20.0
幼稚園	0	0.0
小学校	4	80.0
中学校	0	0.0
高等学校	0	0.0
専門・各種学校	0	0.0
大学	0	0.0
その他	0	0.0

※不明・無回答を除く

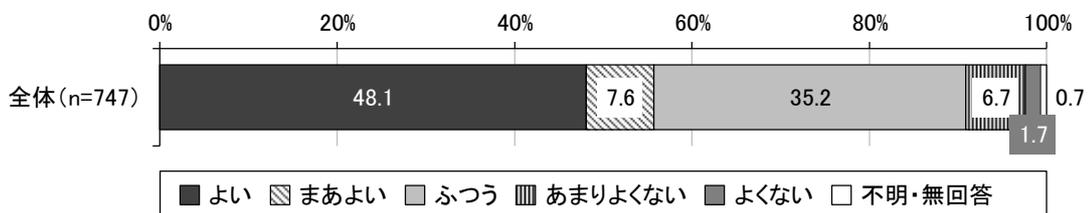
【第5子】公私立の種類

全体(n=4)	件数	%
国公立	4	100.0
私立	0	0.0

※不明・無回答を除く

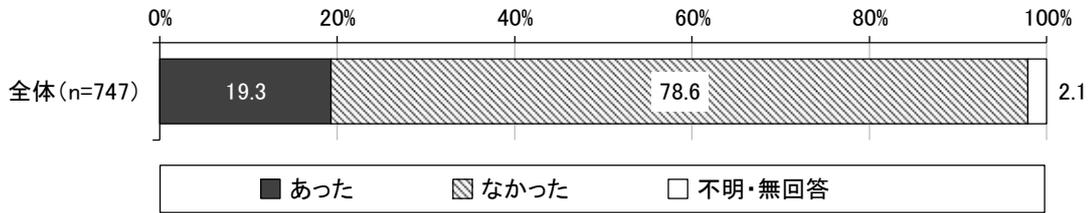
問 26 お子さんの健康状態は、次のどれが最もよくあてはまりますか。(1つに○)

こどもの健康状態についてみると、「よい」が48.1%と最も多く、次いで「ふつう」が35.2%となっています。



問 27 過去1年間に、お子さんを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがありましたか。(1つに○)

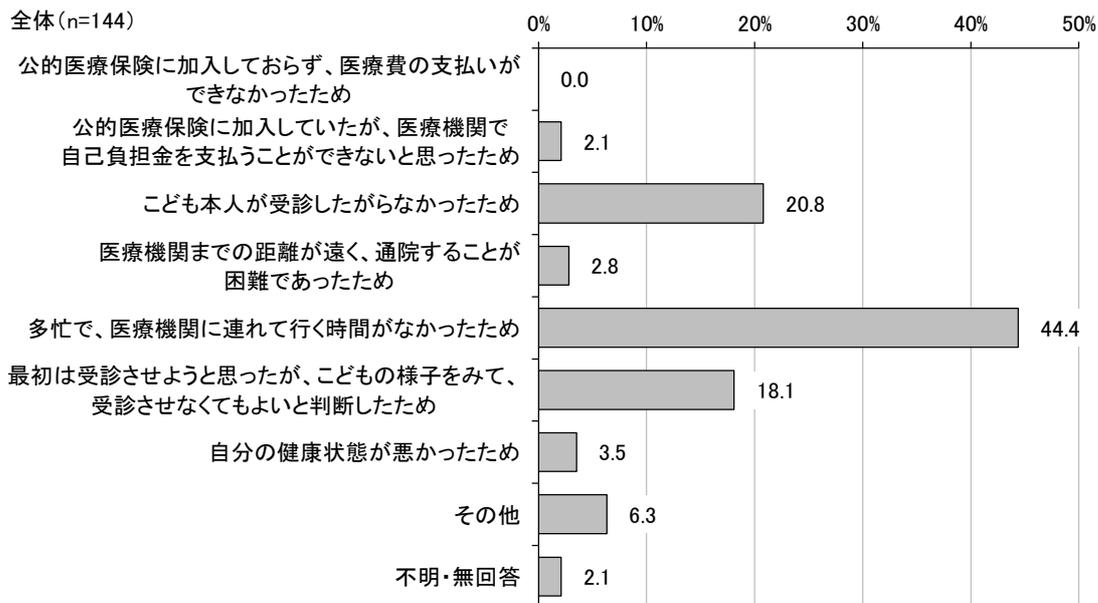
過去1年間に、こどもを医療機関で受診させた方がよいと思ったが、実際には受診させなかったことがあるかについてみると、「あった」が19.3%、「なかった」が78.6%となっています。



問 27 で「あった」を選んだ方

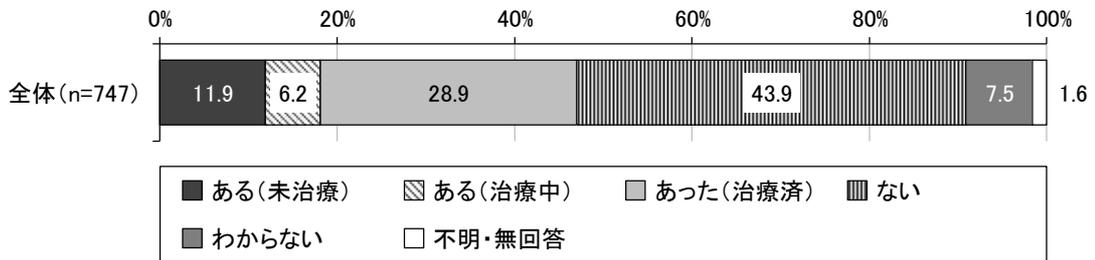
問 27-1 その理由は何ですか。以下の中から最も近いものに○をつけてください。(1つに○)

受診させなかった理由についてみると、「多忙で、医療機関に連れて行く時間がなかったため」が44.4%と最も多く、次いで「こども本人が受診しなかったため」が20.8%となっています。



問 28 お子さんには虫歯がありますか。(1つに○)

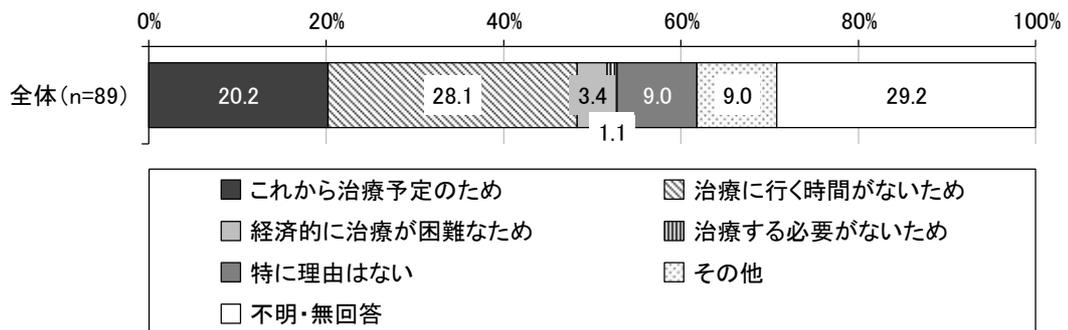
こどもに虫歯があるかについてみると、「ない」が 43.9%と最も多く、次いで「あった(治療済)」が 28.9%となっています。



問 28 で「ある(未治療)」を選んだ方

問 28-1 治療していない理由は何ですか。以下の中から最も近いものに○をつけてください。(1つに○)

治療していない理由についてみると、「治療に行く時間がないため」が 28.1%と最も多く、次いで「これから治療予定のため」が 20.2%となっています。

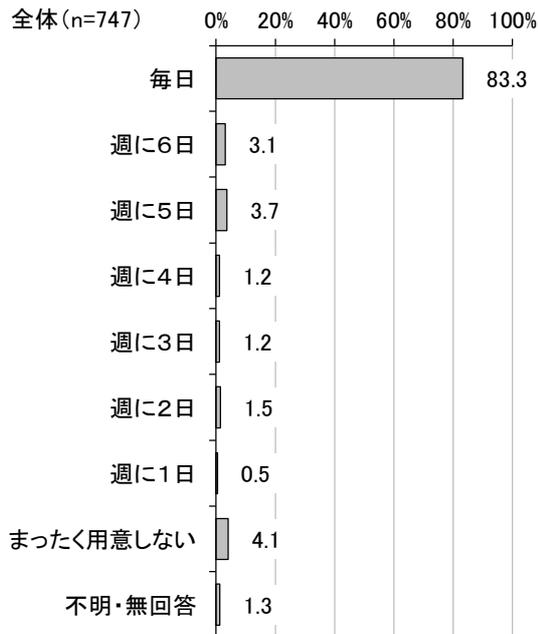


問 29 あなたのご家庭では、1週間にどれくらいお子さんに朝ごはん、晩ごはんを用意していますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

1週間にどれくらいこどもに朝ごはんを用意しているかについてみると、「毎日」が83.3%と最も多く、次いで「まったく用意しない」が4.1%となっています。

1週間にどれくらいこどもに晩ごはんを用意しているかについてみると、「毎日」が89.8%と最も多く、次いで「週に5日」が3.2%となっています。

A 朝ごはん



B 晩ごはん

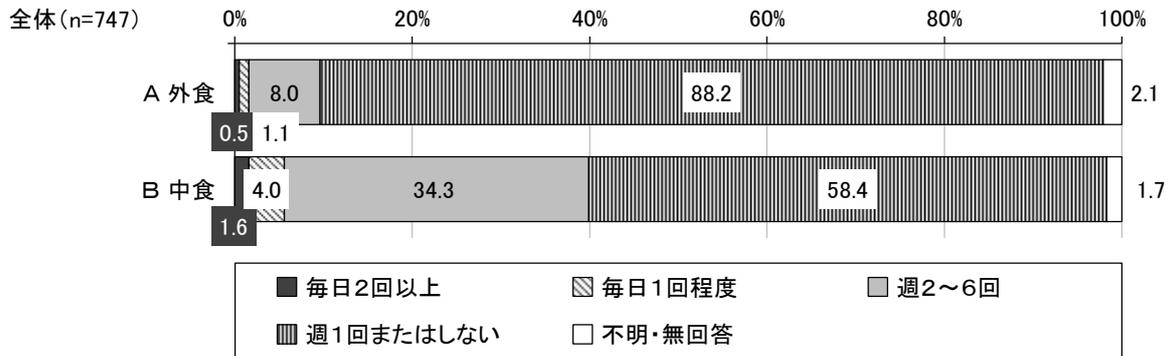


第3部 子育て世帯生活実態調査結果

問 30 あなたのご家庭では、お子さんの食事について外食や中食がどのくらいの頻度でありますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

外食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 88.2%と最も多く、次いで「週2～6回」が 8.0%となっています。

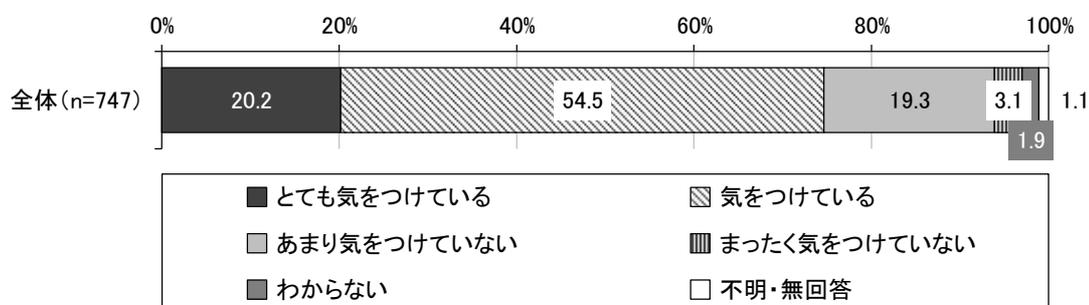
中食の頻度についてみると、「週1回またはしない」が 58.4%と最も多く、次いで「週2～6回」が 34.3%となっています。



問 31 あなたのご家庭では、お子さんの食生活について、どのような点に気をつけていますか。(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

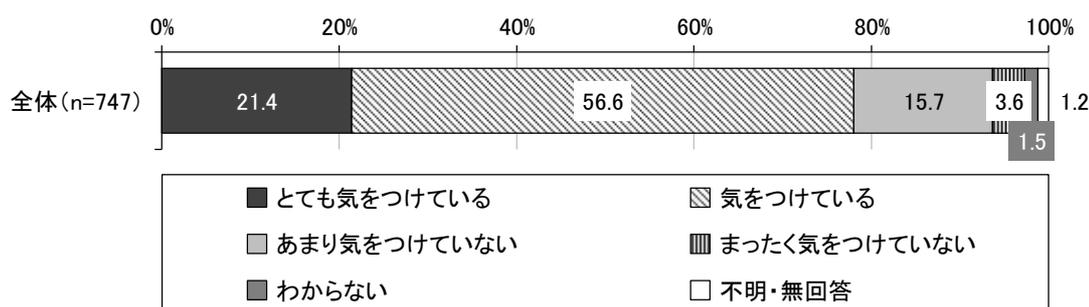
A 栄養のバランスを考えていろいろな食品をとる

「気をつけている」が 54.5%と最も多く、次いで「とても気をつけている」が 20.2%となっています。



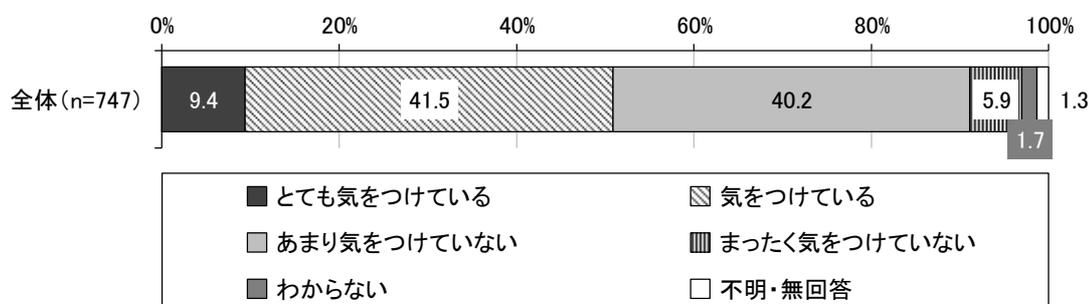
B 野菜をたくさん食べる

「気をつけている」が 56.6%と最も多く、次いで「とても気をつけている」が 21.4%となっています。



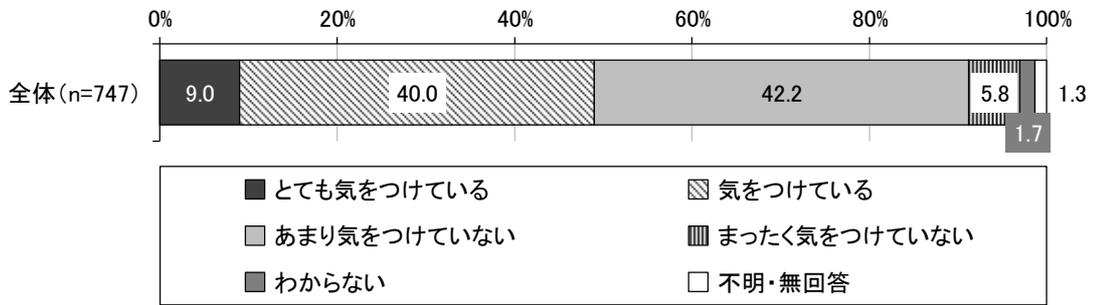
C 塩分の摂取量を控える

「気をつけている」が 41.5%と最も多く、次いで「あまり気をつけていない」が 40.2%となっています。



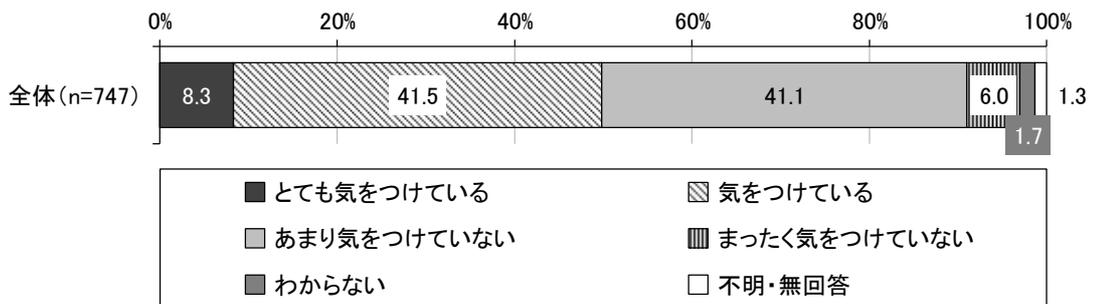
D 油分の摂取量を控える

「あまり気をつけていない」が 42.2%と最も多く、次いで「気をつけている」が 40.0%となっています。

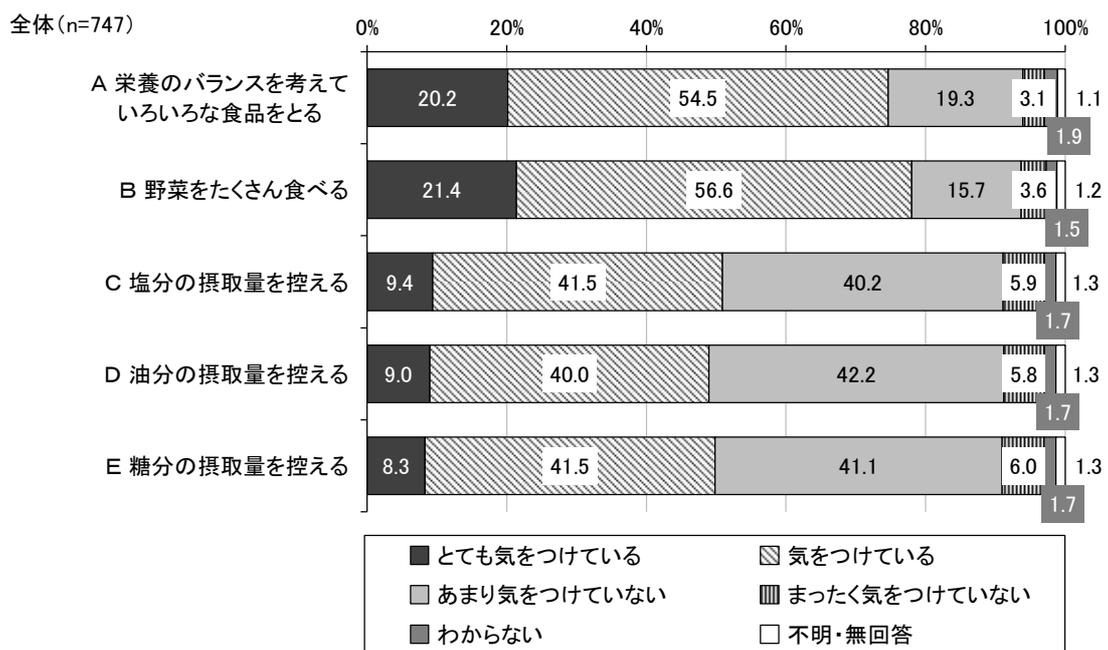


E 糖分の摂取量を控える

「気をつけている」が 41.5%と最も多く、次いで「あまり気をつけていない」が 41.1%となっています。



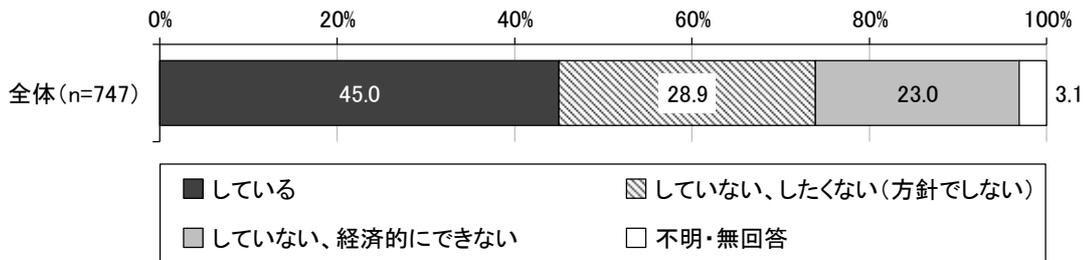
問 31A～E【再掲】



問 32 あなたのご家庭では、お子さんに次のことをしていますか。A～Hについて、「している」「していない、したくない(方針でしない)」「していない、経済的にできない」のうち、あてはまるものに○をつけてください。  
(それぞれ、あてはまる番号1つに○)

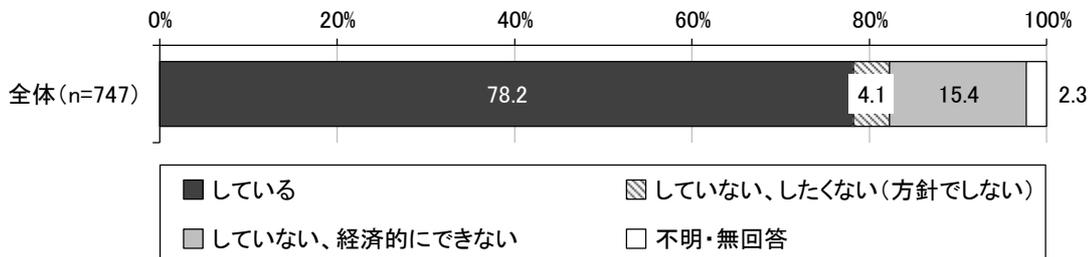
A 毎月お小遣いを渡す

「している」が45.0%と最も多く、次いで「していない、したくない(方針でしない)」が28.9%となっています。



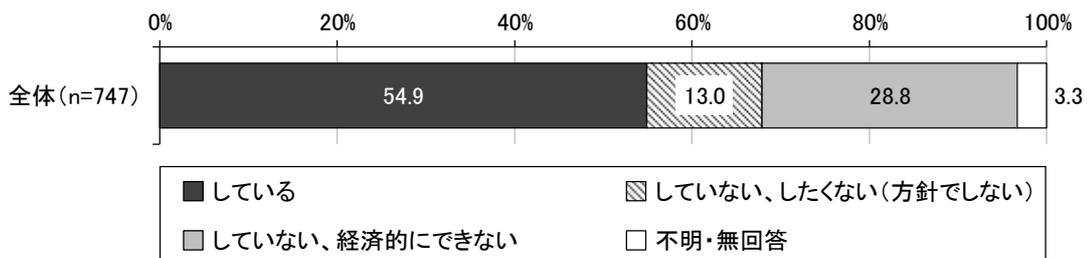
B 毎年新しい洋服・靴を買う

「している」が78.2%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が15.4%となっています。



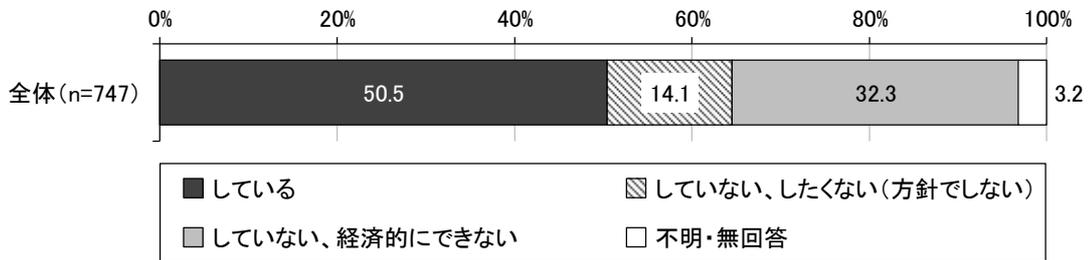
C 習い事(音楽、スポーツ、習字等)に通わせる

「している」が54.9%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が28.8%となっています。



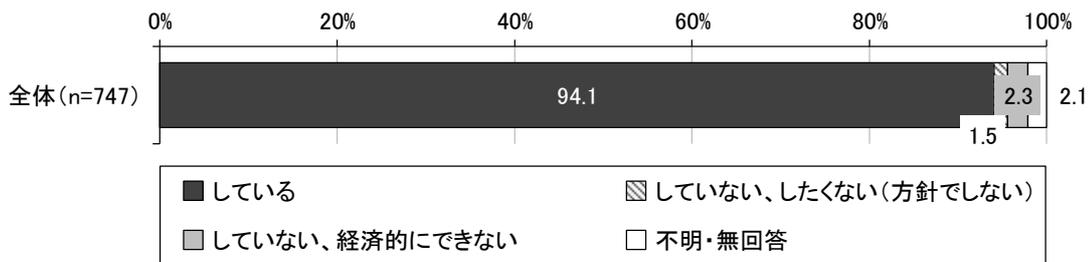
D 学習塾に通わせる（または家庭教師に来てもらう）

「している」が50.5%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が32.3%となっています。



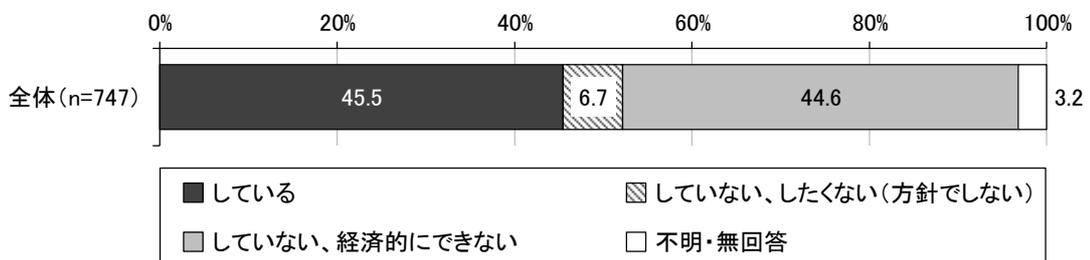
E お誕生日のお祝いをする

「している」が94.1%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が2.3%となっています。



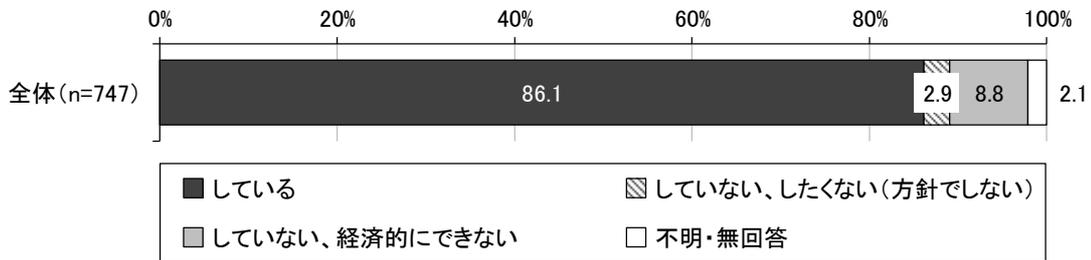
F 1年に1回くらい家族旅行に行く

「している」が45.5%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が44.6%となっています。



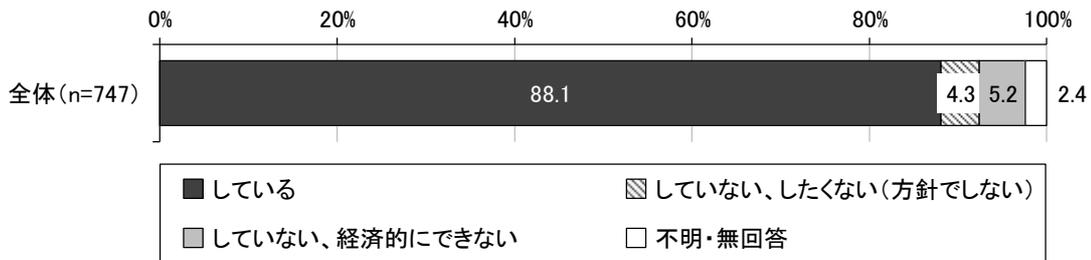
G クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる

「している」が 86.1%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が 8.8%となっています。

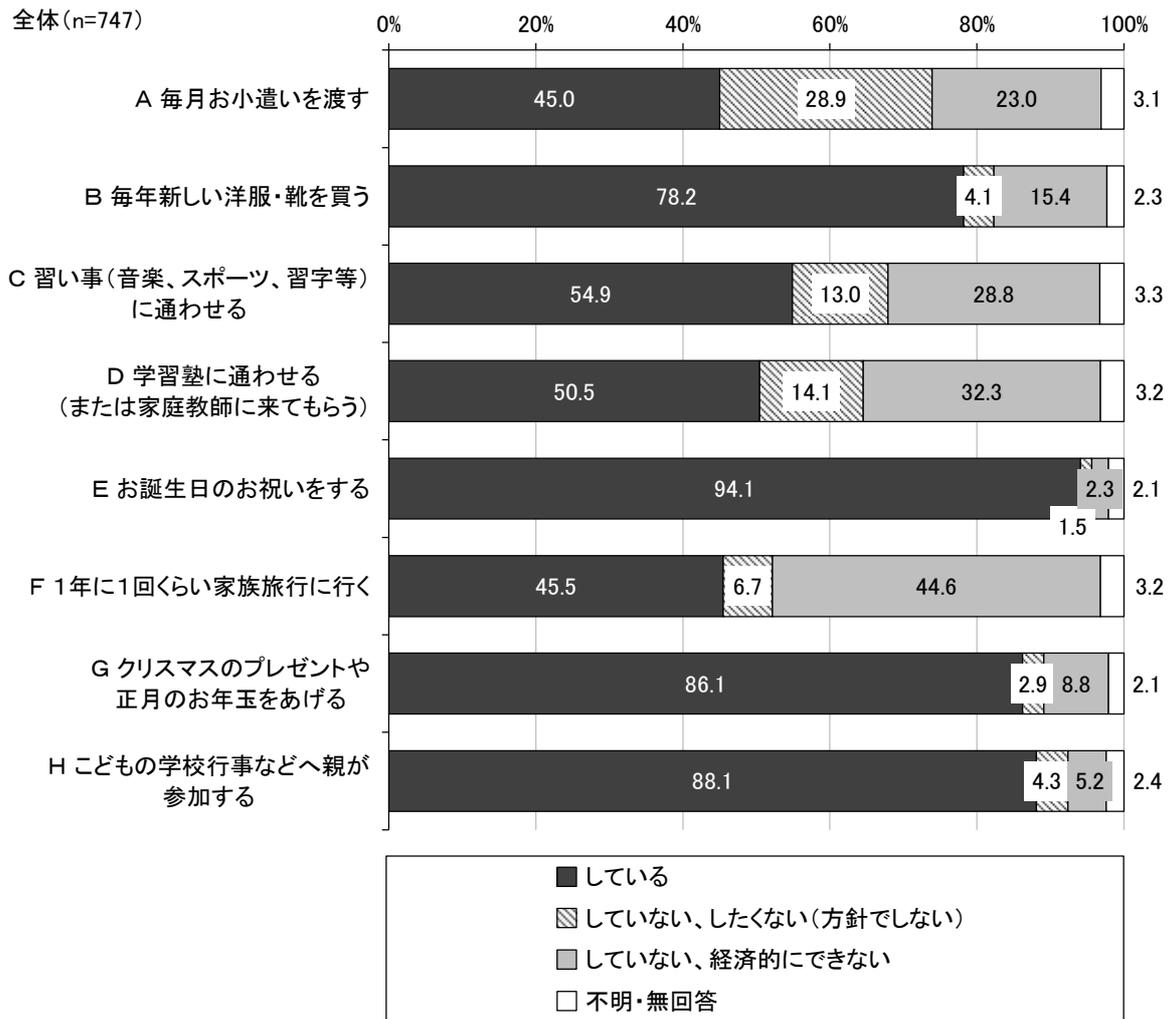


H こどもの学校行事などへ親が参加する

「している」が 88.1%と最も多く、次いで「していない、経済的にできない」が 5.2%となっています。

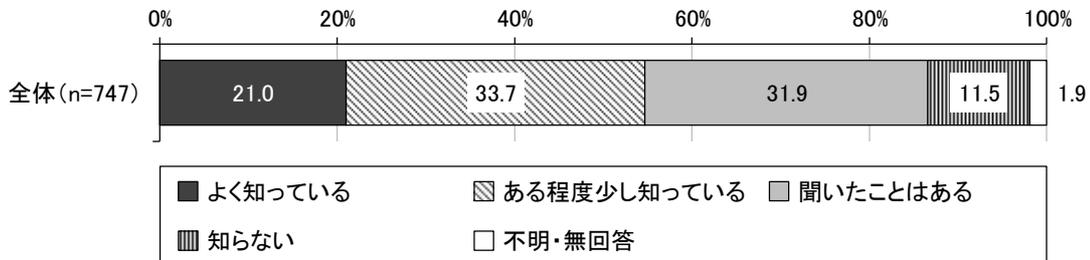


問 32 A～H 【再掲】



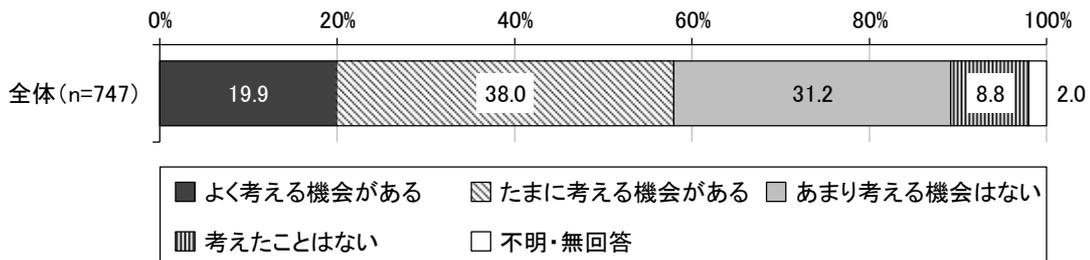
問 33 「こどもの権利」とは、こどもが大人と同じく一人の人間として持つ権利であり、安心して生活できること、自由に意見を言ったり活動したりできることなどが含まれます。あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。(1つに○)

「こどもの権利」の認知度についてみると、「ある程度少し知っている」が 33.7%と最も多く、次いで「聞いたことはある」が 31.9%となっています。



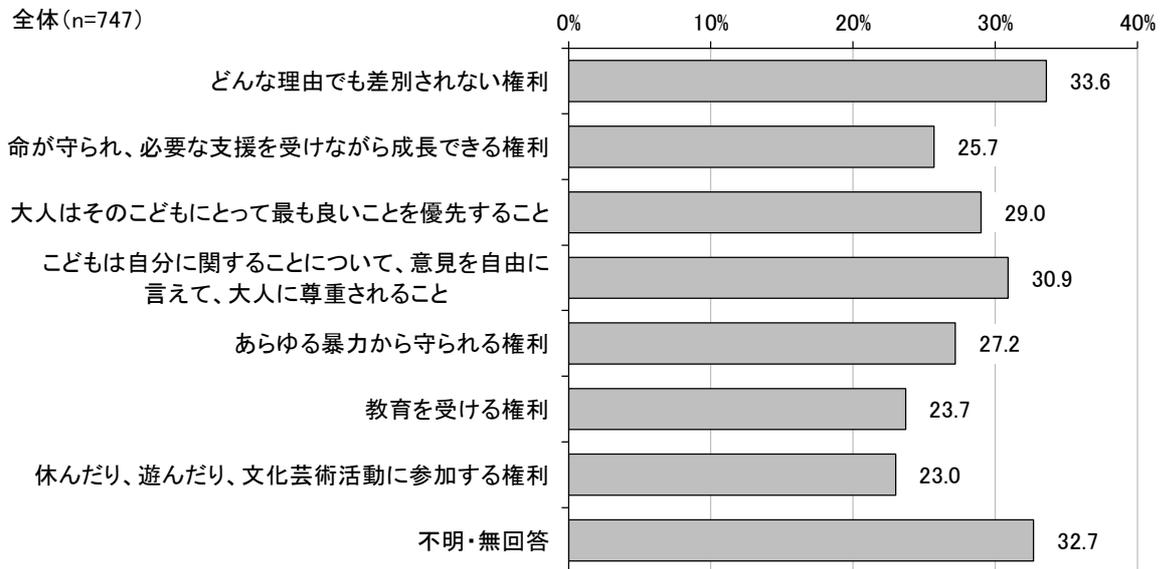
問 34 あなたは、「こどもの権利」について考えることはありますか。(1つに○)

「こどもの権利」について考えることはあるかについてみると、「たまに考える機会がある」が 38.0%と最も多く、次いで「あまり考える機会はない」が 31.2%となっています。



問 35 あなたは、あなたのまわりのこどもで、次にあげるようなこどもの権利が守られていないと感じるものはありますか。(あてはまる番号すべてに○)

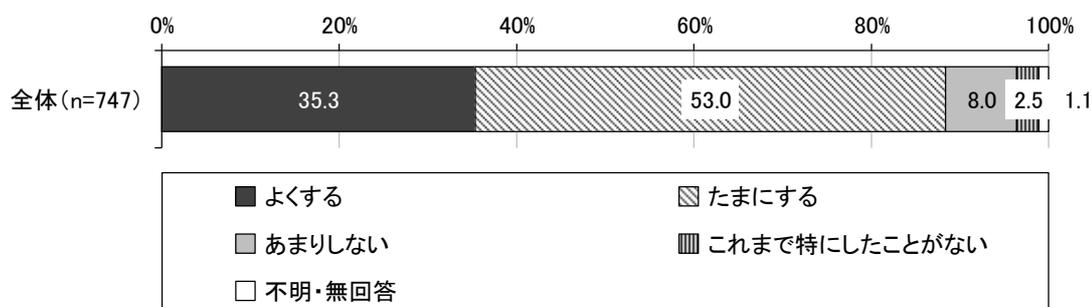
まわりのこどもで、こどもの権利が守られていないと感じるものについてみると、「どんな理由でも差別されない権利」が 33.6%と最も多く、次いで「こどもは自分に関することについて、意見を自由に言えて、大人に尊重されること」が 30.9%となっています。



## 5 お子さんの学校生活や教育について

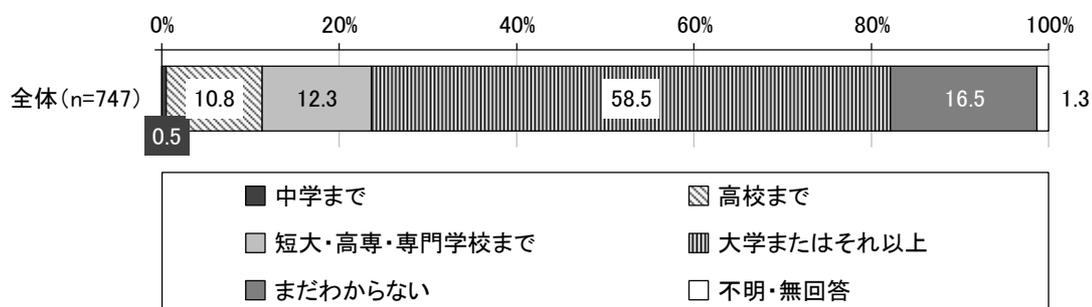
問 36 あなたは、お子さんの将来（夢・進路・職業等）について、お子さんと一緒に考えたり、話すことがありますか。（1つに○）

こどもの将来を、こどもと一緒に考えたり、話すことがあるかについてみると、「たまにする」が53.0%と最も多く、次いで「よくする」が35.3%となっています。



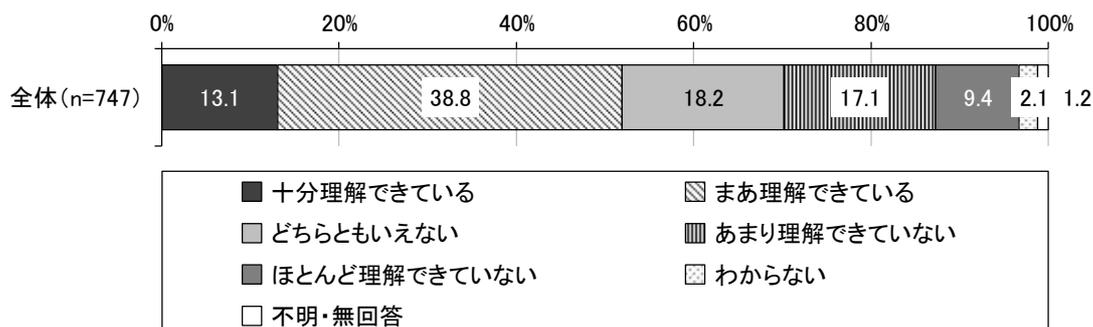
問 37 お子さんに、どの段階までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものに○をつけてください。（1つに○）

こどもにどの段階までの教育を受けさせたいと考えているかについてみると、「大学またはそれ以上」が58.5%と最も多く、次いで「まだわからない」が16.5%となっています。



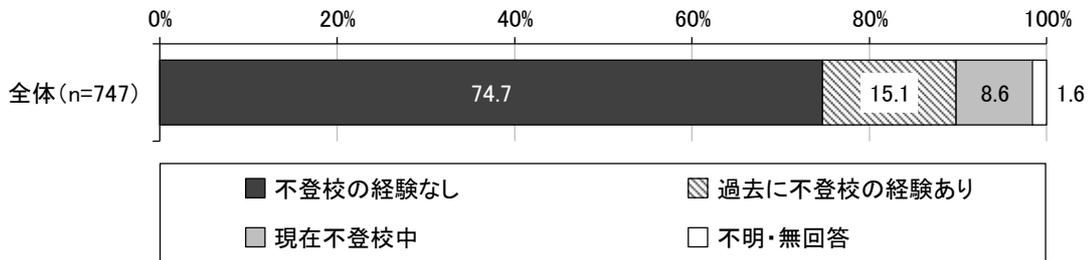
問 38 あなたからみて、お子さんの学校での学習の状況をどのように思われていますか。（1つに○）

こどもの学校での学習の状況をどのように思っているかについてみると、「まあ理解できている」が38.8%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が18.2%となっています。



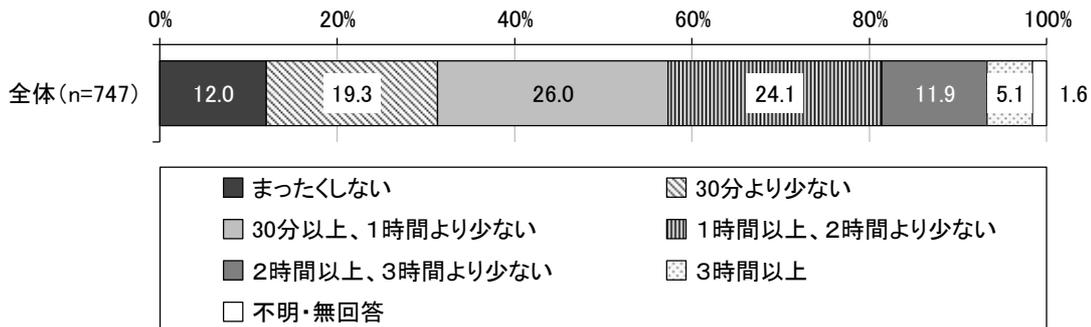
問 39 お子さんには、不登校の経験はありますか。(1つに○)

こどもに不登校の経験はあるかについてみると、「不登校の経験なし」が 74.7%と最も多く、次いで「過去に不登校の経験あり」が 15.1%となっています。



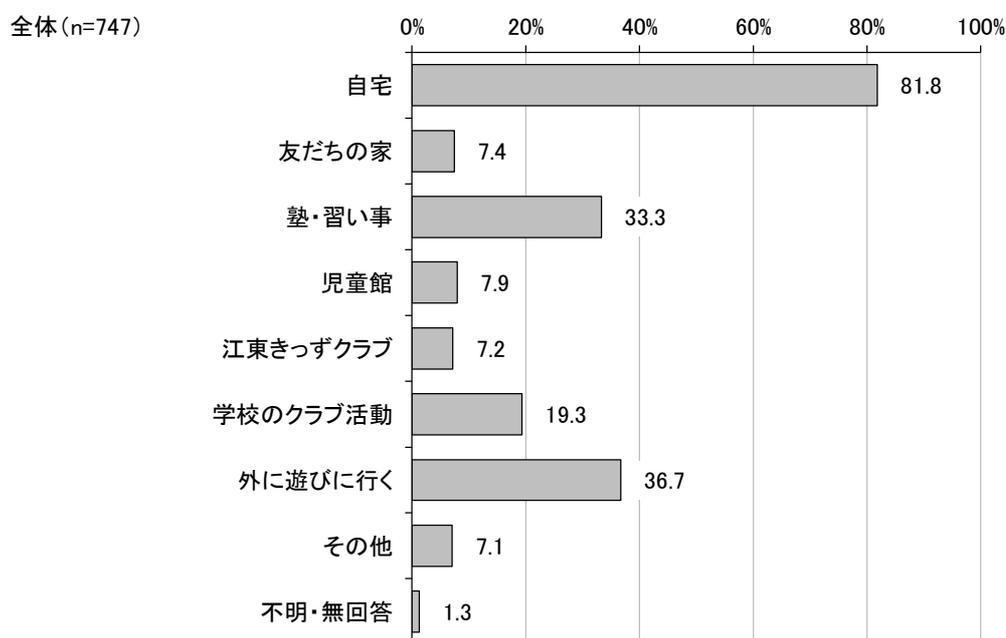
問 40 おさんは学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりどのくらいの時間、勉強をしますか。塾などの時間も含まれます。(1つに○)

学校の授業時間以外の1日あたりの勉強時間についてみると、「30分以上、1時間より少ない」が 26.0%と最も多く、次いで「1時間以上、2時間より少ない」が 24.1%となっています。



問 41 お子さんは放課後にどこで過ごすことが多いですか。(特に多いもの3つまでに○)

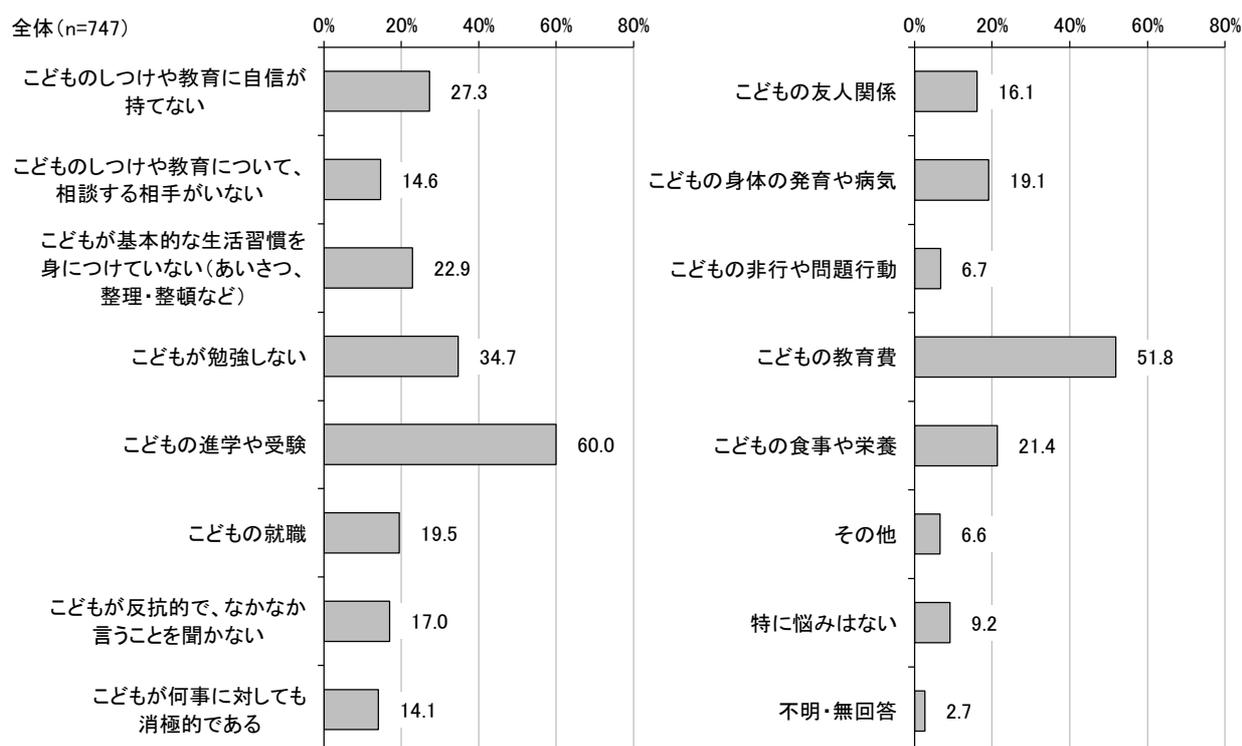
放課後に過ごすことが多い場所についてみると、「自宅」が 81.8%と最も多く、次いで「外に遊びに行く」が 36.7%となっています。



問 42 お子さんのことで、現在悩んでいることはありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

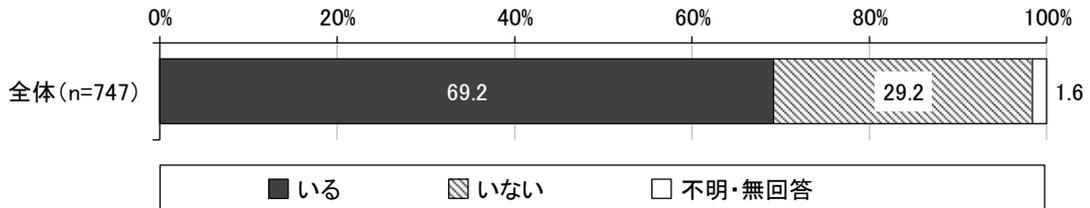
子どものことで現在悩んでいることについてみると、「子どもの進学や受験」が 60.0%と最も多く、次いで「子どもの教育費」が 51.8%となっています。



## 6 生活全般や公的サポート等について

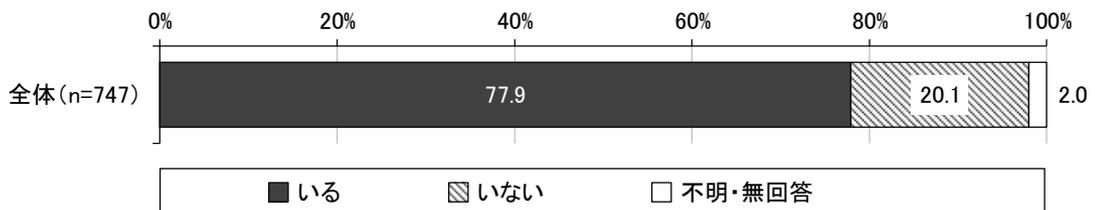
問 43 お子さんが病気の時や、ご自身の用事の時などに頼れる親族や友人などが身近にいますか。(1つに○)

こどもが病気の時や、自身の用事の時などに頼れる親族や友人などが身近にいるかについてみると、「いる」が69.2%、「いない」が29.2%となっています。



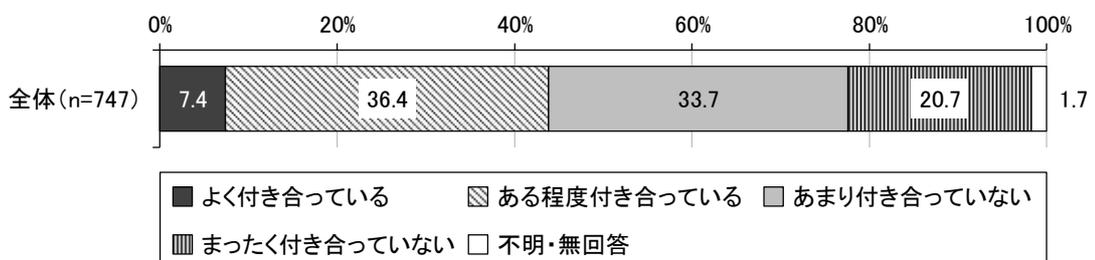
問 44 あなたは、本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人(家族、友人、親戚、同僚など)がいますか。(1つに○)

本当に困ったときや悩みがあるとき、相談できる人がいるかについてみると、「いる」が77.9%、「いない」が20.1%となっています。



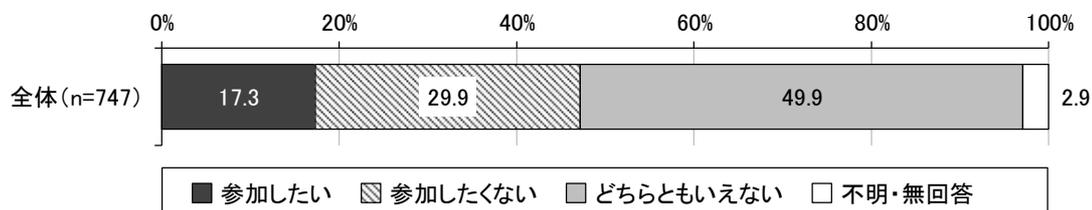
問 45 あなたのご家庭では、地域での付き合いをどの程度していますか。(1つに○)

地域での付き合いの程度についてみると、「ある程度付き合っている」が36.4%と最も多く、次いで「あまり付き合っていない」が33.7%となっています。



問 46 あなたは、ほかのひとり親家庭と交流をもつ機会があれば、参加したいと思えますか。(1つに○)

ほかのひとり親家庭と交流をもつ機会があれば、参加したいと思うかについてみると、「どちらともいえない」が49.9%と最も多く、次いで「参加したくない」が29.9%となっています。

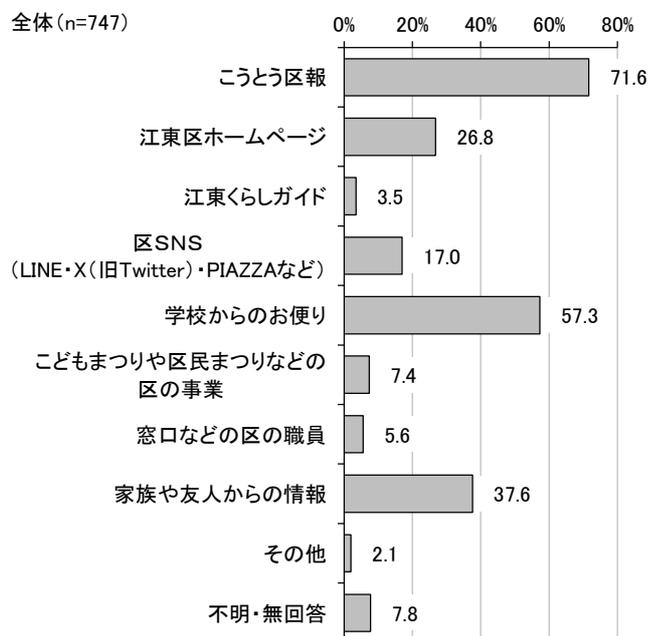


問 47 あなたは、こどもに関する施策等の情報をどういう方法で受け取っていますか。また、今後受け取りたいですか。(それぞれあてはまる番号すべてに○)

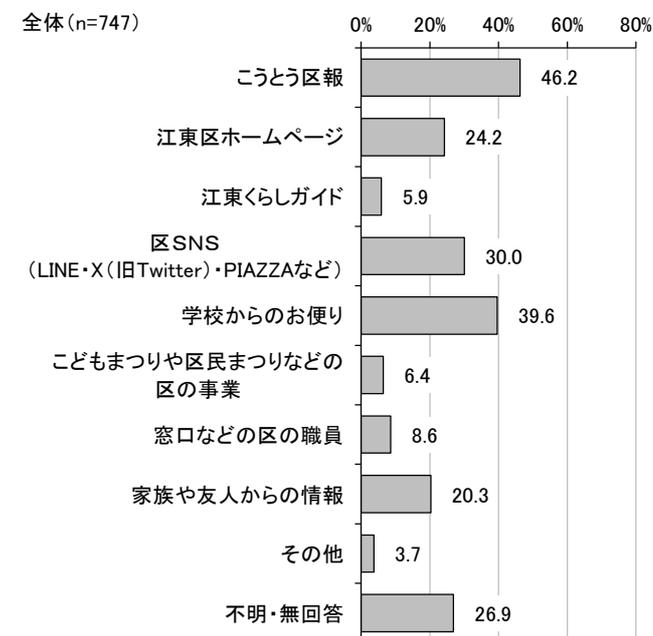
こどもに関する施策等の情報の現在の受け取り方法についてみると、「こうとう区報」が71.6%と最も多く、次いで「学校からのお便り」が57.3%となっています。

今後、受け取りたい方法では、「こうとう区報」が46.2%と最も多く、次いで「学校からのお便り」が39.6%となっています。

A 現在の受け取り方法

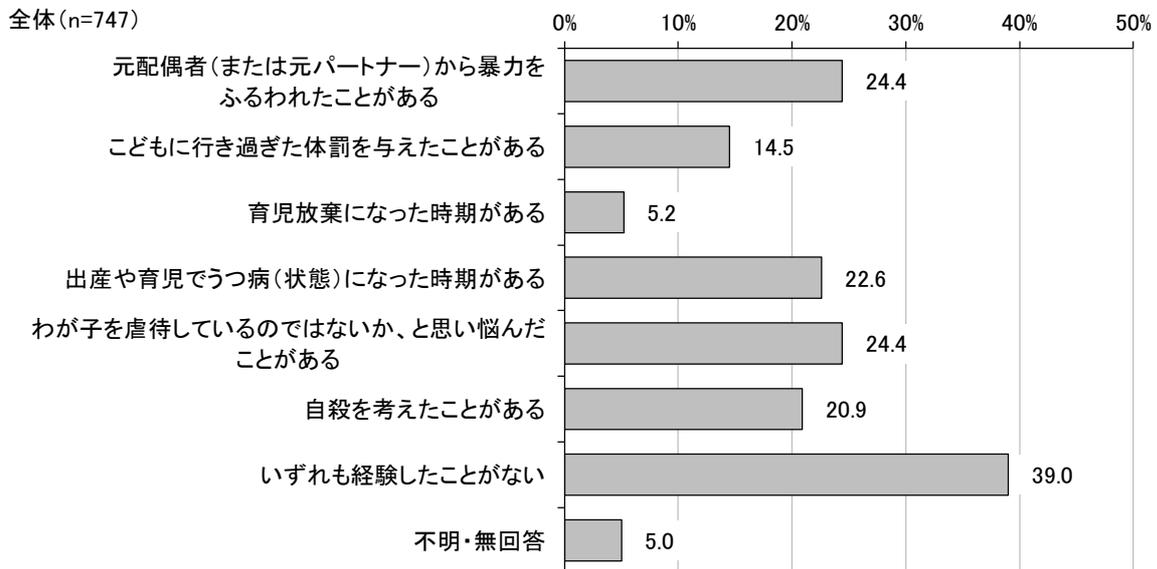


B 今後、受け取りたい方法



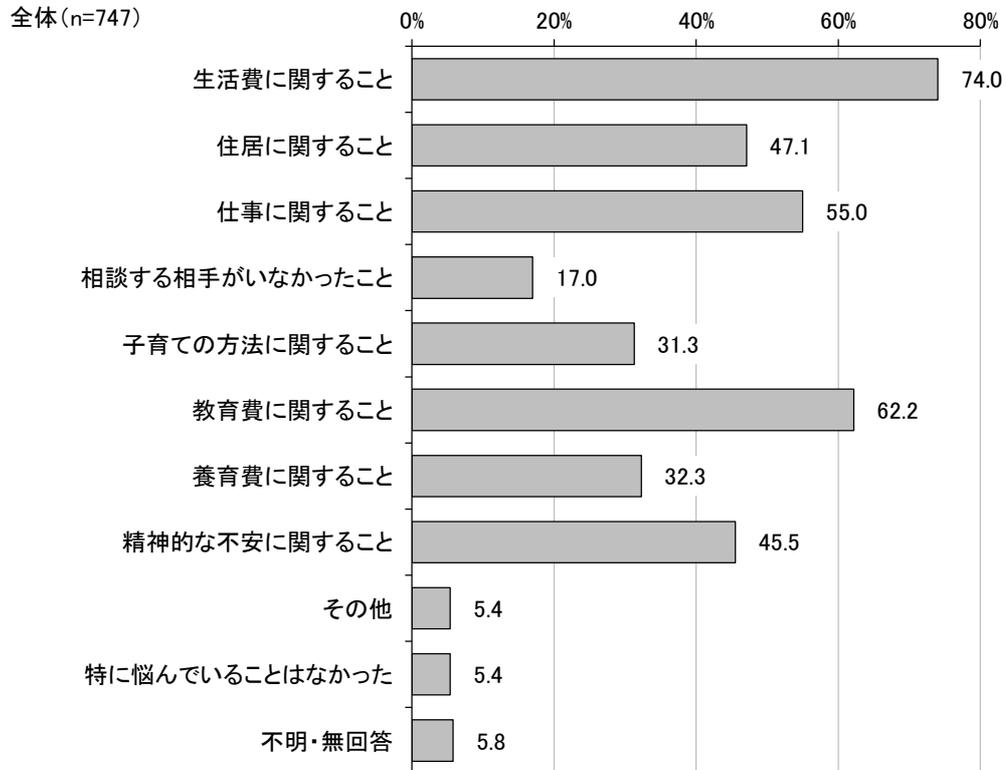
問 48 あなたは子どもをもってから、以下のような経験をしたことがありますか。  
 (あてはまる番号すべてに○)

子どもをもってからしたことがある経験についてみると、「いずれも経験したことがない」が39.0%と最も多く、次いで「元配偶者(または元パートナー)から暴力をふるわれたことがある」「わが子を虐待しているのではないか、と思い悩んだことがある」が24.4%となっています。



問 49 ひとり親になったとき、あなたはどのようなことに悩んで、もしくは困っていましたか。(あてはまる番号すべてに○)

ひとり親になったとき、悩んでいたことや困っていたことについてみると、「生活費に関すること」が74.0%と最も多く、次いで「教育費に関すること」が62.2%となっています。

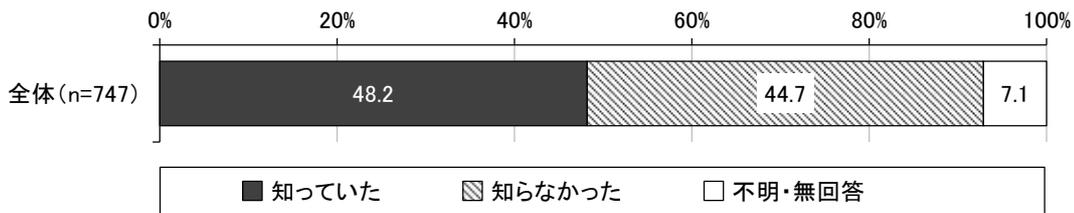


問 50 あなたのご家庭では、以下のA～Kの支援制度等は、これまでにご存知でしたか。また、利用したことがありますか。利用したことがある場合は満足度（5点が最高で1点が最低）を、利用したことがない場合は、その理由を次の選択肢番号欄から選んで各事業の記入欄に数字（複数可）をお書きください。

A 自立支援教育訓練給付金

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

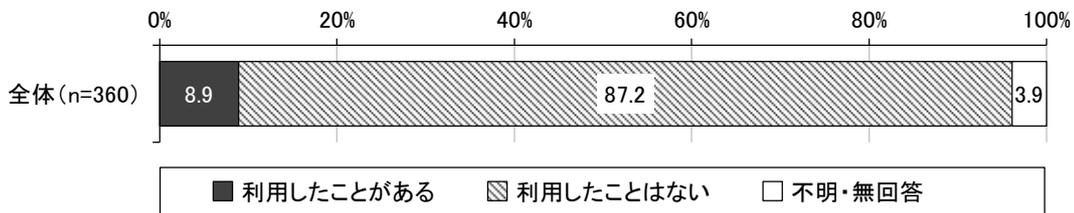
自立支援教育訓練給付金の認知状況についてみると、「知っていた」が48.2%、「知らなかった」が44.7%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

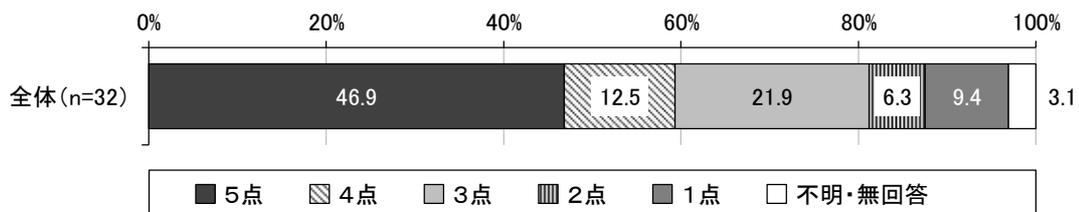
自立支援教育訓練給付金の利用経験についてみると「利用したことがある」が8.9%、「利用したことはない」が87.2%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

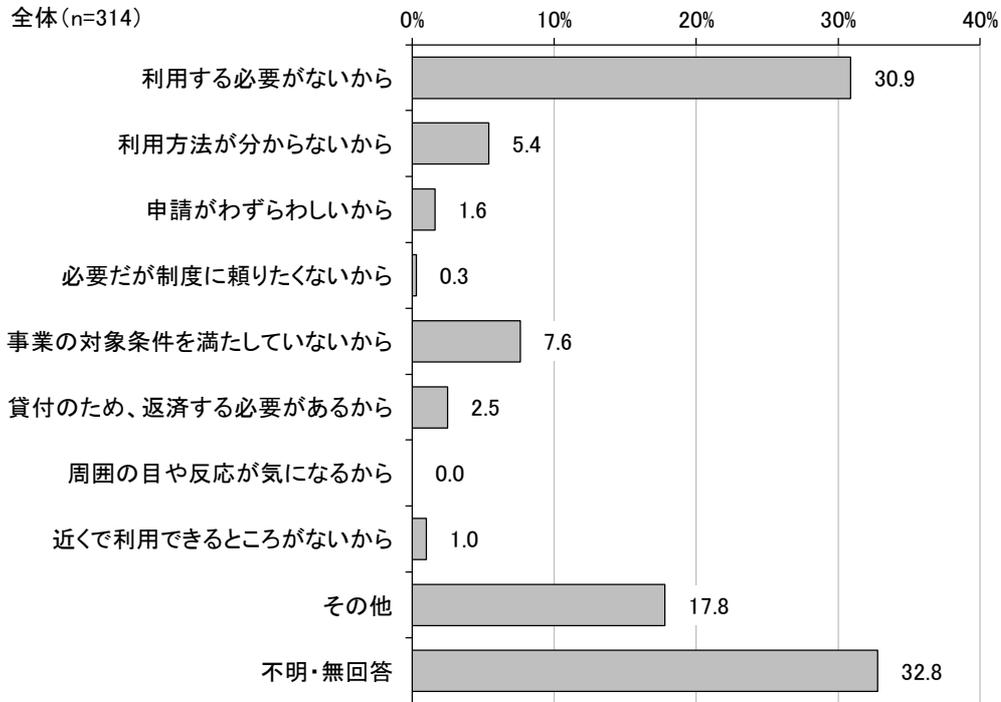
満足度 (1つに○)

自立支援教育訓練給付金の満足度についてみると、「5点」が46.9%と最も多く、次いで「3点」が21.9%となっています。



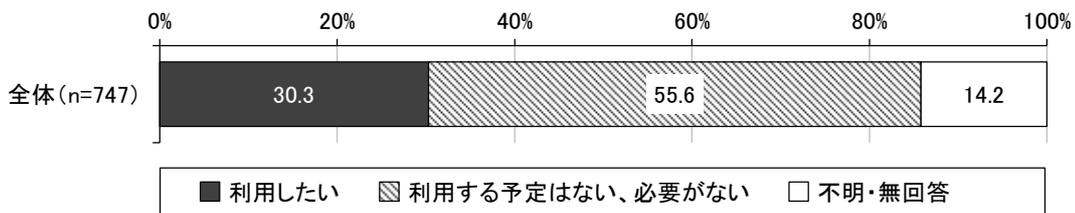
(2) で「利用したことはない」を選んだ方  
 利用しない理由（あてはまる番号すべてに○）

自立支援教育訓練給付金を利用しない理由についてみると、「利用する必要がないから」が 30.9%と最も多く、次いで「事業の対象条件を満たしていないから」が 7.6%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

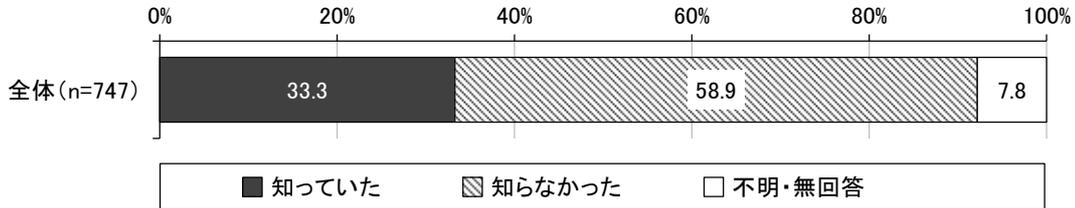
自立支援教育訓練給付金の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 30.3%、「利用する予定はない、必要がない」が 55.6%となっています。



B 高等職業訓練促進給付金

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

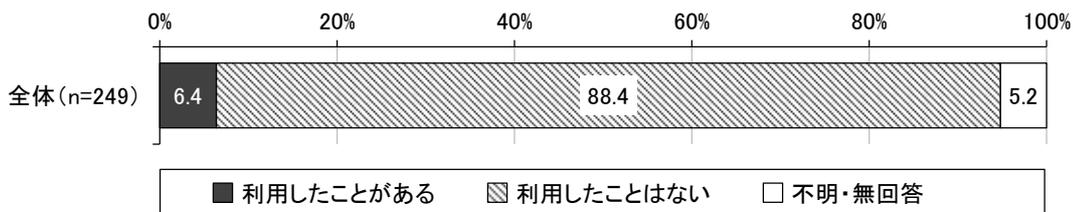
高等職業訓練促進給付金の認知状況についてみると、「知っていた」が 33.3%、「知らなかった」が 58.9%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

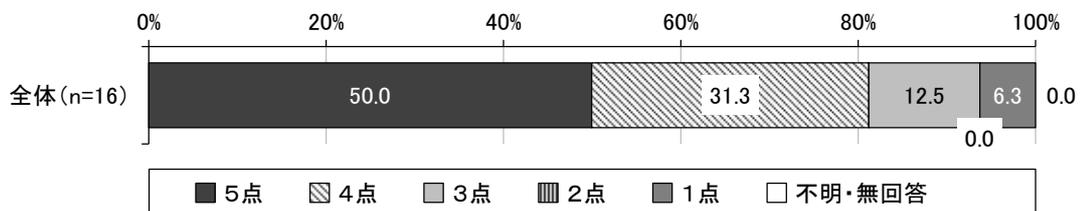
高等職業訓練促進給付金の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 6.4%、「利用したことはない」が 88.4%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

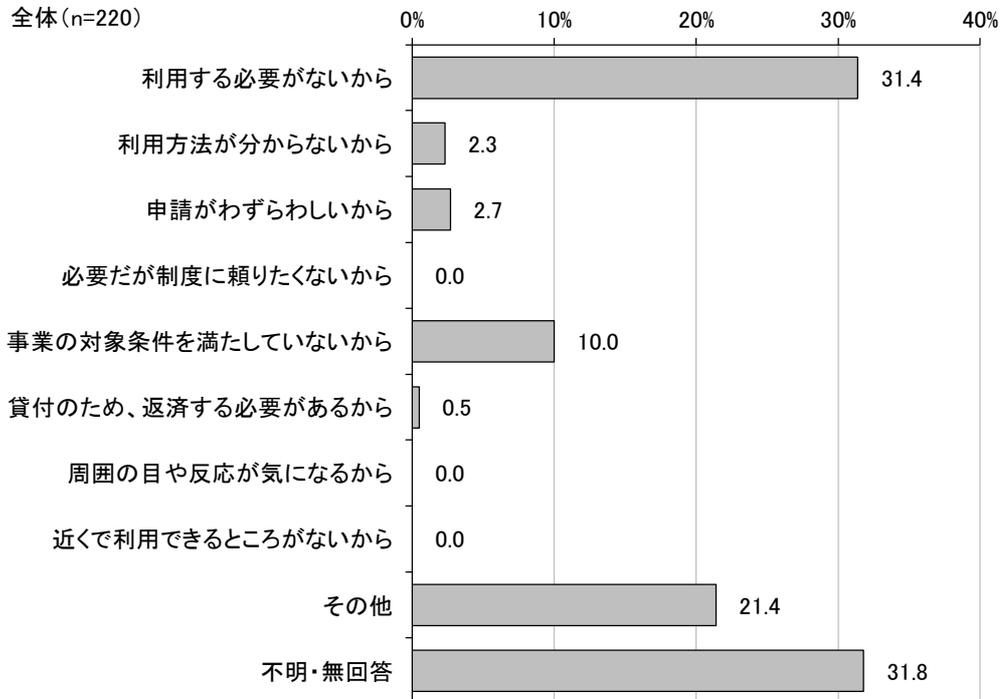
満足度 (1つに○)

高等職業訓練促進給付金の満足度についてみると、「5点」が 50.0%と最も多く、次いで「4点」が 31.3%となっています。



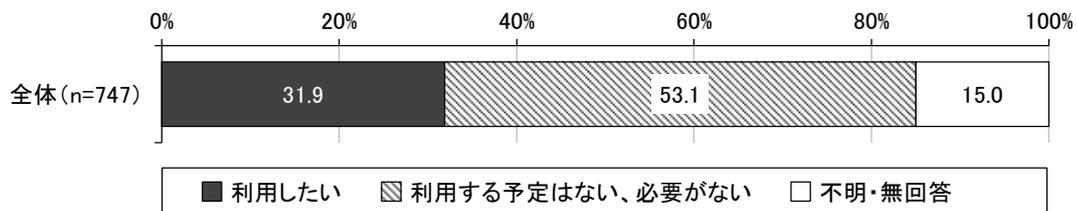
(2) で「利用したことはない」を選んだ方  
 利用しない理由（あてはまる番号すべてに○）

高等職業訓練促進給付金を利用しない理由についてみると、「利用する必要がないから」が 31.4%と最も多く、次いで「事業の対象条件を満たしていないから」が 10.0%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

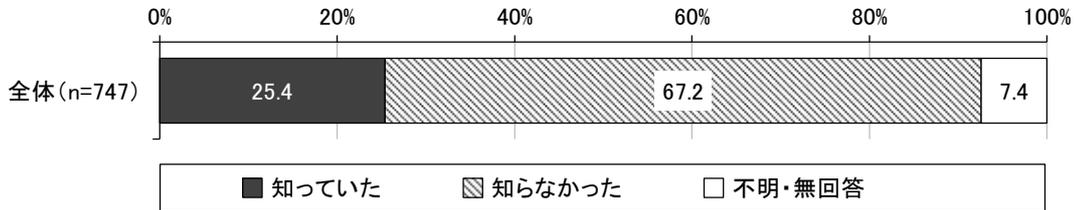
高等職業訓練促進給付金の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 31.9%、「利用する予定はない、必要がない」が 53.1%となっています。



C 母子・父子自立支援プログラム

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

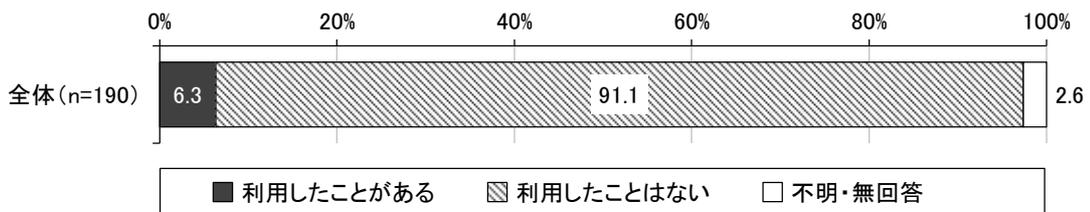
母子・父子自立支援プログラムの認知状況についてみると、「知っていた」が 25.4%、「知らなかった」が 67.2%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

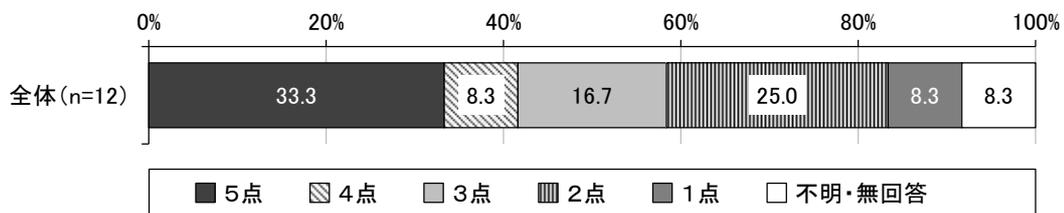
母子・父子自立支援プログラムの利用経験についてみると、「利用したことがある」が 6.3%、「利用したことはない」が 91.1%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

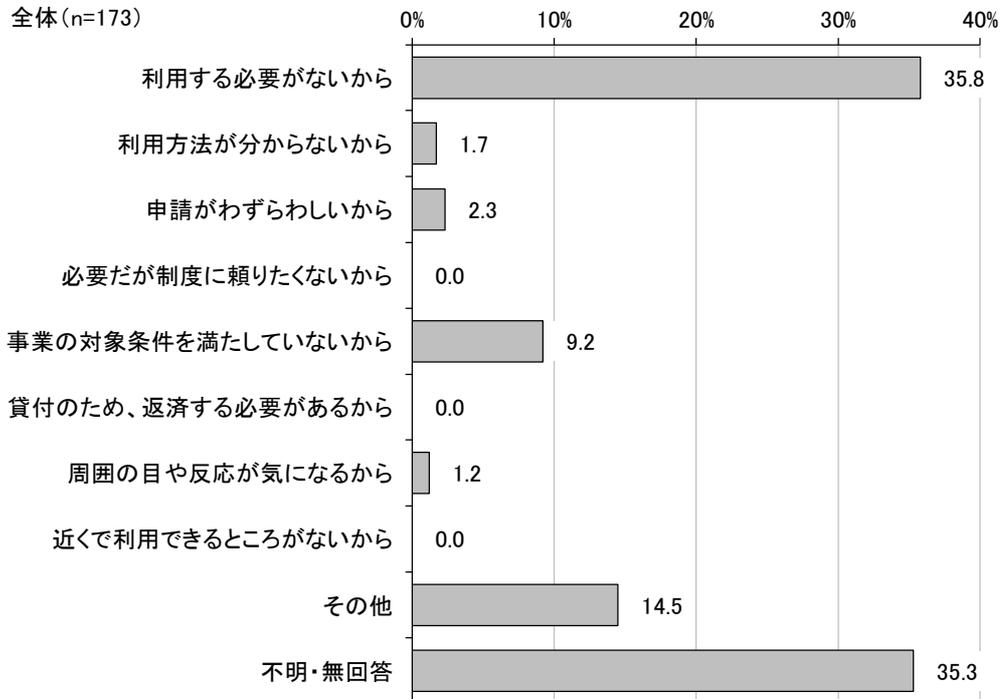
満足度 (1つに○)

母子・父子自立支援プログラムの満足度についてみると、「5点」が 33.3%と最も多く、次いで「2点」が 25.0%となっています。



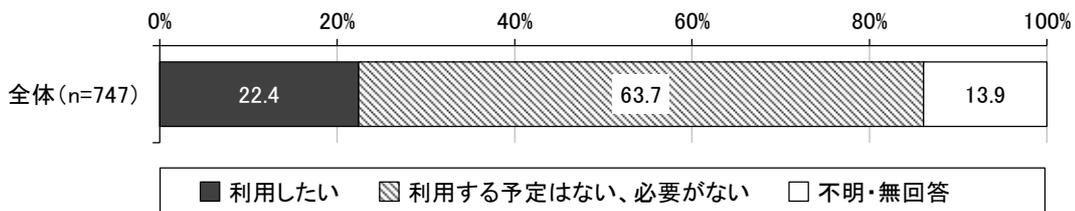
(2) で「利用したことはない」を選んだ方  
 利用しない理由（あてはまる番号すべてに○）

母子・父子自立支援プログラムを利用しない理由についてみると、「利用する必要がないから」が35.8%と最も多く、次いで「事業の対象条件を満たしていないから」が9.2%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

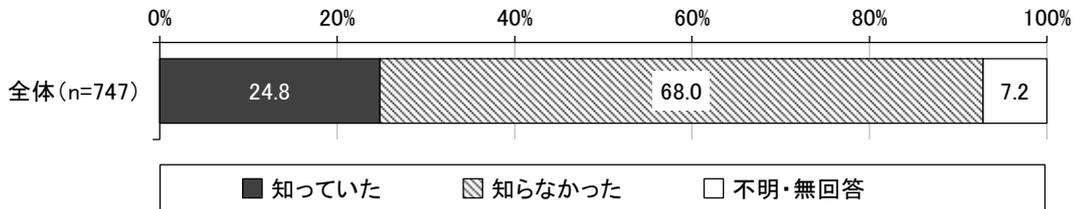
母子・父子自立支援プログラムの今後の利用意向についてみると、「利用したい」が22.4%、「利用する予定はない、必要がない」が63.7%となっています。



D 母子および父子相談（母子・父子自立支援員）

(1) この事業を知っていましたか。（1つに○）

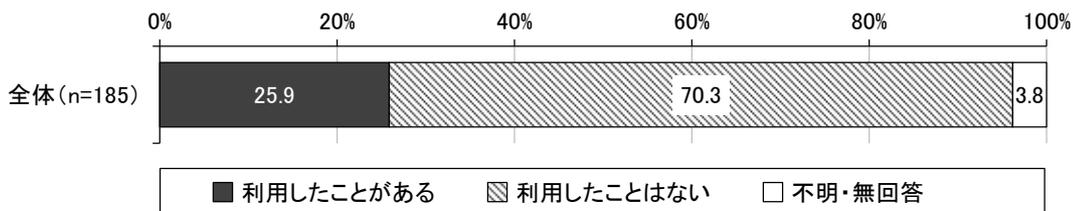
母子および父子相談(母子・父子自立支援員)の認知状況についてみると、「知っていた」が 24.8%、「知らなかった」が 68.0%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。（1つに○）

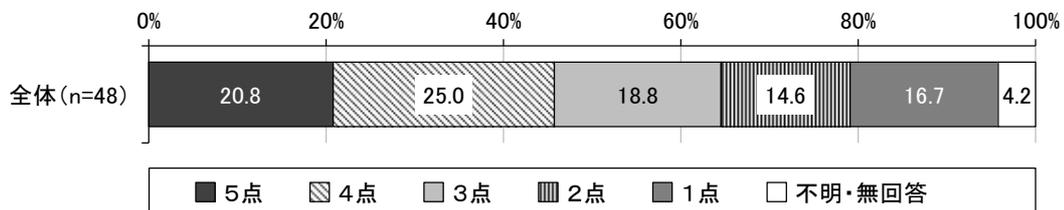
母子および父子相談(母子・父子自立支援員)の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 25.9%、「利用したことはない」が 70.3%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

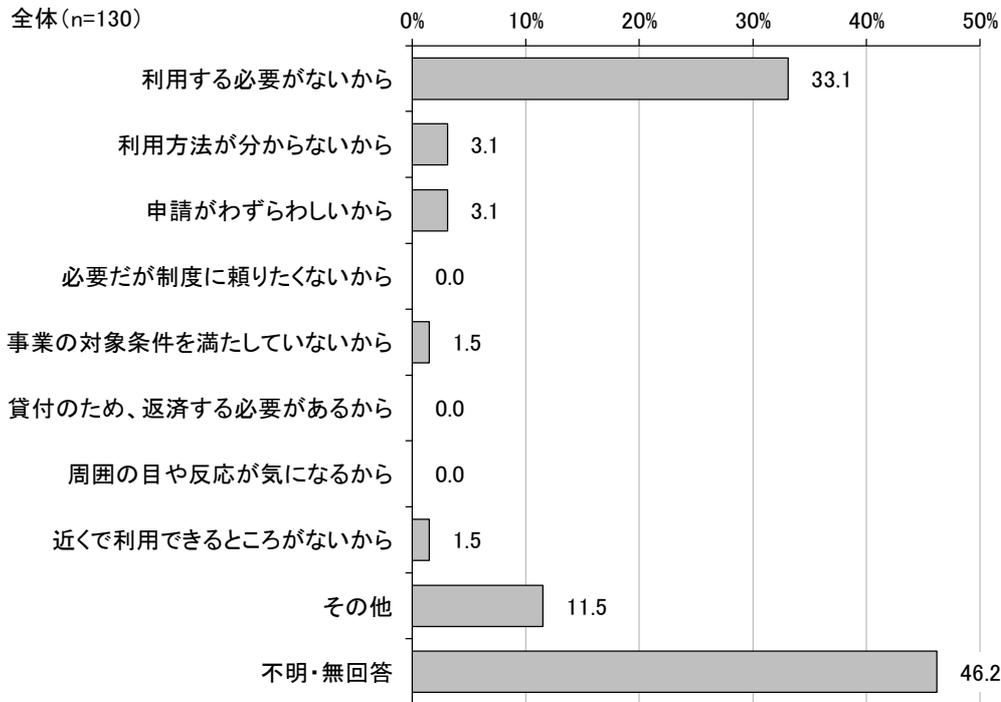
満足度（1つに○）

母子および父子相談(母子・父子自立支援員)の満足度についてみると、「4点」が 25.0%と最も多く、次いで「5点」が 20.8%となっています。



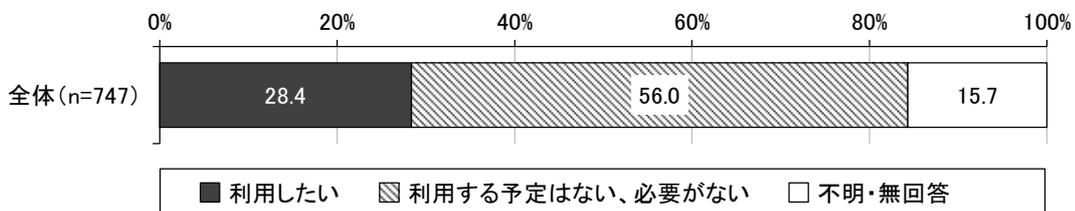
(2) で「利用したことはない」を選んだ方  
 利用しない理由（あてはまる番号すべてに○）

母子および父子相談(母子・父子自立支援員)を利用しない理由についてみると、「利用する必要がないから」が 33.1%と最も多く、次いで「利用方法が分からないから」「申請がわずらわしいから」が 3.1%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。(1つに○)

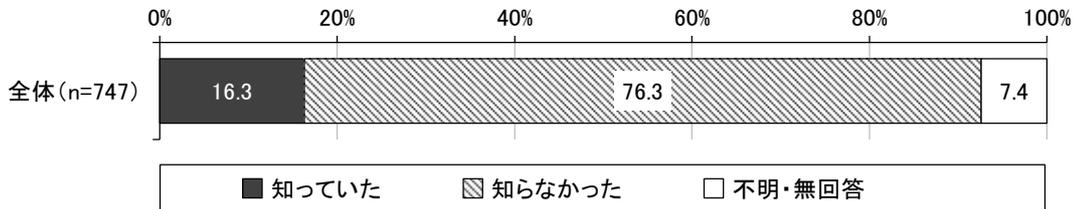
母子および父子相談(母子・父子自立支援員)の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 28.4%、「利用する予定はない、必要がない」が 56.0%となっています。



E 住居確保給付金事業

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

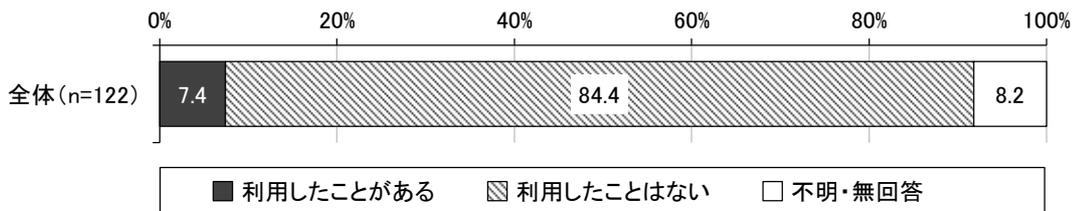
住居確保給付金事業の認知状況についてみると、「知っていた」が16.3%、「知らなかった」が76.3%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

住居確保給付金事業の利用経験についてみると、「利用したことがある」が7.4%、「利用したことはない」が84.4%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

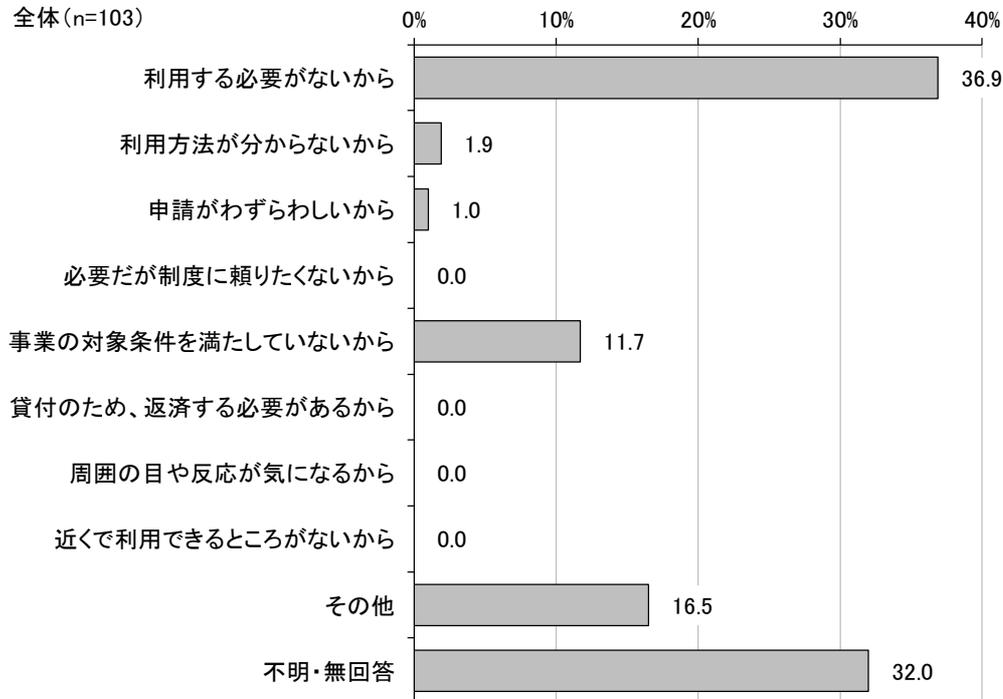
満足度 (1つに○)

満足度については、回答数が少なかったため、結果のみ示します。

全体 (n=9)	件数	%
5点	4	44.4
4点	2	22.2
3点	1	11.1
2点	0	0.0
1点	1	11.1
不明・無回答	1	11.1

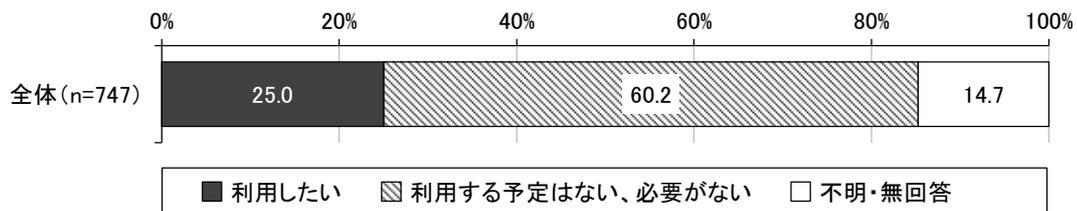
(2) で「利用したことはない」を選んだ方  
 利用しない理由（あてはまる番号すべてに○）

住居確保給付金事業を利用しない理由についてみると、「利用する必要がないから」が36.9%と最も多く、次いで「事業の対象条件を満たしていないから」が11.7%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

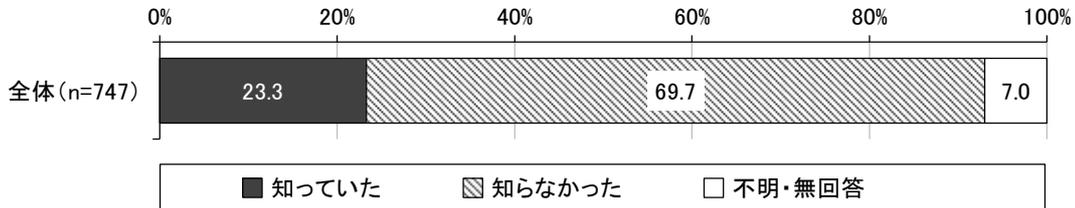
住居確保給付金事業の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が25.0%、「利用する予定はない、必要がない」が60.2%となっています。



F 母子及び父子福祉資金

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

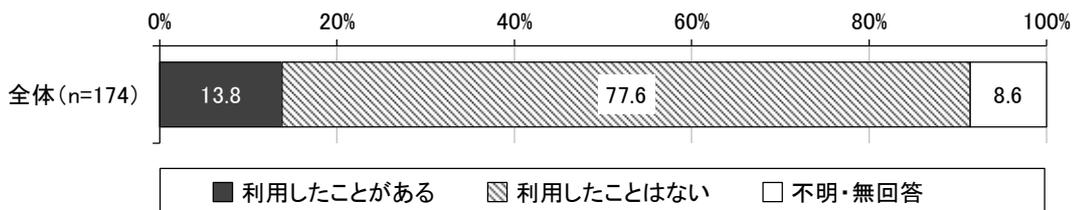
母子及び父子福祉資金の認知状況についてみると、「知っていた」が 23.3%、「知らなかった」が 69.7%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

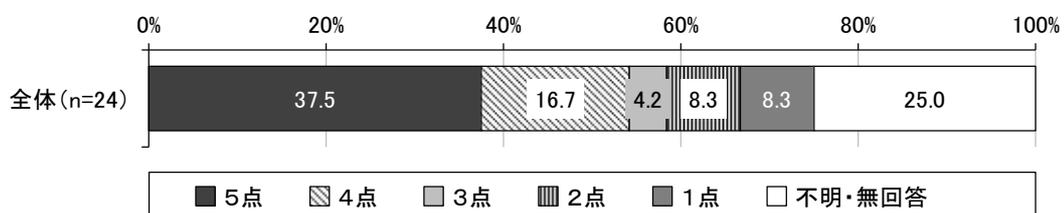
母子及び父子福祉資金の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 13.8%、「利用したことはない」が 77.6%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

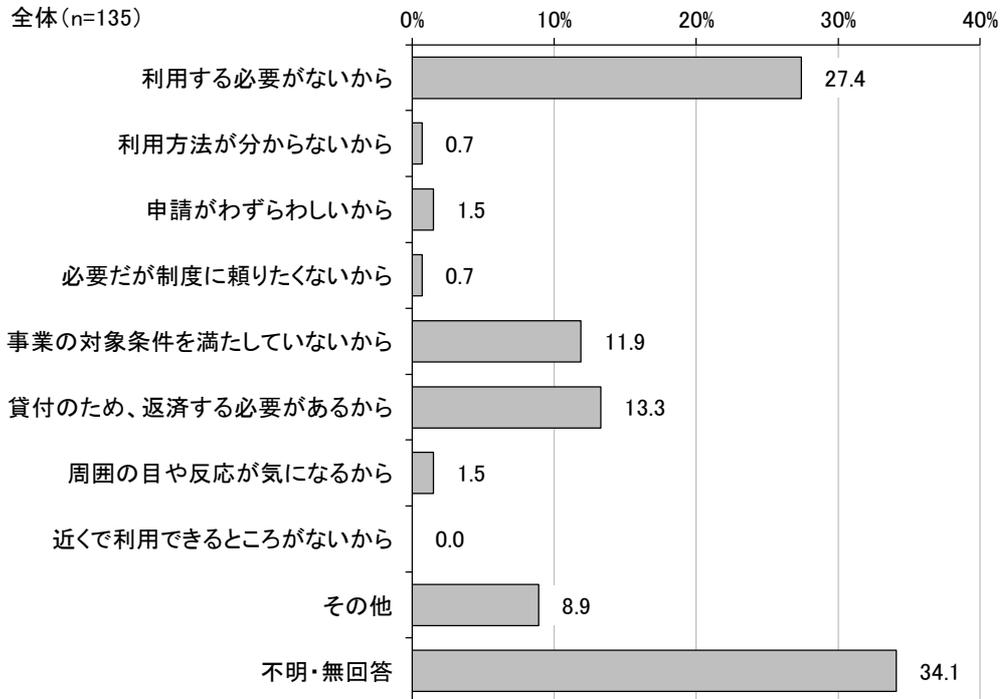
満足度 (1つに○)

母子及び父子福祉資金の満足度についてみると、「5点」が 37.5%と最も多く、次いで「4点」が 16.7%となっています。



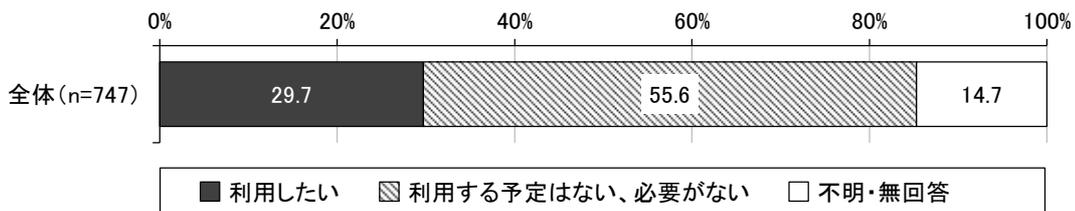
(2) で「利用したことはない」を選んだ方  
 利用しない理由（あてはまる番号すべてに○）

母子及び父子福祉資金を利用しない理由についてみると、「利用する必要がないから」が 27.4%と最も多く、次いで「貸付のため、返済する必要があるから」が 13.3%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

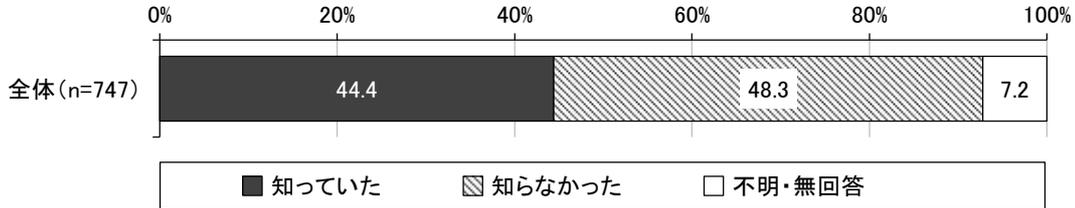
母子及び父子福祉資金の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 29.7%、「利用する予定はない、必要がない」が 55.6%となっています。



G 江東区まなびサポート事業（まなび塾）

(1) この事業を知っていましたか。（1つに○）

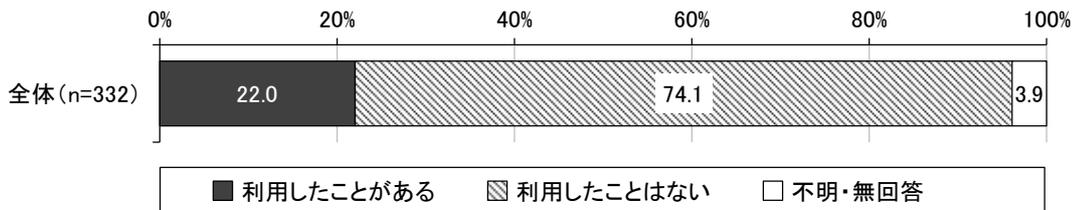
江東区まなびサポート事業(まなび塾)の認知状況についてみると、「知っていた」が44.4%、「知らなかった」が48.3%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。（1つに○）

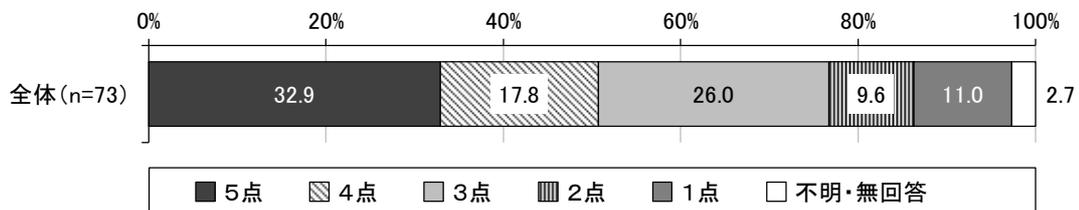
江東区まなびサポート事業(まなび塾)の利用経験についてみると、「利用したことがある」が22.0%、「利用したことはない」が74.1%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

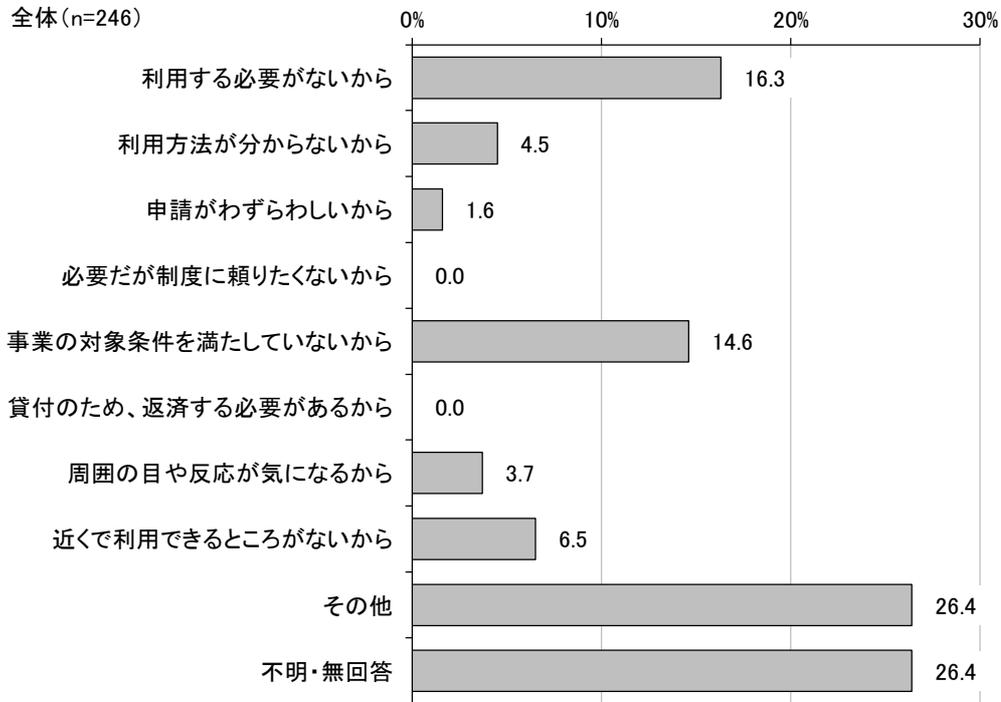
満足度（1つに○）

江東区まなびサポート事業(まなび塾)の満足度についてみると、「5点」が32.9%と最も多く、次いで「3点」が26.0%となっています。



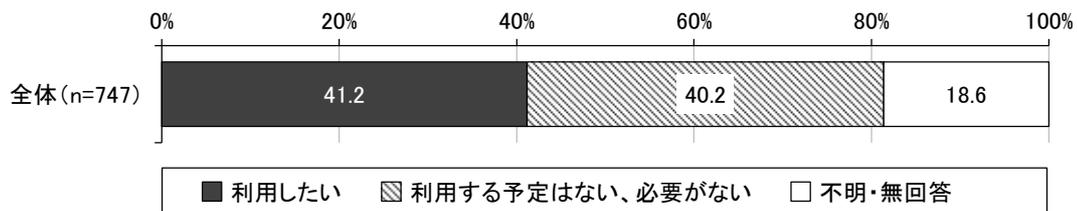
(2) で「利用したことはない」を選んだ方  
 利用しない理由（あてはまる番号すべてに○）

江東区まなびサポート事業(まなび塾)を利用しない理由についてみると、「利用する必要がないから」が 16.3%と最も多く、次いで「事業の対象条件を満たしていないから」が 14.6%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。(1つに○)

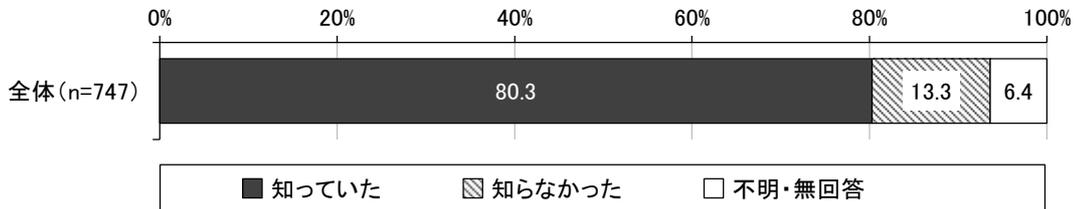
江東区まなびサポート事業(まなび塾)の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 41.2%、「利用する予定はない、必要がない」が 40.2%となっています。



H こども食堂

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

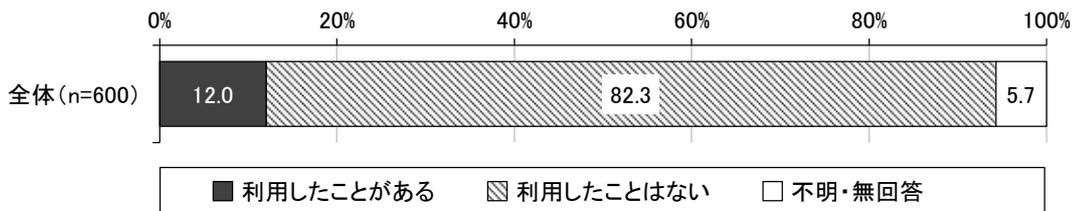
こども食堂の認知状況についてみると、「知っていた」が80.3%、「知らなかった」が13.3%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

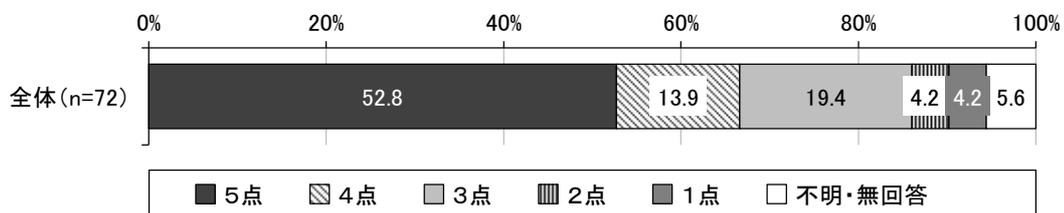
こども食堂の利用経験についてみると、「利用したことがある」が12.0%、「利用したことはない」が82.3%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

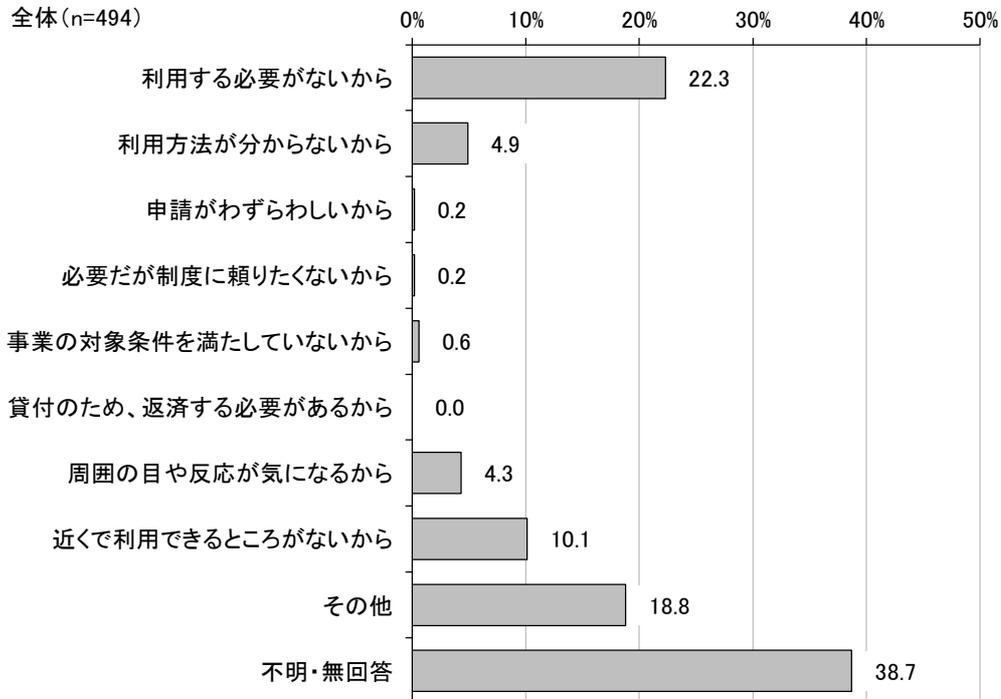
満足度 (1つに○)

こども食堂の満足度についてみると、「5点」が52.8%と最も多く、次いで「3点」が19.4%となっています。



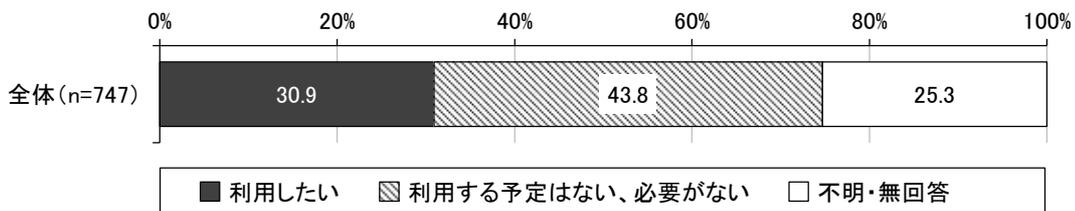
(2) で「利用したことはない」を選んだ方  
 利用しない理由（あてはまる番号すべてに○）

こども食堂を利用しない理由についてみると、「利用する必要がないから」が 22.3%と最も多く、次いで「近くで利用できる場所がないから」が 10.1%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

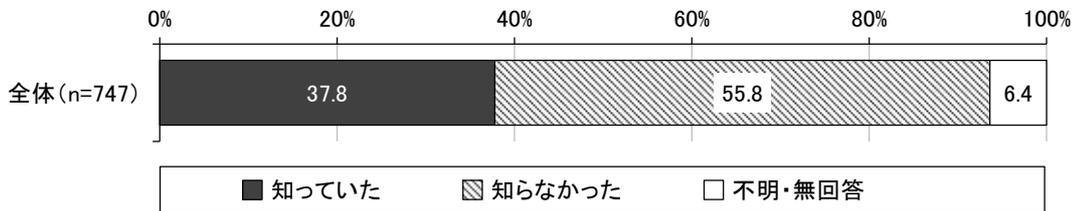
こども食堂の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 30.9%、「利用する予定はない、必要がない」が 43.8%となっています。



I 受験生チャレンジ支援貸付事業

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

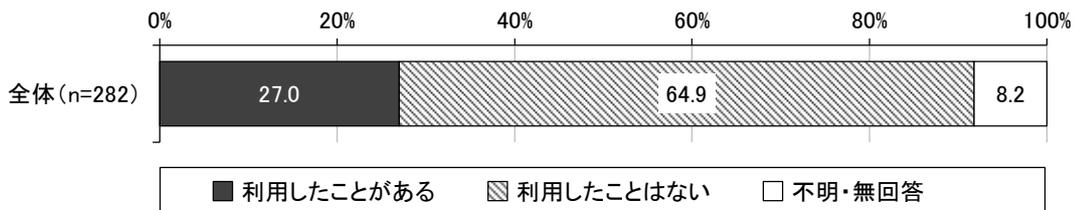
受験生チャレンジ支援貸付事業の認知状況についてみると、「知っていた」が 37.8%、「知らなかった」が 55.8%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

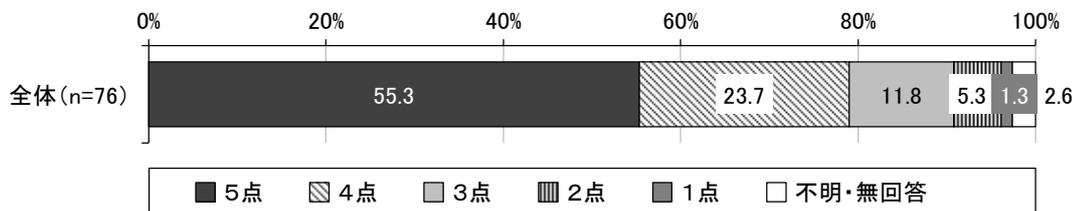
受験生チャレンジ支援貸付事業の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 27.0%、「利用したことはない」が 64.9%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

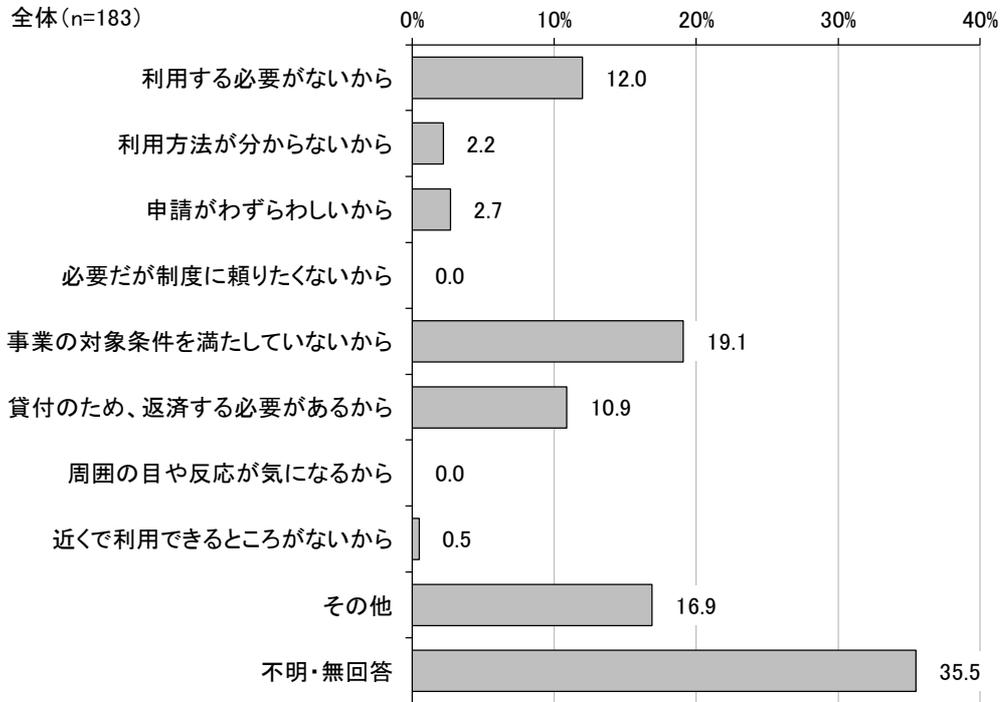
満足度 (1つに○)

受験生チャレンジ支援貸付事業の満足度についてみると、「5点」が 55.3%と最も多く、次いで「4点」が 23.7%となっています。



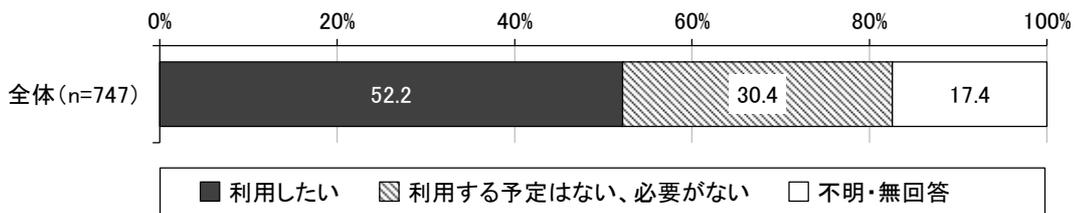
(2) で「利用したことはない」を選んだ方  
 利用しない理由（あてはまる番号すべてに○）

受験生チャレンジ支援貸付事業を利用しない理由についてみると、「事業の対象条件を満たしていないから」が 19.1%と最も多く、次いで「利用する必要がないから」が 12.0%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

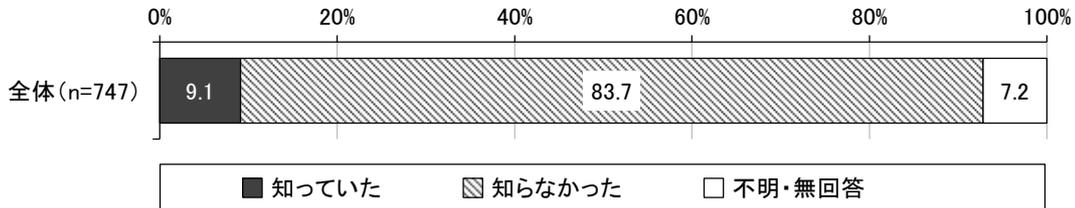
受験生チャレンジ支援貸付事業の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 52.2%、「利用する予定はない、必要がない」が 30.4%となっています。



J お部屋探しサポート事業

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

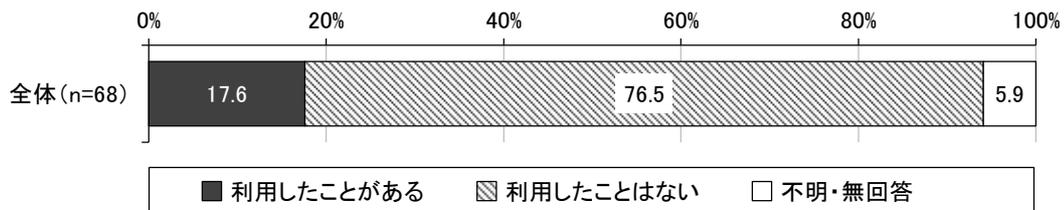
お部屋探しサポート事業の認知状況についてみると、「知っていた」が 9.1%、「知らなかった」が 83.7%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

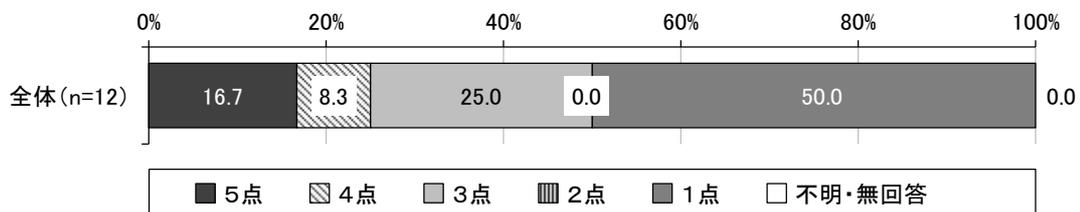
お部屋探しサポート事業の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 17.6%、「利用したことはない」が 76.5%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

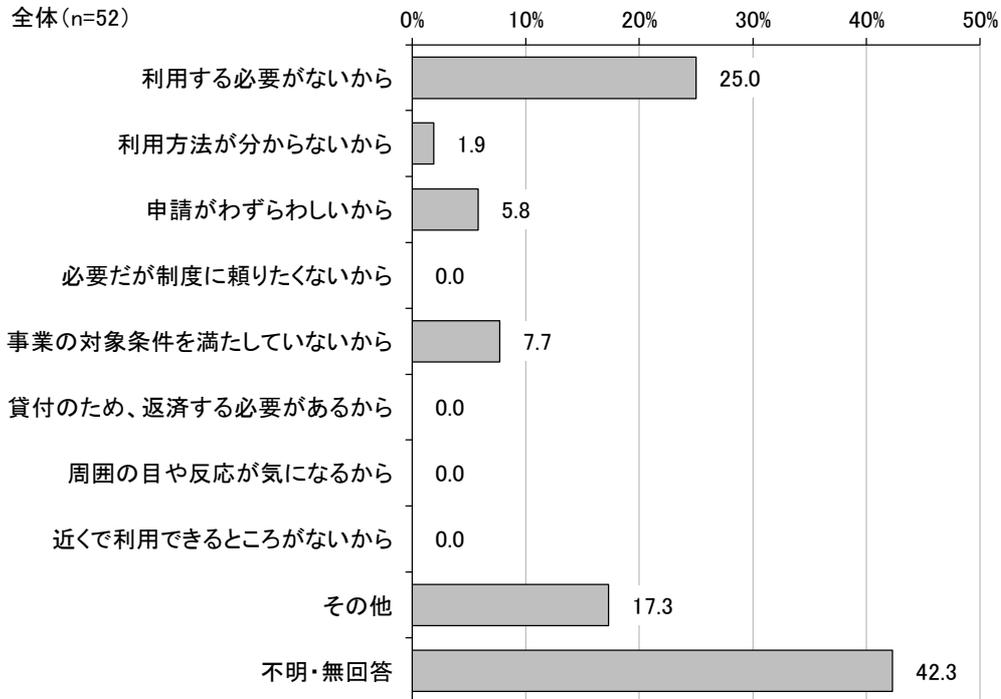
満足度 (1つに○)

お部屋探しサポート事業の満足度についてみると、「1点」が 50.0%と最も多く、次いで「3点」が 25.0%となっています。



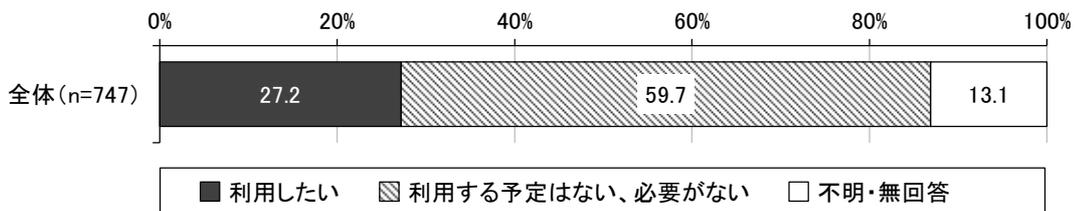
(2) で「利用したことはない」を選んだ方  
 利用しない理由（あてはまる番号すべてに○）

お部屋探しサポート事業を利用しない理由についてみると、「利用する必要がないから」が 25.0%と最も多く、次いで事業の対象条件を満たしていないから」が 7.7%となっています。



(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。（1つに○）

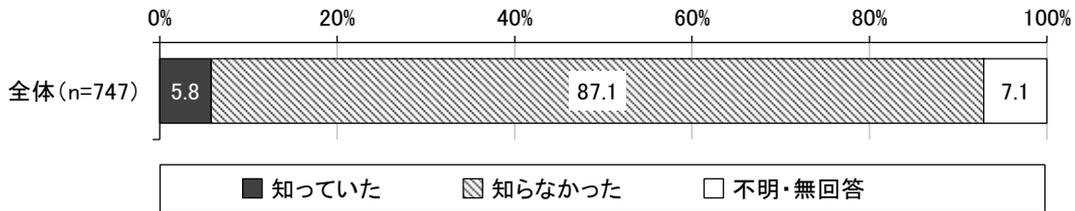
お部屋探しサポート事業の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が 27.2%、「利用する予定はない、必要がない」が 59.7%となっています。



K 養育費確保支援事業補助金

(1) この事業を知っていましたか。(1つに○)

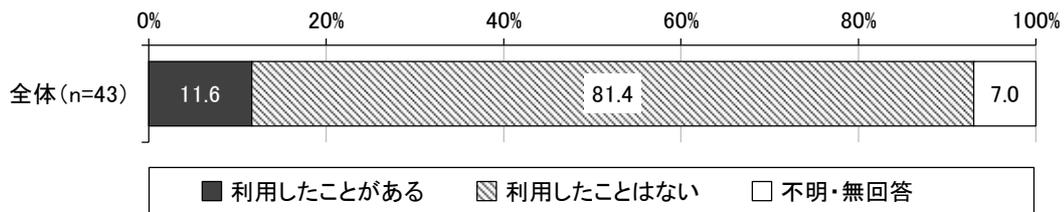
養育費確保支援事業補助金の認知状況についてみると、「知っていた」が 5.8%、「知らなかった」が 87.1%となっています。



(1) で「知っていた」を選んだ方

(2) この事業を利用したことがありますか。(1つに○)

養育費確保支援事業補助金の利用経験についてみると、「利用したことがある」が 11.6%、「利用したことはない」が 81.4%となっています。



(2) で「利用したことがある」を選んだ方

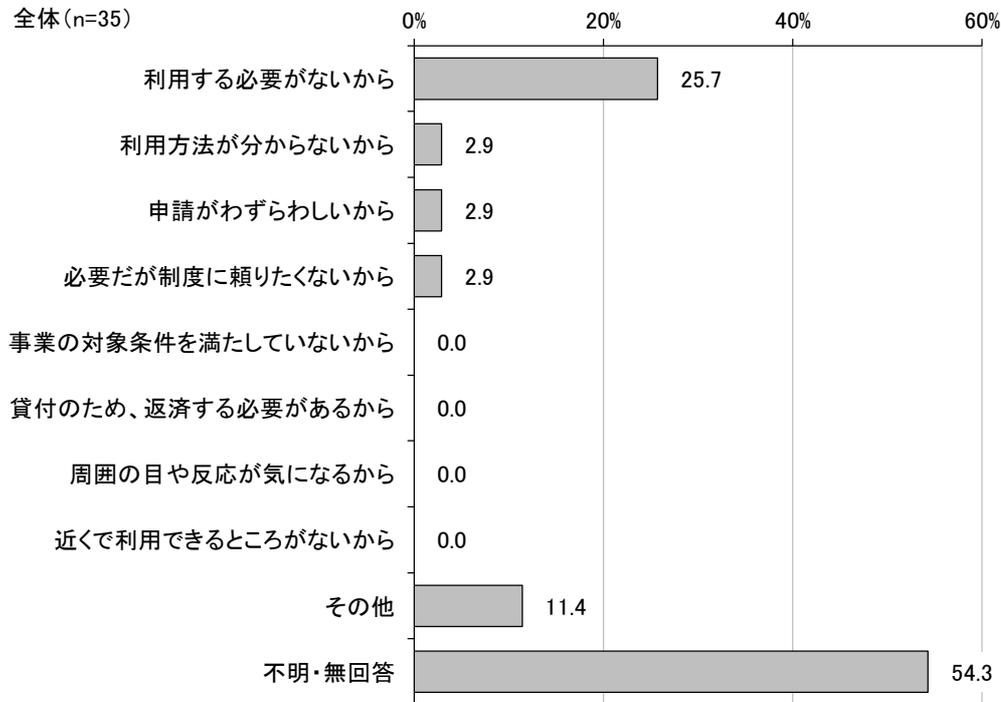
満足度 (1つに○)

満足度については、回答数が少なかったため、結果のみ示します。

満足度	件数	%
5点	2	40.0
4点	0	0.0
3点	1	20.0
2点	1	20.0
1点	1	20.0
不明・無回答	0	0.0

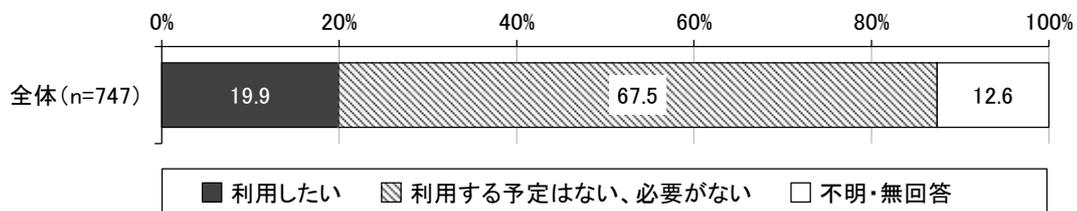
(2) で「利用したことはない」を選んだ方  
 利用しない理由（あてはまる番号すべてに○）

養育費確保支援事業補助金を利用しない理由についてみると、「利用する必要がないから」が25.7%と最も多く、次いで「利用方法が分からないから」「申請がわずらわしいから」「必要だが制度に頼りたくないから」が2.9%となっています。



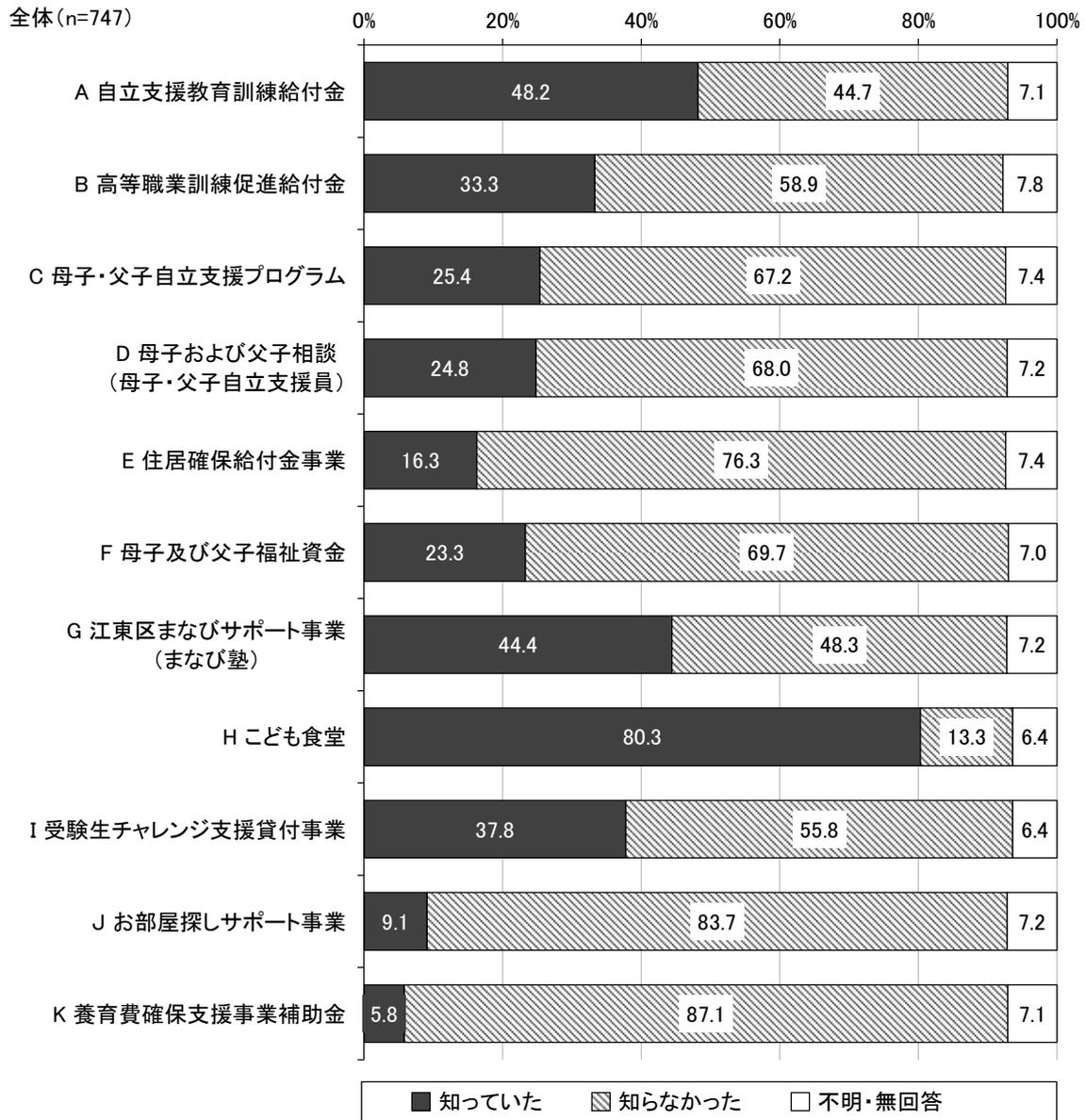
(3) 今後この事業を利用したいと思いますか。(1つに○)

養育費確保支援事業補助金の今後の利用意向についてみると、「利用したい」が19.9%、「利用する予定はない、必要がない」が67.5%となっています。



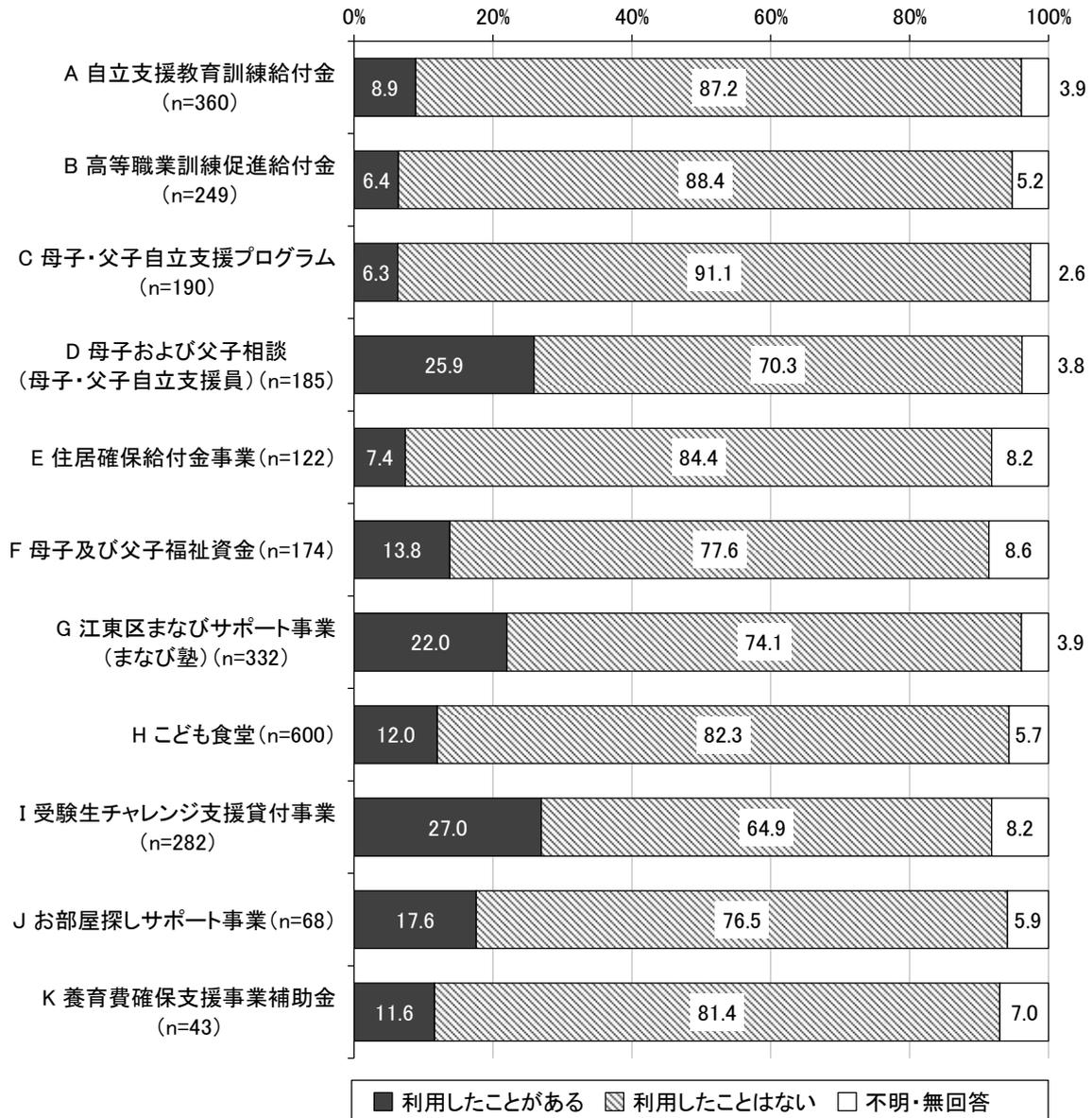
問 50 A～K (1) この事業を知っていましたか。【再掲】

各種事業の認知状況についてみると、「J お部屋探しサポート事業」や「K 養育費確保支援事業補助金」で「知らなかった」が8割以上となっており、他事業に比べて多くなっています。



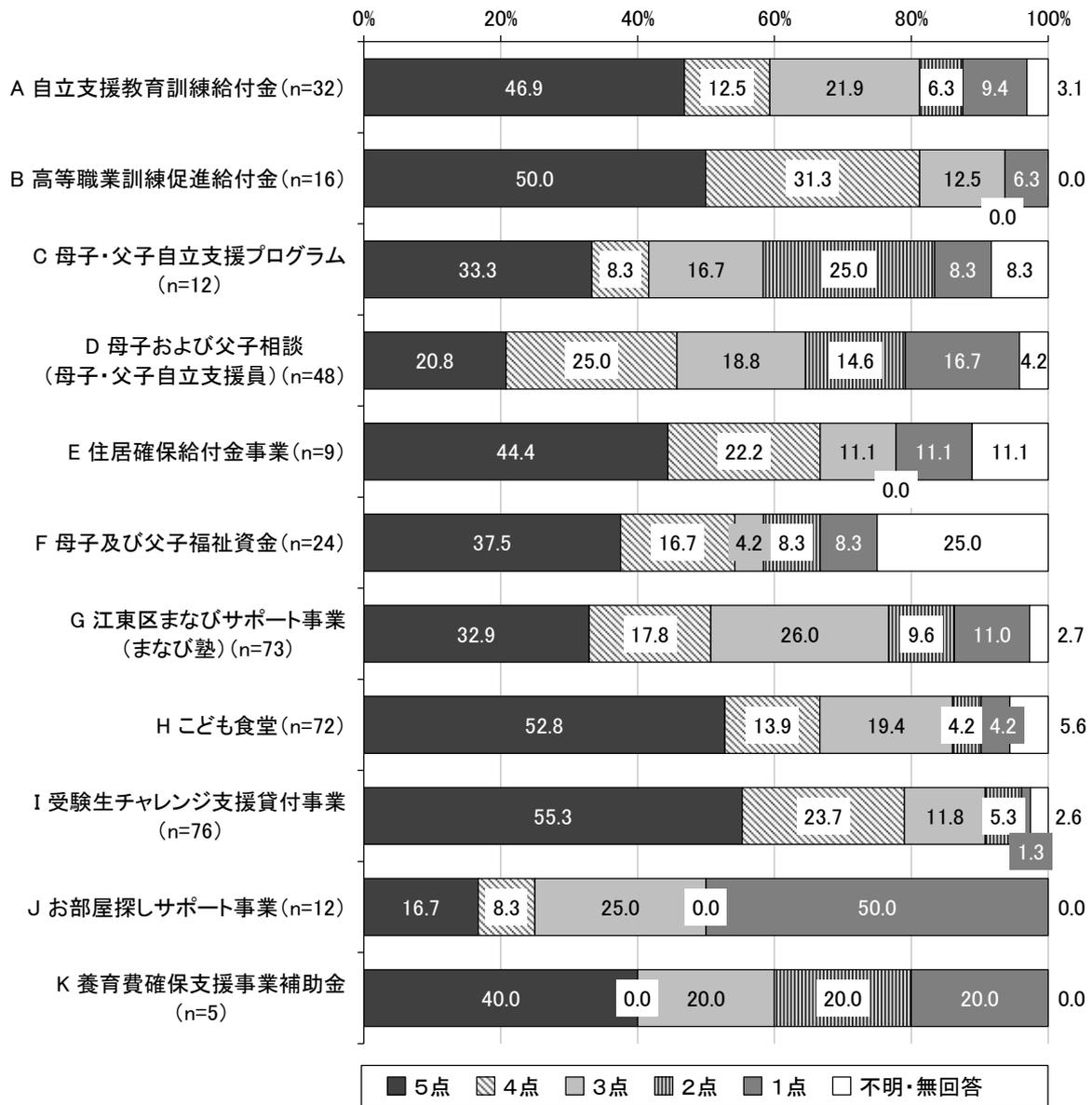
問 50A～K (2) この事業を利用したことがありますか。【再掲】

各種事業を知っている方の利用経験についてみると、「D 母子および父子相談(母子・父子自立支援員)」や「G 江東区まなびサポート事業(まなび塾)」 「I 受験生チャレンジ支援貸付事業」で「利用したことがある」が2割以上となっており、他事業に比べて多くなっています。



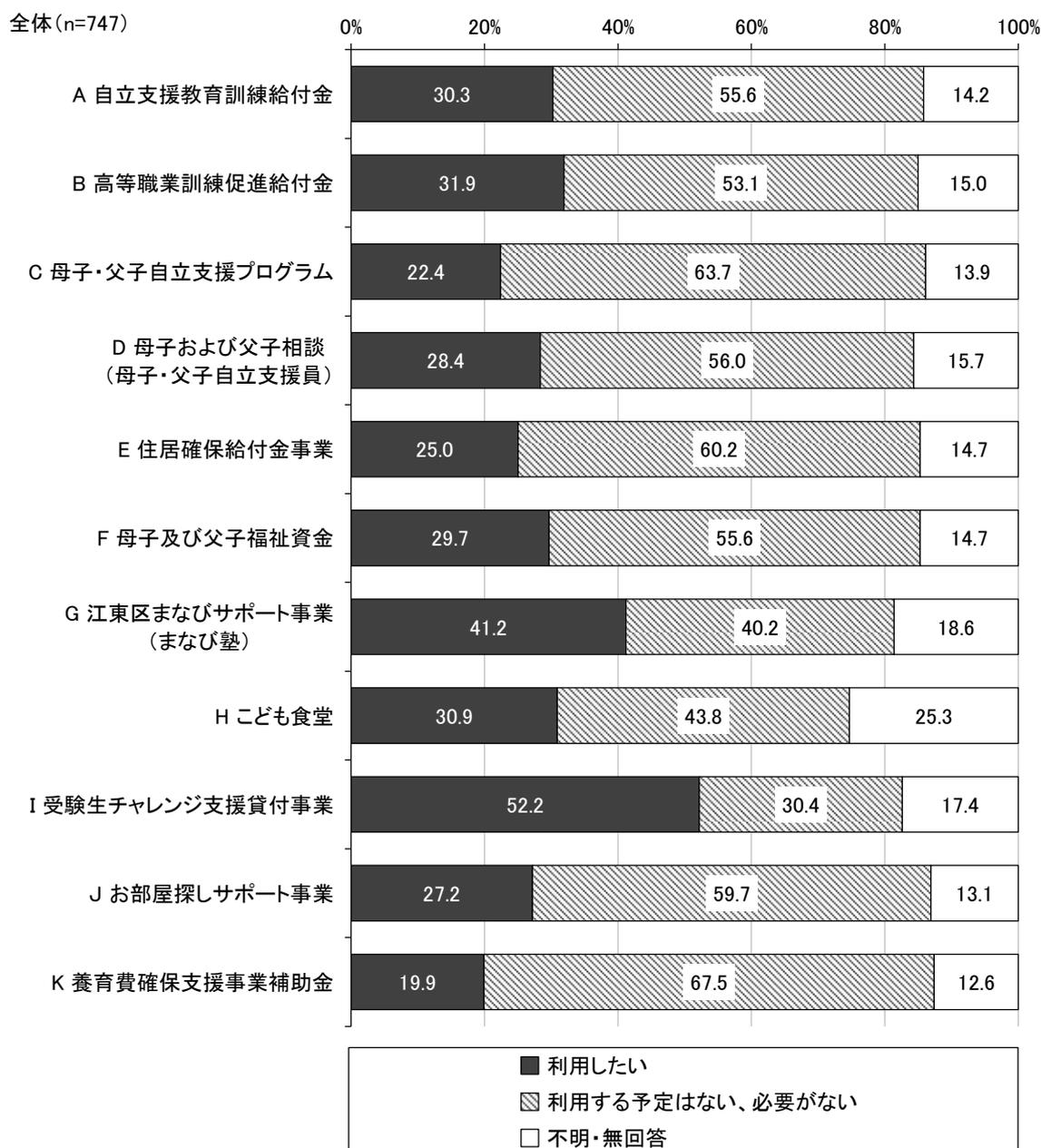
問 50 A～K 満足度【再掲】

各種事業の利用経験者の満足度についてみると、「H こども食堂」や「I 受験生チャレンジ支援貸付事業」で「5点」が5割を超えており、他事業に比べて多くなっています。



問 50A～K (3) 今後この事業を利用したいと思いますか。【再掲】

各種事業の今後の利用意向についてみると、「G 江東区まなびサポート事業(まなび塾)」や「I 受験生チャレンジ支援貸付事業」で「利用したい」が4割以上となっており、他事業に比べて多くなっています。



## 7 自由記入欄

問 51 あなたが今、困っていることや悩みごとがありましたら、ご自由にお書きください。

困っていることや悩みごとについての意見の内容は、「手当で・支援制度に関すること」が 78 件で最も多く、次いで「教育(学校・学業)に関すること」が 70 件となっています。

カテゴリー	件数
手当で・支援制度に関すること	78
教育(学校・学業)に関すること	70
家計(収入・支出・貯金)に関すること	41
こどもの育児・保育環境に関すること	35
仕事に関すること	18
医療・健康に関すること	14
家庭に関すること	10
その他	70

※カテゴリー10件未満のものは「その他」にまとめて集計。複数カウントあり。

以降に、寄せられた意見を抜粋で掲載します（原則、原文のまま）。

### ①手当で・支援制度に関すること

- ◇ 母子家庭で必死になって働いて子ども3人を育てているのに収入が上がれば手当などが停止される。子どもが成長すればするほど、お金はかかるのに何の支援も打ち切られてしまう。本当に死んで保険金を子どもに渡そうと思うことが何度もあった。
- ◇ 一人親家庭への児童扶養手当がとても不満。一人親となり女性の場合、収入も安定せず自宅を借りたくても収入が少ないため借りることができません。査定額の見直しを希望します。同一世帯ではなく一人親の本人の収入査定に変更して頂きたい。
- ◇ 申請方法が複雑なものや、内容がよく分からない手続きなどあり、役所に行ってもたらい回しになり、後日改めてなどと言われたこともありました。もう少し簡潔に出来たらうれしいです。
- ◇ 児童扶養手当の第3子の金額を上げて欲しい。児童手当が上がるのに扶養手当が上がらないのは差別ではありませんか。生活に困っているので速やかにやってほしい。また第3子の定義は長男が18歳を超えたら第2子扱いになるのもおかしい。
- ◇ 児童扶養手当を受給しています。とてもありがたい制度です。ただ物価の高騰により支出が多く、なかなか子供の将来の為の貯金が出来ません。所得制限限度額を上げて頂けるよう、ご検討ください。
- ◇ 子どもが不登校になった時に仕事に行けないので、無収入になった時の手当や対策を考えて欲しいです。発達障害児への支援ももっと増やしてほしいです。
- ◇ 母子手当を頂くための所得制限が低すぎると思う。
- ◇ 都バス、都営線などのフリーパスが子どもの分も出ると良い。その他交通費の助成があると良い。
- ◇ 区の窓口で一人親になる際、いろいろ相談に行きました。来てくれればいろいろ提供できると言わ

れ、それでは損していたことがたくさんあったけれど知っていればだいぶ違ったんだと思いました。こちらから出向かなければ分からないなんてと思いました。

- ◇ 所得制限により児童扶養手当の支給停止を受けました。所得限度額以上でも、母子家庭だとなかなか生活のやりくり、貯金が出来ずこういった手当は大変ありがたいものでした。それが停止となった今、以前より厳しい生活となり今後の生活の事を考えるとストレスに繋がってきます。一人親でも児童扶養手当の限度額の見直し、または支給停止の見直しを検討して頂けると有難いです。
- ◇ 教育費の出費が大きいので支援をしてもらいたいが、所得の限度額があり支援してもらえない事が多い。限度額の引き上げをしてほしい。
- ◇ 住宅手当があると助かります。住宅費用が高い、子供部屋が無い、子供が一人の人間として健全な生活ができていない。母子家庭の収入では日々を生きていくだけでやっとなです。
- ◇ 育成手当の金額を増額して頂けると助かります。毎日本当に時間がないので、申請（現状届など）のオンライン化を進めて頂けると助かります。
- ◇ 子供が大きくなるにつれて出費も増えるのに、子ども手当は赤ちゃんの方が多いいのがよく分からない。
- ◇ 公的支援制度や奨学金制度、官民間問わず経済的支援制度や補助、サポート体制 etc。体系的に一覧できるように分かりやすい視覚的コンテンツがあると便利だし助かる。
- ◇ サポート内容等が描いてある冊子を一人親家庭に配布してほしい。
- ◇ 子どもが高校生になると児童手当、児童扶養手当、児童育成手当がなくなります。せめて学生の間は利用できる補助制度があれば有難いです。学びに制限がないようによろしく願いいたします。
- ◇ 物価がこれだけ上がっているのに、いったいいつまで児童扶養手当の収入上限を古いままで対応されているのでしょうか。
- ◇ 働けば働いた分の税金や手当が無くなる。働かないで児童扶養手当を満額貰って非課税世帯になって暮らした方が楽ですか。
- ◇ 頑張って働き収入が増えると手当が減り、働いた以上に手当が減るので収入が減ってしまう。働く意味が分からなくなってしまう。でも働かないと子供を育てていけない。今後進学に当たりお金で進学先を変えさせてしまうことに対して本当に心が痛く、申し訳なくなってしまう。
- ◇ 江東区は保育士に 82,000 円の住宅補助金があるのに、同じ園で仕事の内容は違っても、キャリアアップ研修や時間の拘束は同様なのに栄養士には補助金がありません。
- ◇ 働いた分だけ扶養手当が下がる。せっかく国家資格をとって手取りが少しだけ上がったが稼げば引かれる料金も高くなり、手取り的にはほんのわずかな上がりで手当は減るのでばかりになる。
- ◇ ギリギリのラインの収入なので頂けてないものや使えない支援がありそうです。自ら探して申請しないといけないので、知らないことがあります。生活は大変です。区役所に行くにも仕事を休まなくては行けないので申請できてないものもあります。土日に区役所を稼働させてほしいです。
- ◇ チャレンジ支援貸付事業の申請対応も、日曜日も対応してほしい。仕事を休まないで申請できないのはつらいです。
- ◇ 児童扶養手当の支給基準が低く困ります。金銭の収入だけを見るのではなく、実家が近くでないことやどのような環境で育てているのか見て欲しいです。区の独自の手当をお願いします。

#### ②教育(学校・学業)に関すること

- ◇ 江東区は現在、他の区に比べてインクルーシブな教育環境がない。国連人権委員会の勧告にも関わ

らず、分離教育が当然のこととされ、障がいのある子どもは健常の子と切り離されている。誰もが同じ学校に通い、一緒に育つことができる環境作りを江東区は他区に率先して行ってほしい。

- ◇ 国立の小学校に通っているが生活格差があり、教育費が負担になっている。学びを止めたくないのに生活費を切り詰めるしかなく限界を感じる。
- ◇ 不登校の為の学習できる場所や勉強以外にも興味を持ち体験できる場所が欲しい。派遣の為仕事や給料が安定せず、金融機関への返済や老後の生活や子どもの進学や将来が不安。
- ◇ 保育園は働く親にとってすごく有難いけれど、小学校に入るとPTA、学校行事、保護者会、学校公開など平日に時間をとられ仕事の休みをずいぶんとらなければならぬ負担が大きすぎる。
- ◇ 学び塾は審査が厳しく落ちてしまった。無料でなくていいので、低所得者の子供も塾に通えたらなと思う。
- ◇ 子どもはもちろん、子どもにたずさわる大人の心を大切にしたい。小学校、保育園の先生の負担、不満が子どもに直接影響をきたしている姿を目にします。
- ◇ 子は高校生までは十分な手当、支援がありますが大学進学時の資金が不足します。学費を捻出するため低収入の正社員から年収アップの契約社員に転職したが自分が倒れたら無職になる可能性が高く不安です。
- ◇ 子供に十分な教育を受けさせたいから、大学へ行かせたくても子供自身に借金を背負わせて進学せざるを得ません。そんな状況なのに色々な手当やフォローは18歳で終わってしまうのはおかしいと思います。学びたいと思う子供に対して、大学までお金の心配なく学べる制度が欲しいと切に願います。
- ◇ 子供が中学生卒業まで児童手当、18歳まで育成手当を頂いており、とても助けられておりましたが、大学生になったとたん補助がなくなり凄く大変になりました。18歳で子育てが終わるわけでもありません。18歳になったとたん突き放された気持ちになりました。
- ◇ 私立高校の入学金は何故、東京は免除されないのですか？大学は日本学生支援機構があるので、給付金が出るため、そのお金で支払うことができますが、高校はその様な給付金で賄うシステムはないのでしょうか？
- ◇ 公立小学校の面談等、仕事が休めず参加が難しいです。有給は家族や自身の体調不良の時のために取っておきたいので、学校行事で使うのが躊躇われます。先生方の労働時間の問題もあり、解決が難しいのは承知ですが、平日昼間以外で設定できると大変助かります。
- ◇ 親以上に中高生は周囲の目が気になるようなので、まなび塾等、経済的水準による線引きではなく、子供たちの居場所が確保できるような、誰でも自由に放課後集まれるような場所があると、子供たち同士で教え合ったり協力しながら基礎学力を向上できてよいと思いました。
- ◇ 親の勝手に離婚し、大学費用など本人に借金させなければいけないことに心が苦しい。それでも大学に行きたいと思うわが子に進学を諦めさせたくないのに、心を痛めながら毎日生活しています。大学への進学がもっとしやすい国ならいいなと思います。学校にお金がかかりすぎです。
- ◇ 学校のPTA等は一人親対応の文化がない。小学校でいうと、1人一回は役員をしたりしますが、一人親で困っているご家庭は自分を含めてたくさんいました。
- ◇ 習い事の助成を充実させてほしいです。子供がやりたいと言っても経済的に厳しく、助成があればと思うことがあります。お金のある家の子供はたくさん学べるけど、経済的に厳しい家庭は難しい。
- ◇ 中二の不登校の娘の学習支援をどのようにしたらいいかわからない。学校もしくは区で不登校向けの授業は出来ないものか。クロムブックは全員に貸与されているのだから。

- ◇ 高校からは私立も支援金制度があるので一安心ですが、その間に大学資金も用意しなければならず、もう少し進学に意欲的な子供をサポートする意味で学費のサポートを全国的に行ってくれると少しは子育ての経済的な不安は解消されるのではと思います。
- ◇ ワンストップ教育相談が機能していない為学校の対応が悪くて、子供が安心して学校に通えなくなっているにも不登校以外、又は転校以外の選択肢がない。SSW も学校に対して立場上強く言えないし、江東区教育委員会は学校長の判断に任せていて誰も学校の方針ややり方がおかしくても指導せず、生徒と親は我慢して諦めるしかなくなっている。子ども家庭支援センターもたくさんの相談担当に分かれていて、本人ではなくセンターの判断で相談が終了していたり予定が合わせられず、子どもの状況を子供から聞くまでに数ヶ月かかっていたりと、学童期以降の家庭への支援が遅いと感じる。子どもは起立性調節障害という体の病気を発症しているが病気への理解がない教員が多いので正しい知識と思いやりのある対応ができるように講義などをしてほしいです。江東区にも公立の不登校特例校を作ってほしいです。

### ③家計(収入・支出・貯金)に関すること

- ◇ 子どもの将来やりたいと思えることが出来たとき、チャレンジをさせてあげたいが資金が足りるのかとても不安です。物価が上昇しているので、いろいろなものが高くなっており不安です。
- ◇ 物価高騰で最近子どもに必要な物も少し待ってもらってから買っています。食品も切り詰めてはいますが、お金で困って悩んでいます。
- ◇ 普通に生活している分は今年あたりから落ち着きましたが、年金や保険料、税金の支払いが多く生活するのがやっとな状態です。
- ◇ 仕事を掛け持ちしているが、生活費や塾代で、貯金(大学のためなど)が全く出来ない。就学援助はとても助かっているが、一時的に負担しなくてはならないので(学校に支払った後入金なので)、先に入金、もしくは支払い免除されると助かります。
- ◇ 残業して稼ぎたくても子供との生活で不可能。子供を1人で夜遅くまで夕食を食べられない状態で留守番させる事は出来ない。
- ◇ 働きたくても、働けば働くほど税金で生活が圧迫され、給付金は対象から外され、結局生活保護よりも苦しい生活を送っている。
- ◇ 養育費もなく高齢者と息子と暮らしています。私も50代で持病があり母の年金も月4万で本当に日々生きていくのが大変ですが頑張って仕事をしています。
- ◇ 子どもがおなか一杯食べるには栄養より安い食品で満たすしかない。どうか子どもが22歳になるまで支援をお願いしたい。親にお金がなくても学ぶ意欲があり、成績がいい子供にチャンスをください。
- ◇ 何もかも値上げが続き、今以上に余裕が無くなるのが不安。一人親の手当は助かりますが、二人親との格差は広がり、とても厳しいです。
- ◇ 賃貸で部屋を借りているが、給料等が低いので広い部屋に引っ越すことが出来ない。中学生の子供がいるが亀戸から離れるのが嫌だとなると狭くても仕方ないのが現状。
- ◇ 子供の将来を考えると、再婚した方が収入の安定にはなるのかと思いきや、なかなか慎重になって(男性不信などトラウマ)時間だけが過ぎていってしまっています。
- ◇ 学用品費や塾にかかる費用が高く支払いが厳しい。予防接種の費用が払えなくて接種できない。学校行事の写真販売の写真が高くて購入できない。子供の洋服買えない。光熱費が高くて支払い厳し

い。家賃の支払いも毎月厳しい。

#### ④こどもの育児・保育環境に関すること

- ◇ 昔と比べて一人親である事への偏見はなくなったように感じます。江東区はいろいろなサポートがあり、子育てしやすいです。一方で子供に対する公然わいせつや不審者情報が多く不安です。防犯カメラを増やしたり、近所の人と声を掛け合うなど、皆で子供たちを見守れたらと思います。
- ◇ 子どもが軽度の発達障害である為、将来就職し、自立できるのかどうか不安です。大学進学までは、きちんと育てる資金はあるが、就職できなかった場合に支援できる自信がない。
- ◇ 下の子が病気で保育園を休む時、上の子が低学年で病気で休む時など見てくれる人や預けられる場所があればと思いました。
- ◇ 反抗期の子供を一時的に預かるサービスがほしいです。母子家庭で息子の体力についていけません。しばしば警察のお世話になってます。
- ◇ 障害児への福祉サービスや人材が他の区より圧倒的に少なく、少しの枠を取り合っているような状態。サービスを受ける資格はあっても、事業所を探すのは親任せで負担が大きく移動支援など使いたいサービスが使えていない人が多い。
- ◇ 発達障害で少し成長が遅いのに思春期が重なり何のことも気持ちが爆発しています。本人は優しく素直な子なのにコントロールが難しく苦しそうに思います。一時保護や落ち着かせてあげられる場所等、切り替えができる場所がもっとあればすごく助かります。
- ◇ 子供が放課後デイサービスを利用しているが、長期休み、土曜日など預かりの時間が短く、正社員として働きたいが、デイサービスの預かりが短く働けないので困っている。子供が大きくなるにつれ、障害者が利用出来る塾、習い事など料金が高く利用出来る場所が少ないし、困っている。
- ◇ 発達障害の子供達の日々の世話で、一日が終わります。知的障害のない軽度の発達障害だと普通の子達の中に入れてられてしまい、でもやっぱりついていくのが大変で、自己肯定感を下げってしまうことばかりです。もっと軽度の発達障害の子達が受けられるサポートがあれば助かります。
- ◇ 子供の成長に伴い親子の関係も見直していく必要があるタイミングにいると思いますが、身近に相談できるカウンセラーなどの利用がしやすくなるとありがたいです。（オンライン相談など。）
- ◇ わが子には医療的ケアがあり土日祝日の預け先がありません。江東区は医療的ケアがあると、レスパイト入所は利用できず緊急一時施設のみです。東部療育センター短期入所は少しの不調だと預かってもらえず、出産した病院の検査入院という名目で預けるとかえって悪化することもあります。そのため日帰りでも預かってもらえる日中一時支援施設を江東区で実施してください。
- ◇ 息子に発達障害があり不登校気味です。不安が強いため息子が学校に行けない時は、私も仕事を休まざるを得ない状況で収入が安定せず日々の生活に不安を感じています。一度福祉事務所に相談しましたが、生活保護を受けるように言われたただけでした。不登校の子供を持つシングルマザーやシングルファーザーへの収入面での支援をお願いしたいです。切実です。
- ◇ 障害児のきつづくらぶは小学生まで、放課後デイはどこもいっぱい、長期休みは開所時間が短い、土日祝はほとんどやっていない、ショートステイは予約が取れない、ヘルパー事業所も人手不足。障害児者の家庭はとても困っています。児相も人手不足、何か質問しても担当者なのに即答できない。電話しても誰も出ないなど、問題山積み。どの区もそうかもしれないけど。

## ⑤仕事に関すること

- ◇ 返済不要の奨学金について詳しく知りたい。起業してみたいがどんなことから始めればいいのか分からない。定年後も収入を得られるような活動や取組等を学びたい。
- ◇ 子供の時間に合わせて仕事したいのに、あまりない。有っても時給が安かったりして、ダブルワーク、トリプルワークをしないといけない、働いて帰ると子供に優しく出来ない自分がいる。疲れてしまってちょっとした事で怒ってしまう。子供に怒ってしまい自己嫌悪、子育てに自信無くなり、落ち込み、何のために生きているのか、何のために働いているのか判らなくなることがある。
- ◇ 給与が上がらず、子供の成長と共にお金はかかるけど、貯金が出来ずに困っています。江東区内で副業案件の情報が見れるサイトや何かのツールがあると少し余裕が出来る要素に繋がると思います。
- ◇ 職場、仕事での悩み、愚痴を言える相手がいない。
- ◇ 就労できた事は収入面、経済的にとても大きかったです。それも江東区の支援があり、陰でサポートしてくれている方達の色々な想いを受けたためでもあると思っています。娘とこれからも明るく豊かな生活を送っていけるよう、頑張っって両立と自立をしていこうと思います。
- ◇ 物価高で食費がすごくかかっているのでもやりくりが大変です。育児をしながら働いているので、行事等で仕事を休む日も多いです。給料を上げて欲しいし安心して休みたいです。子育てしながら一人親が安心して働けるような制度がほしいです。
- ◇ 相談できる場所がわかりません。また相談しても「家事は子供にやらせればいい。海外では小さな子供も仕事をしている。あなたの勤めている会社以外はブラック企業だから辞めない方がいい。」など就労支援で教えてもらった先から言われてショックを受けました。

## ⑥医療・健康に関すること

- ◇ 子供の医療費は0ですが自分の医療費が高く、病院に行くのをやめたりしています。そのためまた体調を崩すという悪循環です。
- ◇ 毎日もっと子供と一緒にいる時間を増やしたいと思いながら、働いています。今も子供が体調良くないけど、明日も仕事なので1人で家で寝てもらいます。具合が悪い子を置いて出るのがいつも心苦しいです。受診もさせず、いつも市販薬です。
- ◇ 困っていることはたくさんあるだろうけど言ったところで解決するはずもなく、大人の責任で子に負担はかけられないので今はただ子の病気が治ることを願うばかりです。毎日見せてくれる笑顔が一分一秒でも長く続くことを。
- ◇ 体力的にキツイ。若い人のように動けない。
- ◇ 病気の子供の将来。自分たちが年老いた後に診てくれるサポート体制。

## ⑦家庭に関すること

- ◇ 稼ぐには長時間、家を空けなくてはいけないので、中3の受験生の子が家事を引き受けてくれているが、コレでいいのか罪悪感がある。
- ◇ 養育費もらってないし、実家で暮らしているけど、父（子からみた祖父）は年金暮らしで借金があり、養育どころか実父の経済的援助もしなければならない。収入も決して高くないのに、働かない一人親や平和な一般家族に援助が出るのはおかしいと思います。

- ◇ 子供が大きくなったため、子の病気で仕事を休むことはなくなったが、親の介護で仕事を休みたくても休むことが難しい。パートでも親の介護や子供の看護休暇を取れるようにしてほしい。
- ◇ 現在要介護の親と同居中。年金だけでは両親の介護費用は足りず、援助しながら時には私が援助してもらいながら生活しています。高齢者と同居するひとり親への何かのサポートをもっと増やしてほしい。私が仕事中は老々介護で心配です。
- ◇ 子供の進路、躰けなどは母に相談したりしますが、今と昔が違いすぎて…。少し困る時があります。

#### ⑧その他

- ◇ 同じ境遇（我が家は死別）の人と話す機会があれば良いと思います。なかなかそういう人が周りにいないので、こちらからは特にどこか行ってまで相談するほどではない事を、定期的に話を聞いてくれる等のサポートがあったら良かったです。
- ◇ 調停で取り決めていることに相手が応じない場合の訴訟手続きなど、サポートしてもらえない限り養育費が払われない一人親が増える一方だと思います。
- ◇ なかなか都営住宅が当選しないことが一番ネックになっています。
- ◇ 離婚前も離婚後も悩み相談をしたくても平日に時間がとれなかったり、なかなか予約がとれなくて苦しい時が多々あった。今苦しいのに面談予約の空きが1ヶ月以上先などがよくあった。女性は、ただ話したいという時がおそらく多いので、もっとフランクなおしゃべりの場のような同じ境遇同士が集える場があればよかったのと思う。
- ◇ 子ども食堂（定期開催されるもの）を東雲に作って欲しい。豊洲は今豊洲に住んでいる人でないと参加できないため。
- ◇ 子供の学区内で家を探したので家賃が高いことです。都営住宅に引っ越したいが、なかなか希望している所にはあたらない。出来れば、区営住宅に入りたいが現在募集していないです。所得に応じて、民間賃貸の家賃補助があると嬉しいです。
- ◇ 都営バスの無料乗車券を、各家庭1枚ではなく全員に欲しいです。
- ◇ 私は外国人として、友人日本であまりいません。日本人の友達を会うチャンスがなかなかありません。
- ◇ お金で夢を諦める現実がある限り、子供の権利は守られていない。子供が自ら選ぶことができる制度作りをしてほしい。
- ◇ 最近は食費に加えて、女の子を育てている一人親は生理用品ですら高いと感じる。学校や一人親家庭に配ってもらえたらと少し思うのですが、まずしっかり働いて不自由なく暮らしたいと常に思っている。
- ◇ 毎月の手取りから半分以上家賃で消えてしまい、ボーナスが出るまで赤字です。子供が来年高校生になりますが今も二人で同じ部屋で寝ています。給料にあった借家があれば助かります。
- ◇ 一人親世帯だと引っ越しを考えても、一人親という理由でなかなか部屋を借りられない。犬を飼っているので都営住宅に申し込みたくてもできない。ペット需要がコロナ禍で増えたのだから少しくらいペット可の都営住宅を増やしてほしい。
- ◇ 一人親の方々との交流の機会があると良いと思う。夏休みなどに一人親どうしで、キャンプに行くなどの行事も作って頂けると子供同士での悩み相談、親同士での悩み相談ができるのではないかとと思う。不要になった子供服などを物々交換したり、フリマなどで売ったり買ったりする機会があっても良いと思う。子供が必要とする教育が大学まで無料になると良いなと思う。
- ◇ 子ども食堂は本当に困っている子が利用出来ない。定員が少なすぎる。衣類、本、おもちゃのリサ

イクルなど欲しいです。どこかリサイクルの物を貰える所はありませんか？本当に必要な人だけが貰える所。

- ◇ 一人親用などのパンフレットやシングルマザーの体験など実際の自分での負担金など、事細かにまとめたものが、あったらよいと思う。
- ◇ 母子家庭です。私（母）が急死などした場合のサポートはあるのでしょうか？今は健康ですが、それだけが気がかりです。
- ◇ 子どもが勝手にネットを使い買い物をして、私が支払いをしている。消費者センターに相談したが親子で話し合うことをすすめられ、支払ったお金については保障してくれないし、どこに相談するのも教えてくれない。